千葉県文化財センター調査報告第406集

# 新東京国際空港
# 埋蔵文化財発掘調査報告書XVI

―― 十余三稲荷峰東遺跡（空港No.66遺跡）――

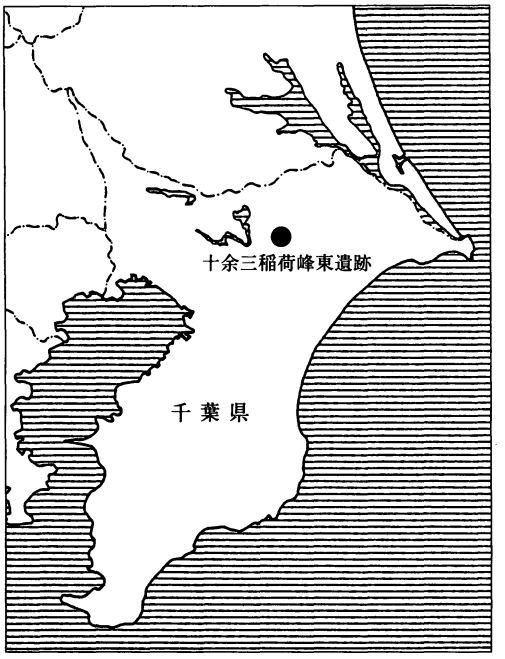
平成13年3月

新東京国際空港公団

財団法人　千葉県文化財センター

# 新東京国際空港
# 埋蔵文化財発掘調査報告書XVI

## ―― 十余三稲荷峰東遺跡（空港No.66遺跡）――



# 序　文

財団法人千葉県文化財センターは、埋蔵文化財の調査研究、文化財保護思想の涵養と普及などを主な目的として昭和49年に設立され、以来、数多くの遺跡の発掘調査を実施し、その成果として多数の発掘調査報告書を刊行してきました。

このたび、千葉県文化財センター調査報告第４０６集として、新東京国際空港公団の新東京国際空港建設事業に伴って実施した成田市十余三稲荷峰東遺跡（空港№66遺跡）の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

この調査では、旧石器時代から中・近世の遺構や遺物が出土するなど、この地域の歴史を知る上で貴重な成果が得られております。

刊行に当たり、この報告書が学術資料として、また文化財の保護・普及のための資料として広く活用されることを願っております。

終わりに、調査に際し御指導、御協力をいただきました地元の方々を初めとする関係の皆様や関係機関、また、発掘から整理まで御苦労をおかけした調査補助員の皆様に心から感謝の意を表します。

平成13年3月31日

財団法人千葉県文化財センター
理事長　中　村　好　成

# 凡　例

1　本書は、新東京国際空港予定地内の成田市十余三字稲荷峰151-29他に所在した十余三稲荷峰東遺跡（空港№66遺跡）の発掘調査報告書で、新東京国際空港関連の発掘調査報告書の第XVI集にあたるものである。

2　発掘調査から報告書作成に至る業務は、新東京国際空港公団の委託を受け、千葉県教育委員会の指導のもとに、財団法人千葉県文化財センターが実施した。

3　調査で使用した遺跡のコード番号は211-025である。

4　発掘調査は昭和57年度に実施し、整理作業は昭和58年度、平成11･12年度に実施した。

5　発掘調査及び整理作業の担当者、実施期間は本文中に記載した。

6　本書は調査部長沼澤　豊、東部調査事務所長三浦和信・折原　繁の指導と助言のもとに、主席研究員宮　重行・空港調査室長鳴田浩司・上席研究員大槻一実・研究員永塚俊司が執筆し、永塚が編集した。本文の執筆分担は以下のとおりである。

　宮　重行　第３章、第５章　縄文時代

　鳴田浩司　第４章

　大槻一実　第３章第１節１・２

　永塚俊司　第１章、第２章、第５章　旧石器時代

7　周辺地形航空写真は、京葉測量株式会社による昭和42年撮影のものを使用した。

8　本書で使用した地形図は下記のとおりである。

　第２図　新東京国際空港公団発行　1/2,500　新東京国際空港平面図５・６・８・９

　第３図　国土地理院発行　1/25,000　地形図「新東京国際空港」(NI-54-19-10-1)、「成田」(NI-54-19-10-3)

9　本書で使用した図面の方位は、すべて座標北である。

10　本書に収録した遺物及び記録類は、当文化財センターで保管している。

11　発掘調査から報告書の刊行に至るまで、下記の諸機関・諸氏から多くのご協力・ご指導をいただいた。それぞれ記して謝意を表する（順不同）。

千葉県教育庁生涯学習部文化課、成田市教育委員会、新東京国際空港公団の関係者各位

# 本文目次

第１章　はじめに …… 1
　第１節　調査の概要 …… 1
　　1　調査の経緯と経過 …… 1
　　2　調査の方法と成果 …… 2
　第２節　遺跡の位置と周辺遺跡 …… 6
　第３節　基本層序 …… 8
第２章　旧石器時代 …… 9
　第１節　概要 …… 9
　第２節　石器集中地点 …… 10
　第３節　石器集中地点外 …… 26
第３章　縄文時代 …… 33
　第１節　遺構と遺物 …… 33
第４章　中・近世 …… 41
　第１節　遺構と遺物 …… 41
第５章　まとめ …… 47
報告書抄録

# 挿図目次

第１図　グリッド呼称図 …… 2
第２図　周辺地形と遺跡範囲 …… 3
第３図　確認調査範囲と本調査範囲 …… 4
第４図　検出された遺構 …… 5
第５図　周辺の遺跡 …… 7
第６図　基本層序 …… 8
第７図　石器集中地点 …… 9
第８図　石器集中１　出土状況と出土石器 …… 11
第９図　石器集中２　出土状況 …… 12
第10図　石器集中２　出土石器（１） …… 13
第11図　石器集中２　出土石器（２） …… 14
第12図　石器集中３　出土状況と主な石器 …… 15
第13図　石器集中３　出土石器（１） …… 16
第14図　石器集中３　出土石器（２） …… 17
第15図　石器集中３　出土石器（３） …… 18
第16図　石器集中３　出土石器（４） …… 19
第17図　石器集中３　出土石器（５） …… 20
第18図　石器集中４　出土状況と出土石器 …… 21
第19図　石器集中５　出土状況 …… 23
第20図　石器集中５　出土石器 …… 24
第21図　石器集中６　出土状況と出土石器 …… 25
第22図　石器集中７　出土状況と出土石器 …… 25
第23図　石器集中地点外　出土石器 …… 26
第24図　炉穴・陥穴（１） …… 34
第25図　陥穴（２） …… 35
第26図　縄文土器グリッド別出土状況 …… 36
第27図　出土土器 …… 39
第28図　出土石器 …… 40

第29図　炭窯・土坑 ……42
第30図　溝１・３ ……43
第31図　銭貨（１）……44
第32図　銭貨（２）……45
第33図　溝２ ……46
第34図　出土遺物 ……49

# 表目次

第１表　周辺遺跡一覧 …… 6
第２表　石器集中地点　石器組成表 ……26・27
第３表　石器集中地点　石器観察表（１）……28
第４表　石器集中地点　石器観察表（２）……29
第５表　石器集中地点　石器観察表（３）……30
第６表　石器集中地点　石器観察表（４）……31
第７表　石器集中地点外　石器観察表……32
第８表　縄文石器観察表 ……38
第９表　銭貨一覧 ……45

# 図版目次

巻頭図版
図版１　航空写真
図版２　石器集中地点１～３
図版３　石器集中地点４～７・集中地点外
図版４　縄文時代　炉穴・陥穴
図版５　中・近世　土坑・炭窯・溝１
図版６　中・近世　溝２・３
図版７　石器集中１　出土石器
　　石器集中２　出土石器
図版８　石器集中３　出土石器（１）
図版９　石器集中３　出土石器（２）
図版10　石器集中３　出土石器（３）
図版11　石器集中４　出土石器
　　石器集中５　出土石器
図版12　石器集中６　出土石器
　　石器集中７　出土石器
　　石器集中地点外　出土石器
図版13　縄文時代　出土土器
図版14　縄文時代　出土石器
図版15　銭貨（１）
図版16　銭貨（２）

# 第1章 はじめに

## 第1節　調査の概要

### 1　調査の経緯と経過

財団法人千葉県文化財センターでは、新東京国際空港予定地内及び関連事業地内に所在する遺跡について、千葉県教育委員会の指導のもとに、新東京国際空港公団の委託により、昭和51年度から計画的・継続的に発掘調査を実施してきている。また、これらの発掘調査成果の一部は既に報告書として刊行されている。

今回報告する十余三稲荷峰東遺跡（空港№66遺跡）についても、千葉県教育委員会が新東京国際空港公団と遺跡の取り扱いについて慎重に協議した結果、記録保存の措置がとられることとなった。そこで、当センターは新東京国際空港公団と発掘調査の実施について調整を行い、新東京国際空港建設事業地内埋蔵文化財調査業務として昭和57年度に発掘調査を実施することになった。その後年度計画に基づき、昭和58年度・平成11・12年度にわたって断続的に整理作業を実施した。各年度毎の実施内容及び担当職員は下記のとおりである。

〔発掘調査〕

調査期間　昭和57（1982）年4月19日～昭和57（1982）年5月27日
　　昭和57（1982）年10月4日～昭和57（1982）年12月23日

調査対象面積　15,165㎡　確認調査面積：400㎡　上層本調査面積：2,600㎡　下層本調査面積：1,350㎡

担当者　調査部長　白石竹雄
　　班　　長　西山太郎
　　調査研究員　雨宮龍太郎・川島利道〈確認調査〉
　　西口　　徹・麻生正信　〈本調査〉

〔整理作業〕

**昭和58年度**

整理期間　昭和58（1983）年4月1日～昭和59（1984）3月31日（他の遺跡とあわせて実施）

整理内容　水洗・注記

担当者　調査部長　白石竹雄
　　班　　長　西山太郎

**平成11年度**

整理期間　平成11（1999）年6月1日～平成11（1999）年7月31日
　　平成11（1999）年11月1日～平成12（2000）年3月31日

整理内容　記録整理から水洗・注記を除く原稿執筆まで

担当者　調査部長　沼澤　豊
　　東部調査事務所長　三浦和信

主任研究員　宮　重行
空港調査室長　鳴田浩司
研究員　大槻一実
技師　永塚俊司

**平成12年度**

報告書刊行

担当者　調査部長　沼澤　豊
東部調査事務所長　折原　繁
空港調査室長　鳴田浩司

## 2　調査の方法と成果

発掘調査を始めるにあたり、調査対象区域に公共座標に合わせて、50ｍ×50ｍの大グリッドを設定した。さらに、その大グリッド内を５ｍ×５ｍに分割し、100個の小グリッドとした。大グリッドは北から南へ０，１，２，３……、西から東へＡ，Ｂ，Ｃ……と記号をつけ、小グリッドについては北から南へ00，10，‥‥，90、西から東へ00，01，‥‥，09と番号をつけ、これ等を組み合わせて呼称することにした（第１図）。

調査対象面積は15,165㎡であるが、遺跡範囲の見込み面積5,000㎡の８％にあたる400㎡について確認調査を行った。調査期間は昭和57年４月19日から昭和57年５月27日である。確認調査面積は対象面積に対して実質約2.6％であり、けっして十分な面積とは言えないが、確認グリッドを効果的に配することにより、遺構・遺物の捕捉に努めた（第３図）。

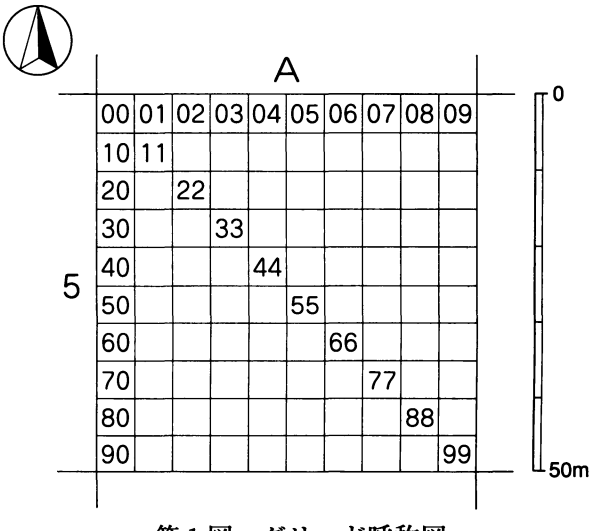
確認調査の結果、上層2,600㎡、下層1,350㎡について本調査を実施した（第３図）。上層については、溝等の遺構の拡張により2,600㎡を越える広範囲の調査を実施した。調査期間は昭和57年10月４日から昭和57年12月23日である。主な調査成果は以下のとおりである（第４図）。

旧石器時代の遺構は、舌状台地先端部に近い平坦地で石器集中地点７か所が検出された。いずれもソフトローム層中（Ⅲ層中）に包含されるものである。確認調査面積が周辺遺跡と比較して充分とは言えない状況であり、ハードローム層（Ⅵ層）以下の石器群が捕捉できなかった可能性も指摘される。

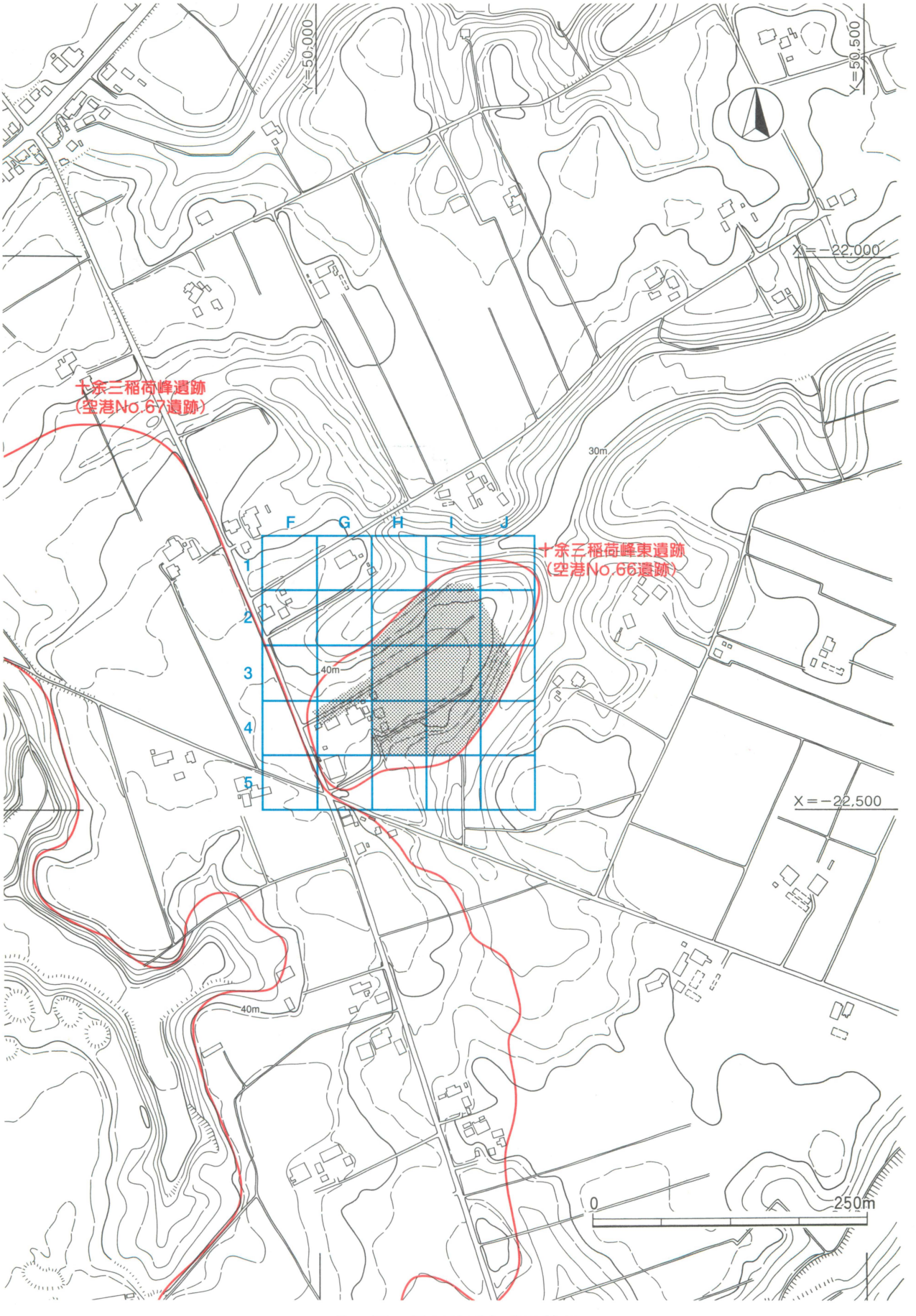
頁岩を素材とした周縁加工の尖頭器を特徴的に伴う石器群を主体とし、他に細石刃石核を伴う石器集中地点がある。

縄文時代の遺構は、炉穴１基・陥穴７基を検出した。グリッド一括資料では少量ではあるが、早期から晩期にかけて、土器の破片資料を得た。

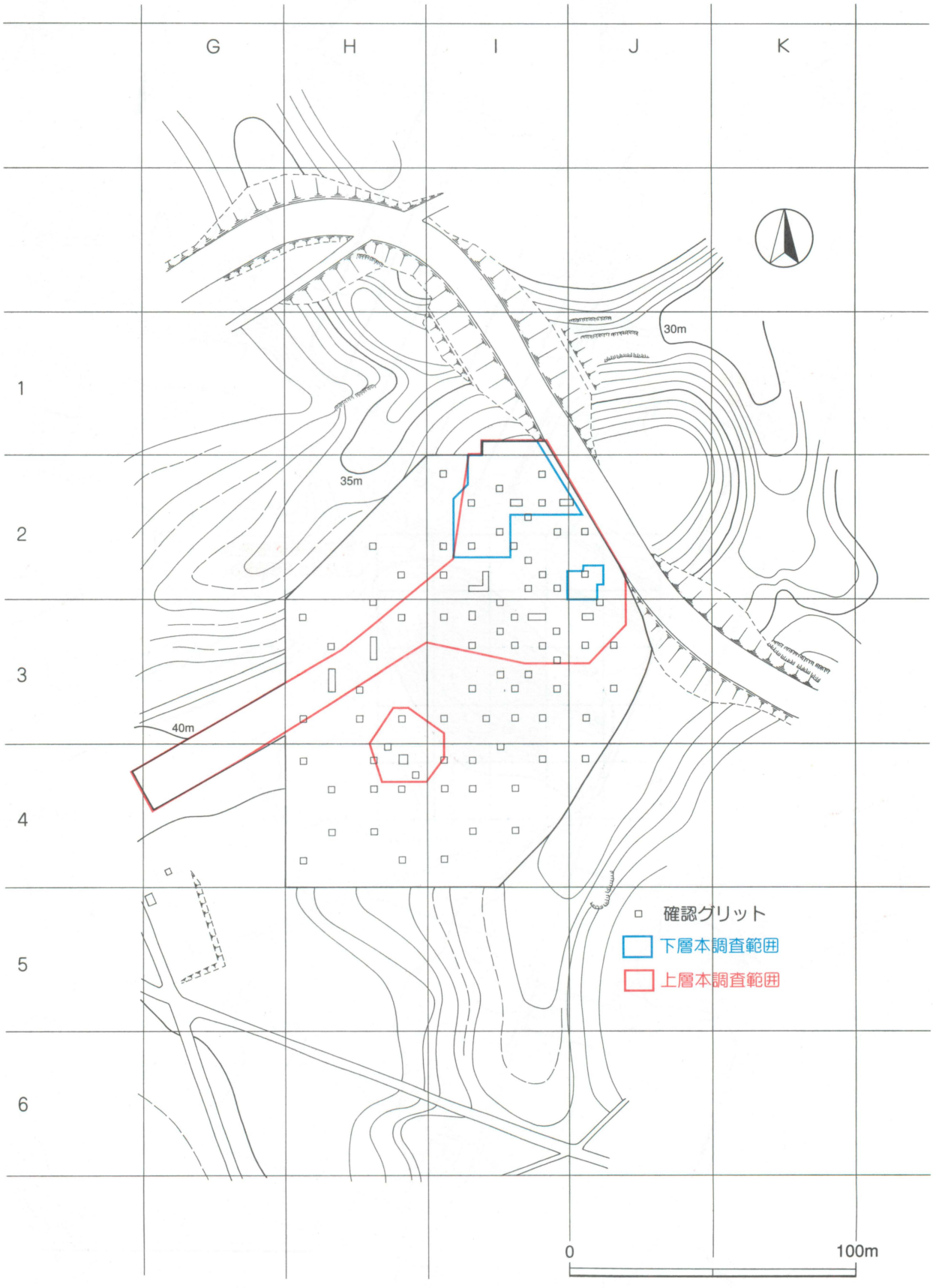
中・近世では、舌状台地を縦断するように数条の溝を検出した。溝は十余三稲荷峰遺跡（空港№67遺跡）へと続く大規模なもので、数回の掘り直しが確認された。溝の覆土内からは30枚の銭貨がまとまって検出された。



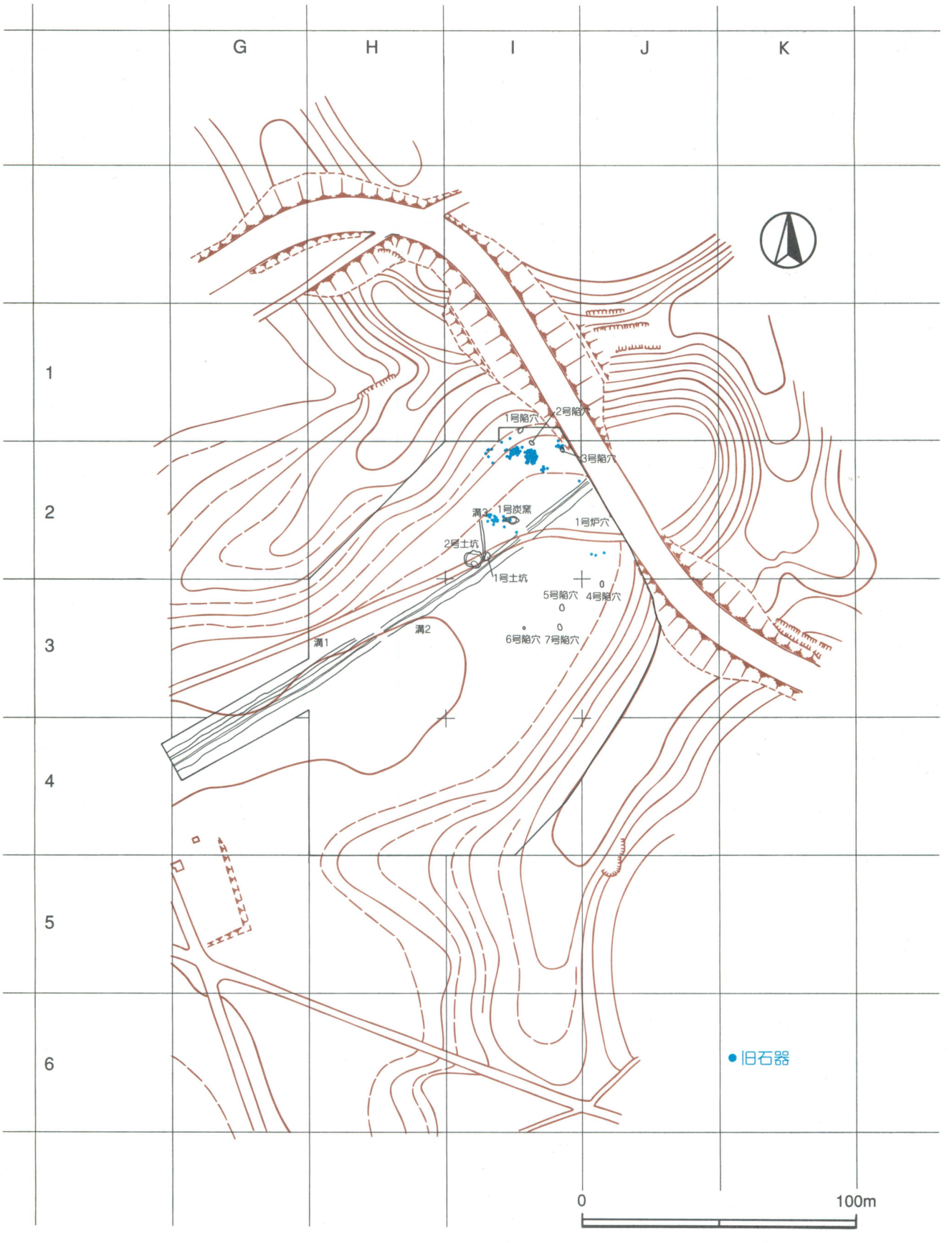

第１図　グリッド呼称図




第２図　周辺地形と遺跡範囲




第３図　確認調査範囲と本調査範囲


G
H
I
J
K
1
2
3
4
5
6
1号陥穴
2号陥穴
3号陥穴
溝3
1号炭窯
1号炉穴
2号土坑
1号土坑
5号陥穴
4号陥穴
6号陥穴
7号陥穴
溝1
溝2
旧石器
0
100m

第４図　検出された遺構

## 第2節　遺跡の位置と周辺遺跡

十余三稲荷峰東遺跡（空港No.66遺跡）は成田市十余三字稲荷峰151-29他に所在する（第5図）。空港建設予定地内では、平行（暫定）滑走路北端にあたる。遺跡は、現在の利根川へ北流する尾羽根川の源流域に突出する標高約40mの舌状台地上にある。

周辺地域は、利根川へ北流する河川と九十九里方面へ南流する河川の分水界が走り、全体としては比較的広い平坦な台地の広がりを見ることができるが、源流域では八つ手状に開析を受けた台地が密集する。遺跡はそのような開析を受けた舌状台地上に立地するのが一般的で、本遺跡も例外ではない。

隣接する遺跡では、本遺跡の西側に十余三稲荷峰遺跡（空港No.67遺跡）がある。尾羽根川と取香川の源流域に挟まれた回廊状の台地に広がるこの遺跡からは、旧石器時代と縄文時代早期を中心とした遺構・遺物が大量に検出された。旧石器時代の石器集中地点は立川ローム層中から大小30か所前後が広範囲に分布し、長期間にわたって断続的にこの地域が利用されたことがわかる[1)]。特に、細石刃石器群は資料的に充実したものであり注目される[2)]。縄文時代早期には、沈線文土器と条痕文土器を伴う多数の遺構群をはじめ、良好な土器包含層が検出された[3)]。また、近世には牧として利用され、周辺地域は矢作牧の一部に当たり、関連遺構とされる溝状遺構が遺跡内を縦横に走っている。十余三稲荷峰東遺跡の中央を走る溝もこれに連続する。

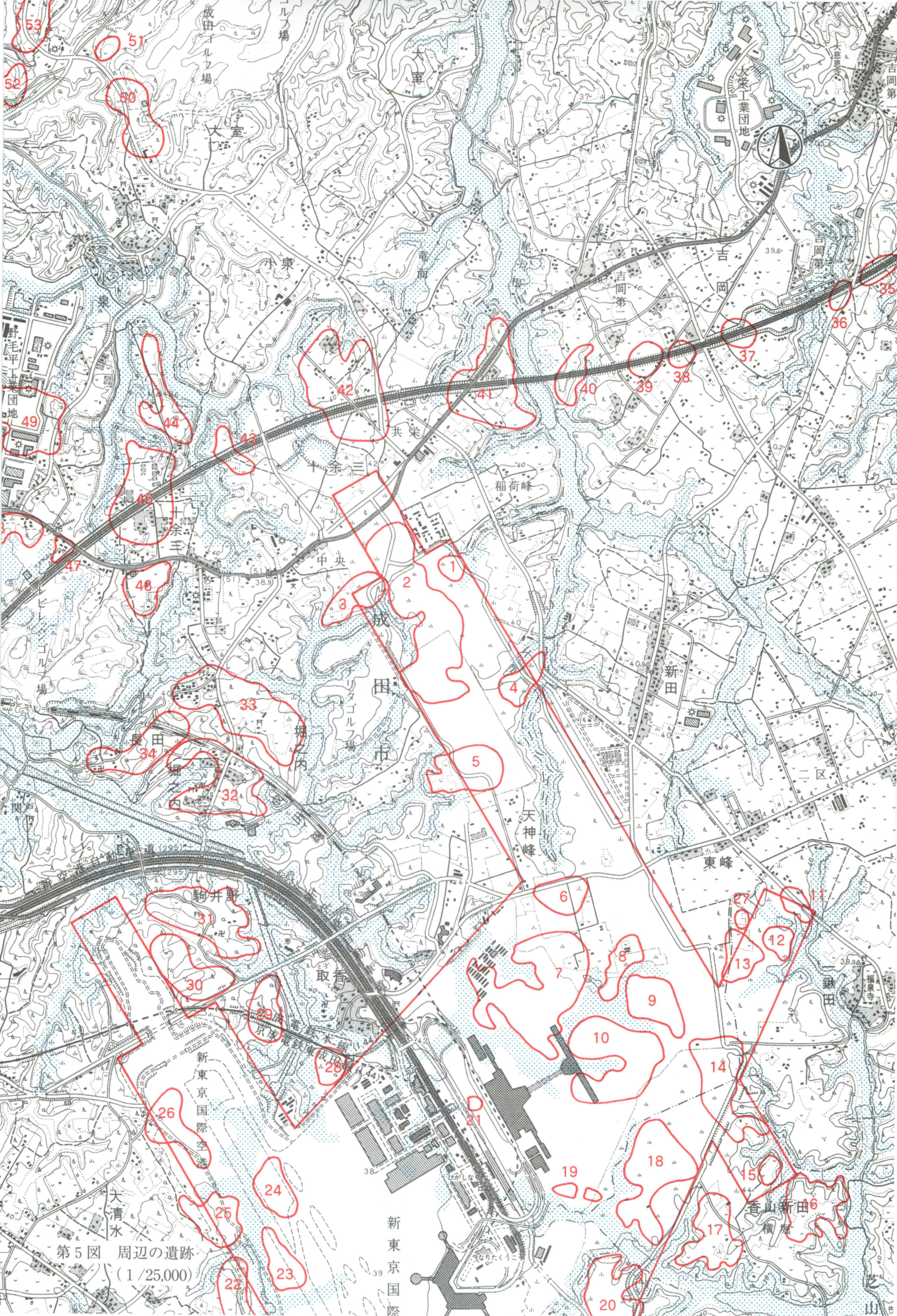
一つ谷を挟んでさらに西側には、取香川の源流域に面した十余三稲荷峰西遺跡（空港No.68遺跡）がある[4)]。旧石器時代では第2黒色帯から環状ブロックが2か所検出された。そのうち1地点は調査区外に分布が広がっていたが、平成12年度の調査で、これに連続する石器集中地点が確認された。縄文時代早期の三戸式を主体とした沈線文土器と条痕文土器を中心に、土器包含層が台地縁辺部に検出された。竪穴状遺構・陥穴・炉穴をはじめとした遺構群と、土器包含層・石器集中地点との関係も興味深い。土器については全体として十余三稲荷峰遺跡における様相と酷似する。

十余三稲荷峰遺跡を中心としたこれらの3遺跡は、一つの大きな「遺跡群」として捉える見方も可能であり、本遺跡がその一端を形成していると位置づけられる。

本遺跡周辺には、他にも多くの遺跡が存在するが、すでに刊行された空港予定地内の報告書を参照していただきたい[5)]。

第1表　周辺遺跡一覧

| 空港予定地内の遺跡 | | |
|---|---|---|
| 1 | 十余三稲荷峰東遺跡 | （空港No.66遺跡） |
| 2 | 十余三稲荷峰遺跡 | （空港No.67遺跡） |
| 3 | 十余三稲荷峰西遺跡 | （空港No.68遺跡） |
| 4 | 天神峰奥之台遺跡 | （空港No.65遺跡） |
| 5 | 天神峰最上遺跡 | （空港No.64遺跡） |
| 6 | 東峰西笠峰遺跡 | （空港No.63遺跡） |
| 7 | 取香和田戸遺跡 | （空港No.60遺跡） |
| 8 | 東峰御幸畑西遺跡 | （空港No.61遺跡） |
| 9 | 東峰御幸畑東遺跡 | （空港No.62遺跡） |
| 10 | 古込遺跡 | （空港No.14・55・56遺跡） |
| 11 | 一鍬田甚兵衛山北遺跡 | （空港No.11遺跡） |
| 12 | 一鍬田甚兵衛山南遺跡 | （空港No.12遺跡） |
| 13 | 一鍬田甚兵衛山西遺跡 | （空港No.16遺跡） |
| 14 | 香山新田新山遺跡 | （空港No.10遺跡） |
| 15 | 香山新田安戸台遺跡 | （空港No.9遺跡） |
| 16 | 香山新田念仏面遺跡 | （空港No.8遺跡） |
| 17 | 香山新田金沢台遺跡 | （空港No.15遺跡） |
| 18 | 香山新田中横堀遺跡 | （空港No.7遺跡） |
| 19 | 古込朝日台遺跡 | （空港No.13遺跡） |
| 20 | 木の根拓美遺跡 | （空港No.6遺跡） |
| 21 | 古込込前遺跡 | （空港No.22遺跡） |
| 22 | 駒井野横谷津遺跡 | （空港No.17遺跡） |
| 23 | 天浪大里遺跡 | （空港No.18遺跡） |
| 24 | 天浪浪丘遺跡 | （空港No.19遺跡） |
| 25 | 駒井野新田遺跡 | （空港No.20遺跡） |
| 26 | 駒井野新堀遺跡 | （空港No.21遺跡） |
| 空港予定地外の遺跡 | | |
| 27 | 一鍬田甚兵衛山遺跡 | |
| 28 | 台ノ田Ⅱ遺跡 | |
| 29 | 駒井野荒追遺跡 | |
| 30 | 駒井野西ノ下遺跡 | |
| 31 | 駒井野城 | |
| 32 | 堀之内遺跡群 | |
| 33 | 堀之内宮ノ台遺跡 | |
| 34 | 長田砦 | |
| 35 | 新堀第2遺跡 | |
| 36 | 新堀第1遺跡 | |
| 37 | 来光台第3遺跡 | |
| 38 | 来光台第2遺跡 | |
| 39 | 来光台第1遺跡 | |
| 40 | 大安場遺跡 | |
| 41 | 十余三稲荷峯Ⅱ遺跡 | |
| 42 | 十余三四本木Ⅱ遺跡 | |
| 43 | 十余三四本木Ⅰ遺跡 | |
| 44 | 十余三瓜生池Ⅱ遺跡 | |
| 45 | 十余三瓜生池Ⅰ遺跡 | |
| 46 | 十余三円妙寺Ⅱ遺跡 | |
| 47 | 野毛平埴出遺跡 | |
| 48 | 野毛平木戸下向山遺跡 | |
| 49 | 新泉遺跡 | |
| 50 | 土室林第1遺跡 | |
| 51 | 土室長山第1（林　北）遺跡 | |
| 52 | 成毛合台第2（間野台）遺跡 | |
| 53 | 成毛右田第1遺跡 | |




第5図　周辺の遺跡
（1/25,000）

## 第３節　基本層序

下層確認グリッドの土層断面図を第６図に掲載した。発掘時の土層説明がないが、当時、空港予定地内の発掘調査で一般的に行われていた土層細分である。層名は現在の標準土層[6]に対応させた。標準土層では、Ⅵ層をなるべく薄く捉え、それ以下を第２黒色帯とするため、本遺跡で見られるⅥ層の下半部の大半は、標準土層のⅦ層に相当するものである可能性が高い。

Ⅰ　層　　耕作土

Ⅱｃ層　　漸移層

Ⅲ　層　　ソフトローム層

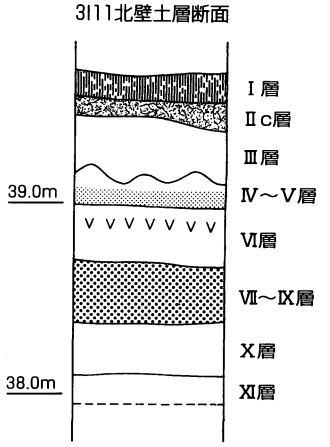
Ⅳ～Ⅴ層　ハードローム層（下半部は第１黒色帯に相当する）

Ⅵ　層　　ＡＴ包含層（下半部は第２黒色帯上部の一部に相当する）

Ⅶ～Ⅸ層　第２黒色帯

Ⅹ　層　　立川ローム最下層

ＸＩ層　　武蔵野ローム最上層




第６図　基本層序

注１　永塚俊司　2000「29　新東京国際空港予定地内遺跡群」『千葉県の歴史　資料編考古１（旧石器・縄文）』（財）千葉県史料研究財団

２　森本和男　1992「コンピューターによる細石器遺跡の分析」『研究連絡誌』第34号　㈶千葉県文化財センター

３　石橋宏克　1988「新東京国際空港№67遺跡出土の三戸式土器」『研究連絡誌』第22号　㈶千葉県文化財センター

石橋宏克・麻生正信　2000「101　十余三稲荷峰遺跡（新東京国際空港№67）」『千葉県の歴史　資料編考古１（旧石器・縄文）』（財）千葉県史料研究財団

４　宮　重行・永塚俊司　2000『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅻ－十余三稲荷峰西遺跡（空港№68遺跡）－』（財）千葉県文化財センター

５　上記以外で

西野 元他　1971『三里塚　新東京国際空港用地内の考古学的調査』(財)千葉県北総公社

宮 重行・池田大助他　1981『木の根』(財)千葉県文化財センター

野口行雄　1983『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ №14遺跡』同上

西川博孝他　1984『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ－ №７遺跡－』同上

川島利道・雨宮龍太郎　1985『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅴ　№２遺跡　№10遺跡』同上

新田浩三他　1993『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅶ 南三里塚宮園遺跡　木の根拓美遺跡　香山新田中横堀遺跡』同上

宮 重行・新田浩三他　1994『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅷ　取香和田戸遺跡（空港№60遺跡）』同上

新田浩三　1995『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅸ －一鍬田甚兵衛山北遺跡（空港№11遺跡）－』同上

横山 仁他　1997『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅹ －天神峰奥之台遺跡（空港№65遺跡）－』同上

平野雅一・永塚俊司　1999『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅺ－東峰西笠峰遺跡（空港№63遺跡）－』同上

宮 重行・麻生正信・永塚俊司　2000『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅢ－東峰御幸畑西遺跡（空港№61遺跡）－』同上

６　島立　桂・新田浩三・渡辺修一　1992「下総台地における立川ローム層の層序区分－平成２・３年度職員研修会から－」『研究連絡誌』第35号同上

# 第２章　旧石器時代

## 第１節　概要

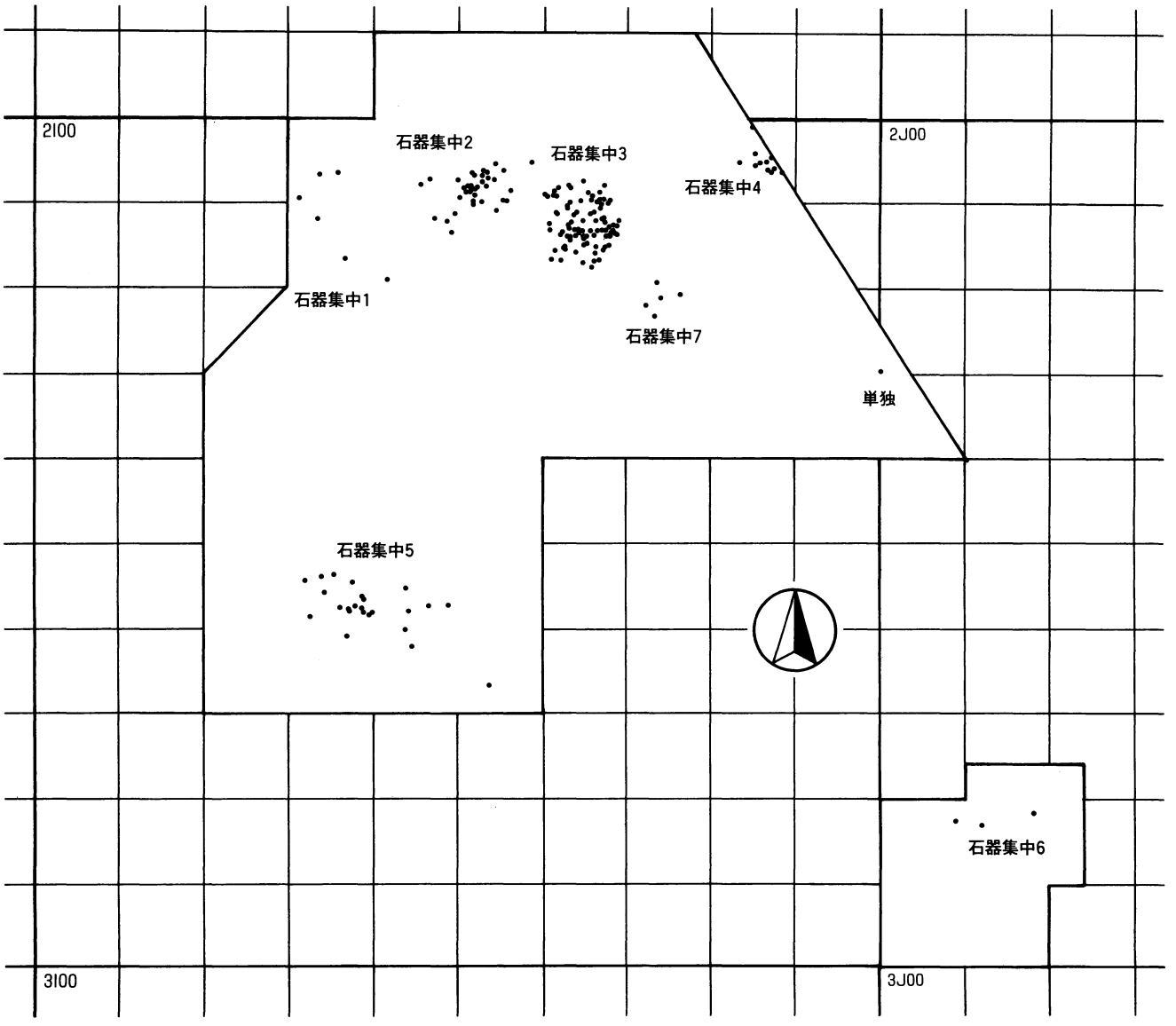
本遺跡では立川ロームⅢ層（ソフトローム）上部を中心に７か所の石器集中地点が検出された（第７図）。層位的に明確に分離する根拠がないためここでは、文化層を設定せず石器集中地点毎に報告を行う。

石器集中１～４は周縁加工の尖頭器が特徴的で、主な石材には珪質頁岩と黒曜石を用いている。出土石器の総点数は各地点合算で151点を数える。本遺跡で最も充実した内容をもつ。

石器集中５は安山岩を主体とした石器群であるが、チャート製の小型ナイフ形石器を伴う。出土石器点数は23点である。石器集中１～４とは分布域がやや離れる。

石器集中６は黒曜石製のナイフ形石器を伴うが、出土石器点数が３点と零細である。

石器集中７はチャート製の細石刃石核を伴うが、出土石器点数が５点と零細である。




第７図　石器集中地点（小グリッド５ｍ四方）

## 第２節　石器集中地点

### １　石器集中１（第８図、第２・３表、図版２・７）

石器集中２の西側外縁部に散在するものを一括した。石器集中地点の中で最も谷寄りに立地する。径７ｍの範囲に散漫に広がる。出土層位はⅢ層上部である。

尖頭器３、削器１、使用痕のある剥片１、剥片２点の合計７点が出土した。トゥールの割合が高い。１は幅広の剥片を横位に用いた、周縁調整の尖頭器である。先端部は欠損している。２は本遺跡の中では比較的大型の剥片を縦位に用いて、周縁に急角度調整を施した尖頭器である。素材剥片の主要剥離面にある打瘤部は平坦剥離により減じられている。３は末端がヒンジフラクチャーを呈した剥片を縦位に用いて、周縁に急角度調整を施した尖頭器の基部片である。先端側は欠損している。６は素材剥片の打面側を折断し、側縁に急角度調整を施した資料である。削器としたが、折断面を基部に設定した周縁調整の尖頭器未製品の可能性が高い。

石材は珪質頁岩Ａ（６点）を主体に、珪質頁岩（１点）が伴う。

本報告では、珪質頁岩について、類似した特徴を一定数もつものとしてＡ・Ｂの２種類を抽出した。珪質頁岩Ａは薄茶色を中心にクリーム色に近いものからやや濃いチョコレート色を呈したものを指す。珪質頁岩Ｂは黒色に近い濃紺色を呈するものを指す。後者についてはすべて同一母岩の可能性が指摘される。

本地点では検出されていないが、他に大別分類した石材に安山岩がある。いわゆる「ガラス質黒色安山岩」を安山岩Ａ、いわゆる「トロトロ石」を安山岩Ｂとした。

この大別は以下、すべての石器集中地点に共通のものである。

### ２　石器集中２（第９図～11図、第２・３表、図版２・７）

台地縁辺の谷地へと傾斜する手前の平坦地に立地する。

平面分布は南北５ｍ、東西７ｍの範囲に比較的まとまりをもって広がる。出土層位はⅢ層上部である。

尖頭器１、削器１、調整痕のある剥片６、使用痕のある剥片５、剥片15、砕片４、石核２、礫片２点を含む合計36点が出土した。１は薄手の剥片を縦位に用いた周縁調整の尖頭器である。最大幅は器体中央よりもやや下位に位置する。基部端は尖頭状を呈する。先端部は欠損している。３は平坦剥離により尖頭部を作出した削器である。調整痕のある剥片は６点あるが、調整は周縁調整の尖頭器と同様のものであり、特徴的である。また、使用痕のある剥片も合わせて、ある程度の大きさをもつ剥片は悉く使用されているという印象を受ける。未使用石器と使用石器は分布域も大きく２か所に分かれる。前者は集中部やや南西側、後者は集中部やや北東側である。

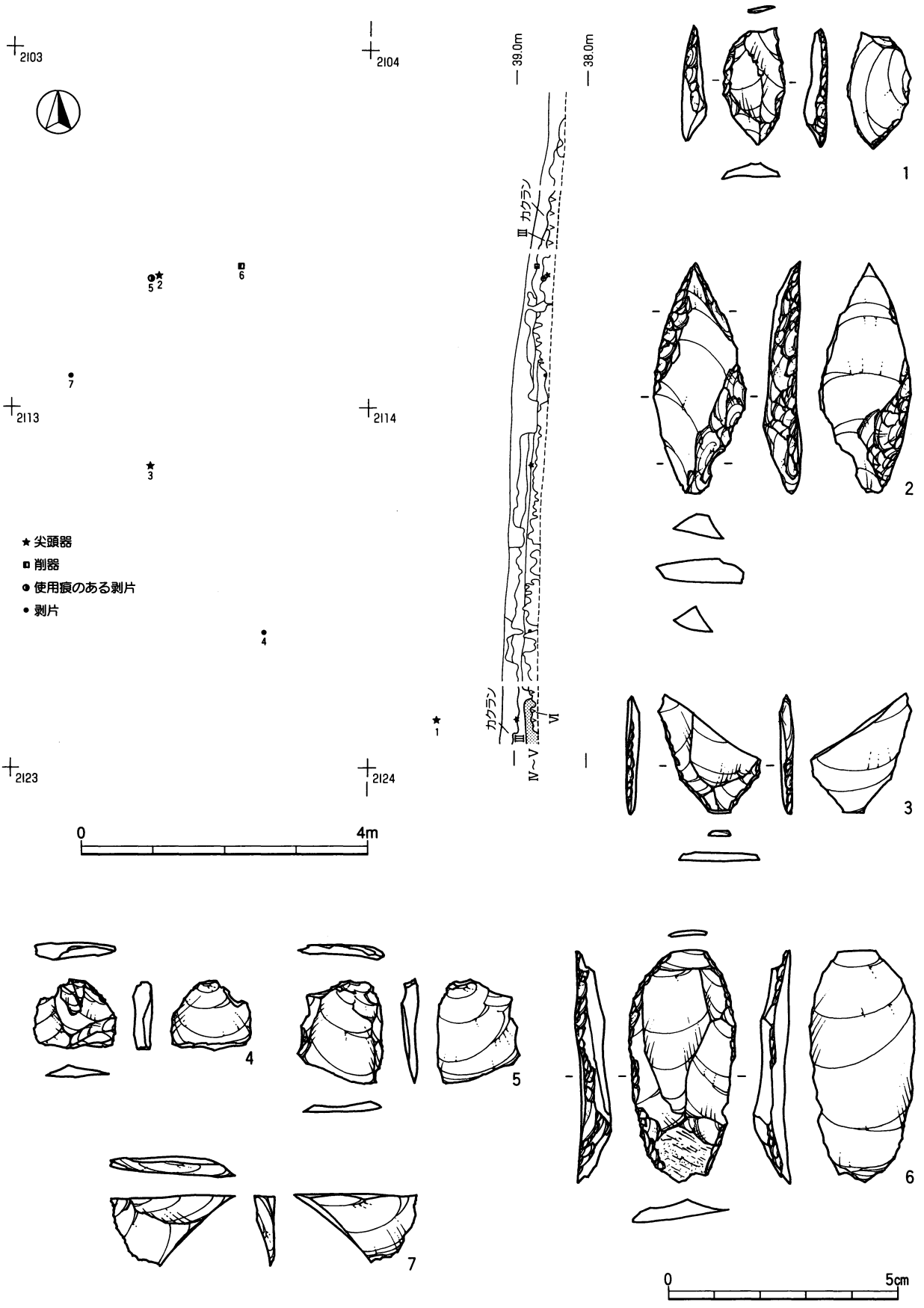
２は石刃素材の石核とした。石刃背面に見られる上位からの剥離痕は、折断面からのものではない。下位からの剥離面は主要剥離面側への剥離によって切られている。石刃の両側縁にはやや不揃いな剥離痕が断続的に連続している。最終的には掻・削器的な使用がなされたものである可能性が高い。

石材は黒曜石（22点）、珪質頁岩Ａ（12点）を主体に、粘板岩・泥岩を伴う。珪質頁岩Ａには被熱による剥落痕をもつ資料も見られる。

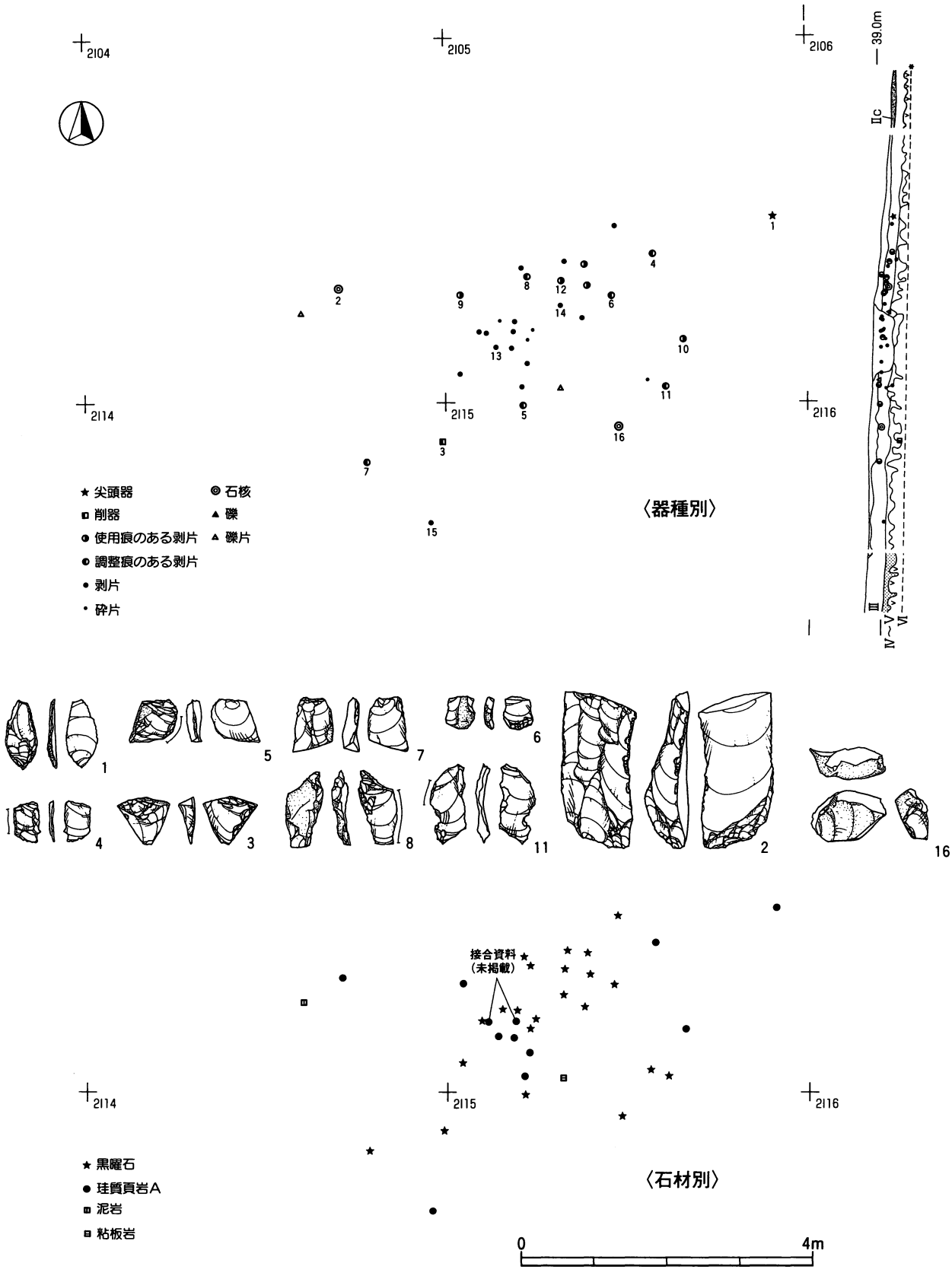
### ３　石器集中３（第12図～17図、第２・３表～６表、図版２・８～10）

平面分布は径約５ｍの範囲に、比較的密集した状況を示している。出土層位はⅢ層上部を中心とする。

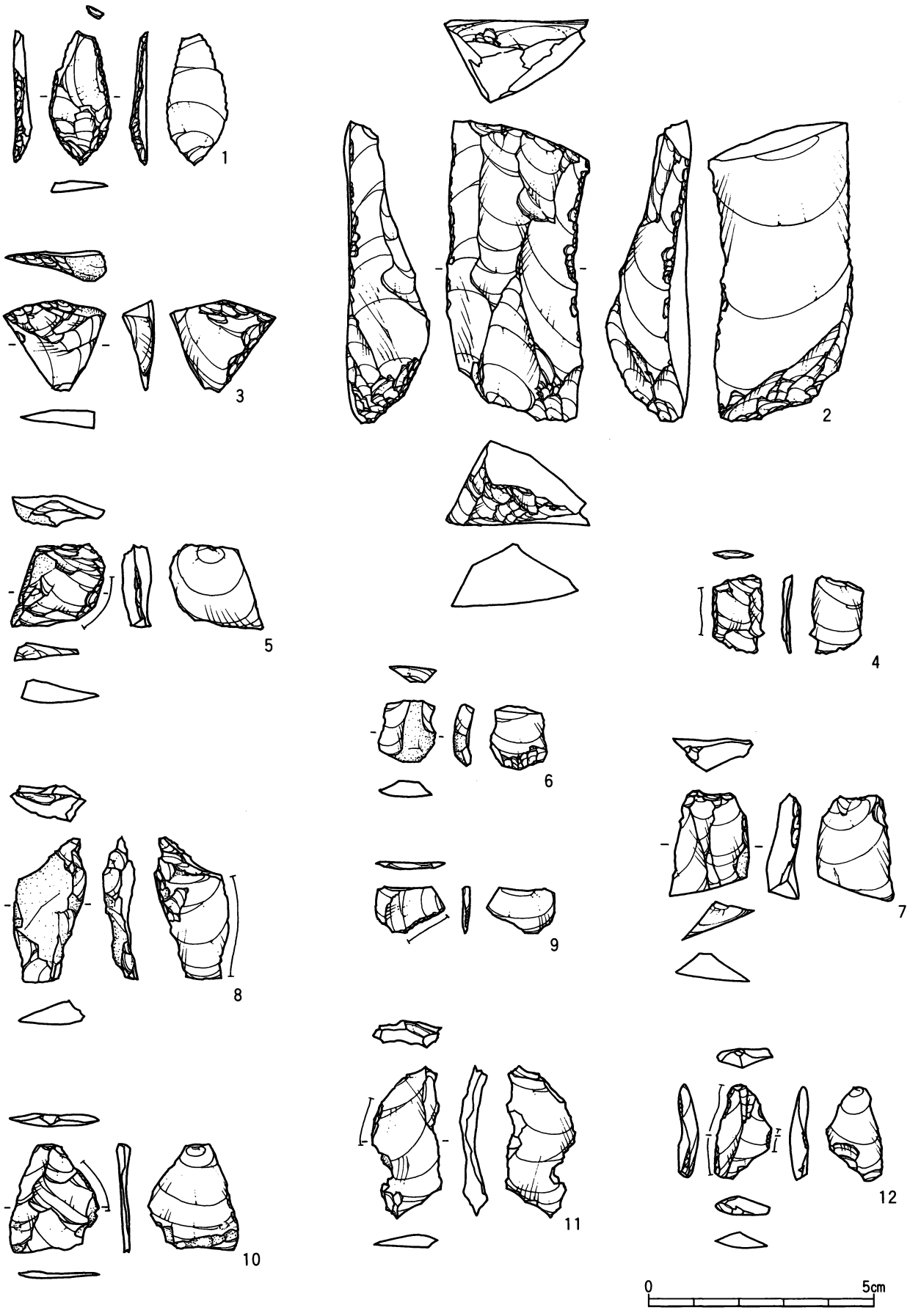
尖頭器５、彫刻刀形石器１、楔形石器剥片１、調整痕のある剥片７、使用痕のある剥片20、剥片50、砕



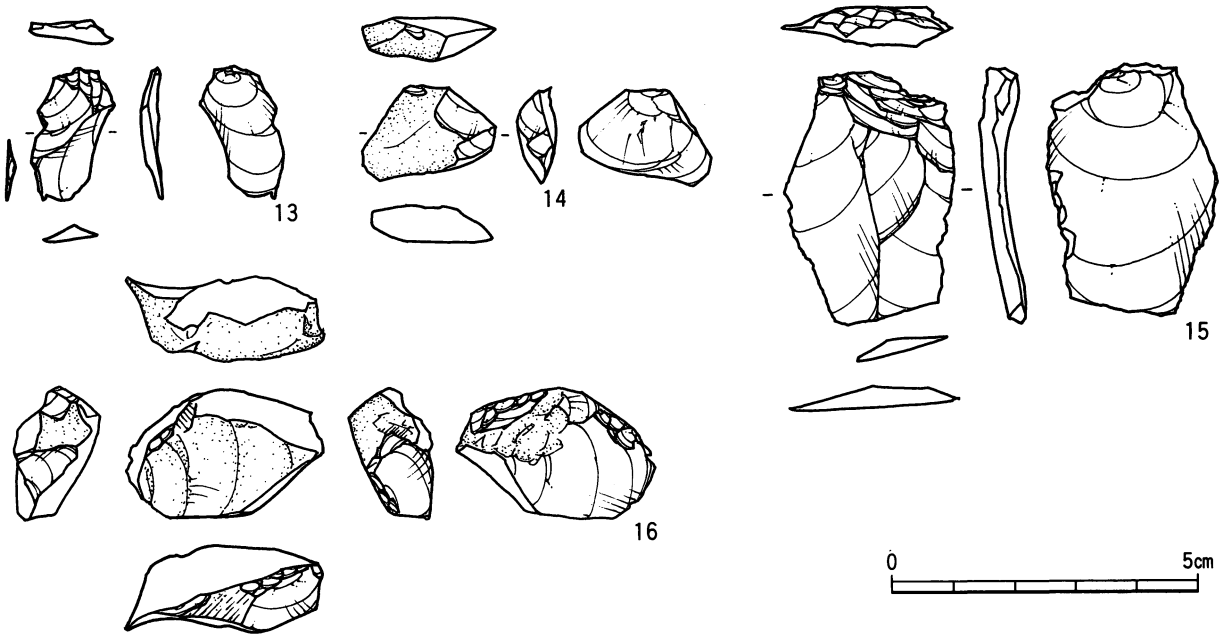

第８図　石器集中１　出土状況と出土石器




第9図　石器集中2　出土状況




第10図　石器集中２　出土石器（１）




第11図　石器集中２　出土石器（２）

片10、石核３、敲石１点の合計98点が出土した。本遺跡で、最も充実した内容をもつ石器集中地点である。

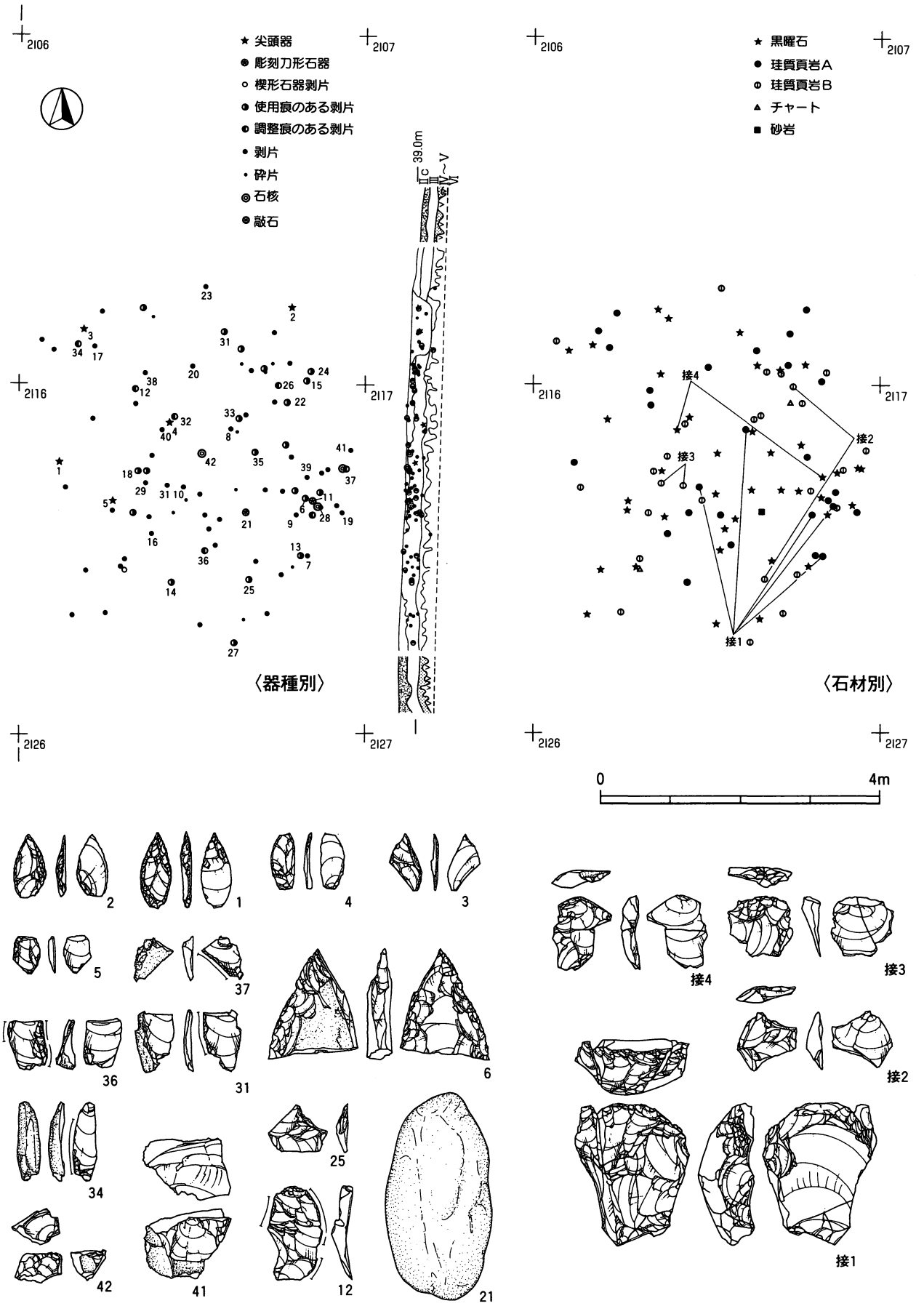
１～５は周縁調整が施された尖頭器である。１は端部がヒンジフラクチャーを呈した剥片を縦位に用い、周縁に急角度調整を施している。先端部に位置する打瘤部には平坦剥離が施されている。２はやや幅広な剥片を斜位に用い、周縁に急角度調整を施して先端を対称的に仕上げている。基部には未調整の部分もある。主要剥離面の打瘤部は最初に剥取され、除去されている。３はやや薄い剥片を斜位に用い、周縁に急角度調整を施している。基部形状は欠損のため不明である。４は薄い縦長の剥片を縦位に用い、先端部を中心に急角度調整を施している。先端は欠損している。５は先端・基部とも欠損した周縁調整が施された尖頭器である。６は樋状剥離を有する尖頭状の彫刻刀形石器である。基部側が欠損しているため、全体形状は不明である。樋状剥離は右側縁に施され、剥離面から器体への微細な調整が施されている。比較的厚めの扁平な剥片を素材とし、平坦剥離は器体中央に及ばないものがほとんどである。12・26・31・34・36・37は調整痕のある剥片である。周縁調整の尖頭器と同様の急角度調整が施された資料が比較的目立つ。使用痕のある剥片は20点が出土し、剥片の使用頻度は高い。

石核は３点ある。41は角礫状の黒曜石を用いている。打面調整を施さず、打面転位を繰り返しながら剥片剥離を進めている。42も打面調整の施されない平坦打面から剥片剥離を試みているが、ヒンジによって途中で止まってしまっている。得られる剥片は小型である。もう１点は接合資料１に含まれる。

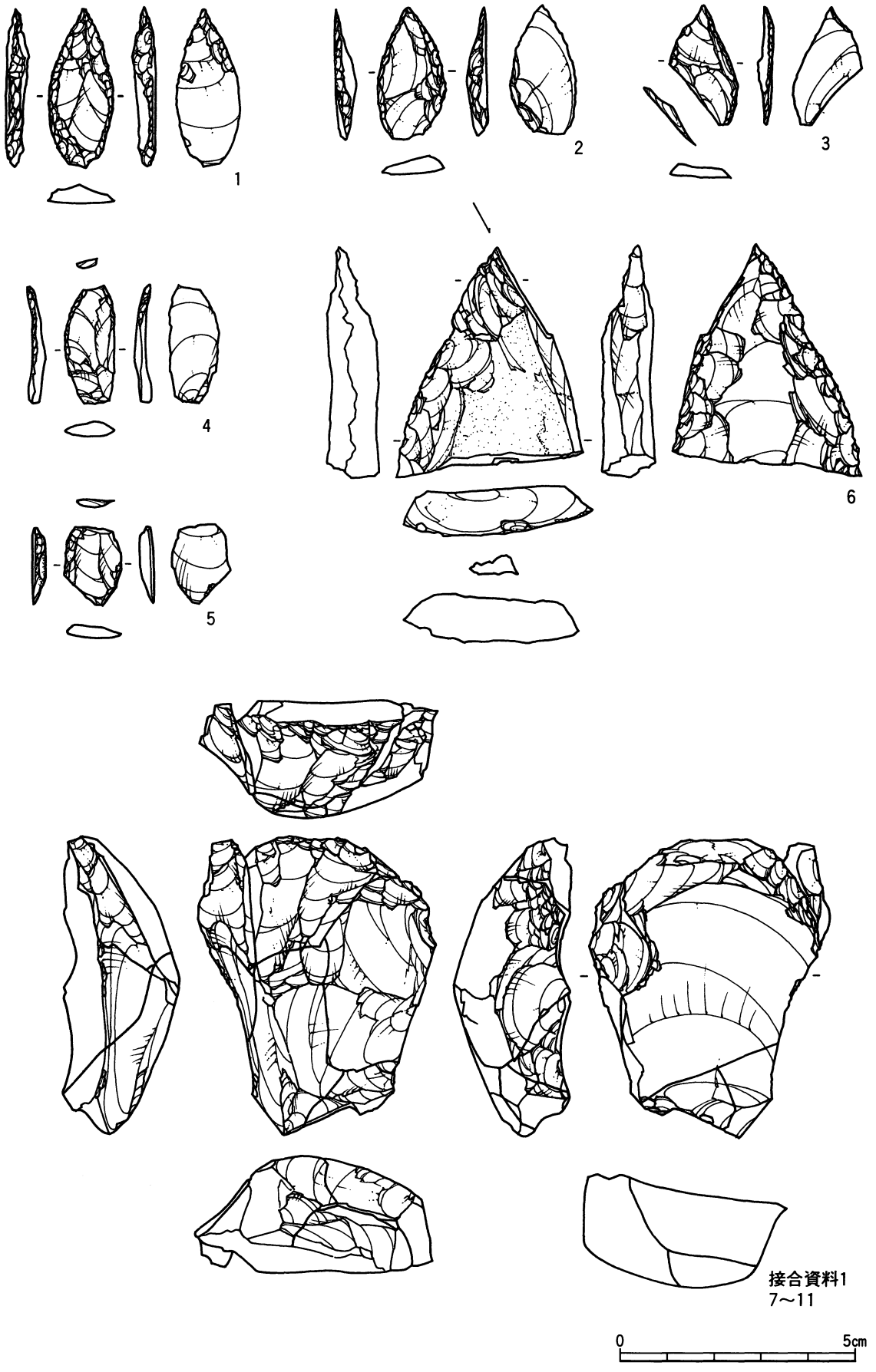
接合資料は４個体がある。接合資料１は石核（７～９＋11）と剥片（10）の接合資料である。石核はその後、大きな剥片が剥がされることによって２分割される。大型剥片（７～９）はさらに３つに分離してしまっている。核部分（11）はさらに剥片剥離が試みられたのか、掻器状の刃部形成を目的としたものであるのかよく分からないが、分割後の剥離痕が観察される。

砂岩製の敲石が１点検出されているが、敲打痕はあまり顕著ではない。

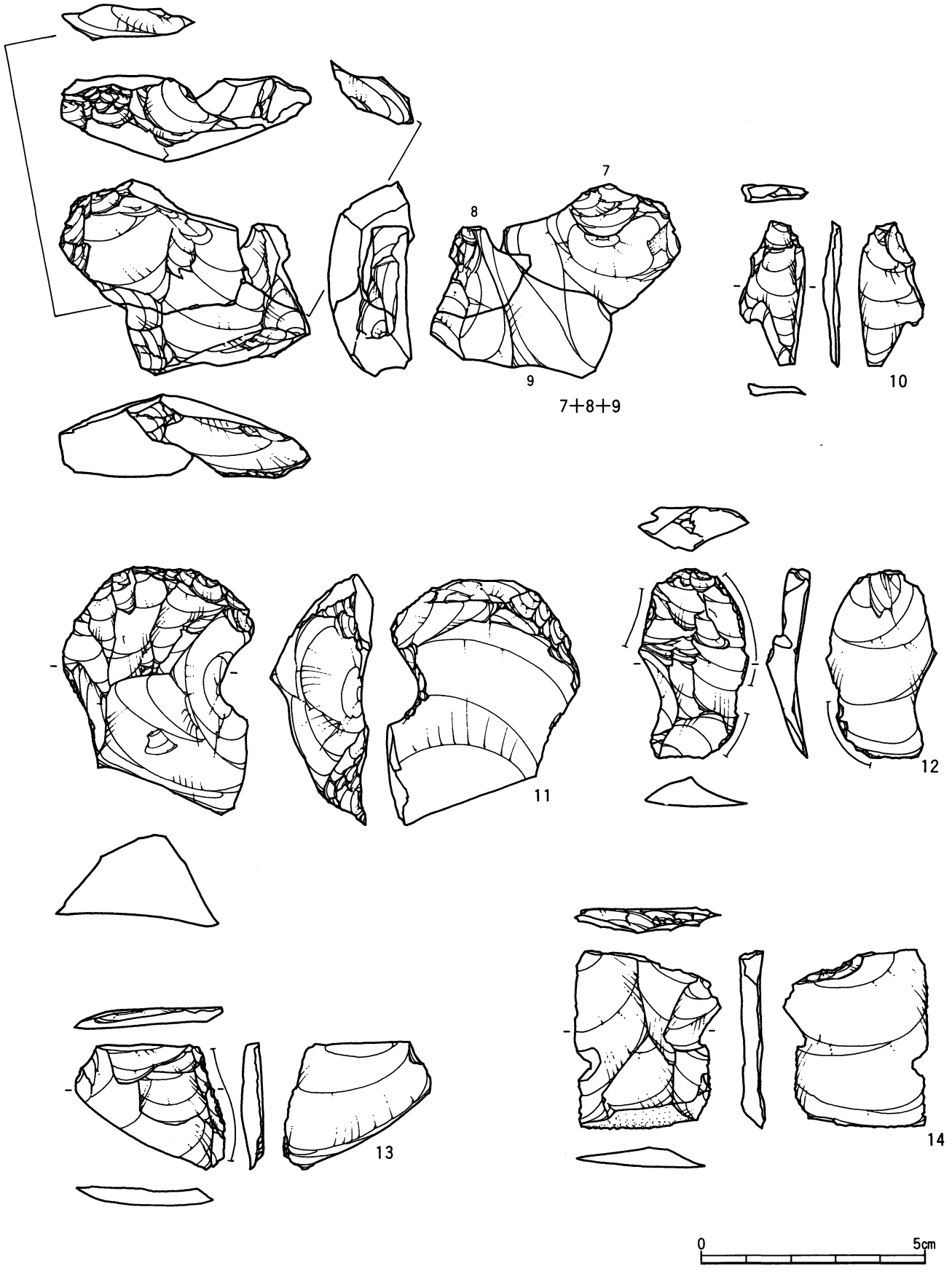
石材構成は黒曜石（41点）、珪質頁岩Ａ（27点）、珪質頁岩Ｂ（27点）が主体を占め、チャート・砂岩がこれに若干加わる。尖頭器には珪質頁岩を主体的に用いている。珪質頁岩・黒曜石ともに本地点において若干の母岩消費が見られるが、あくまで小規模なものである。



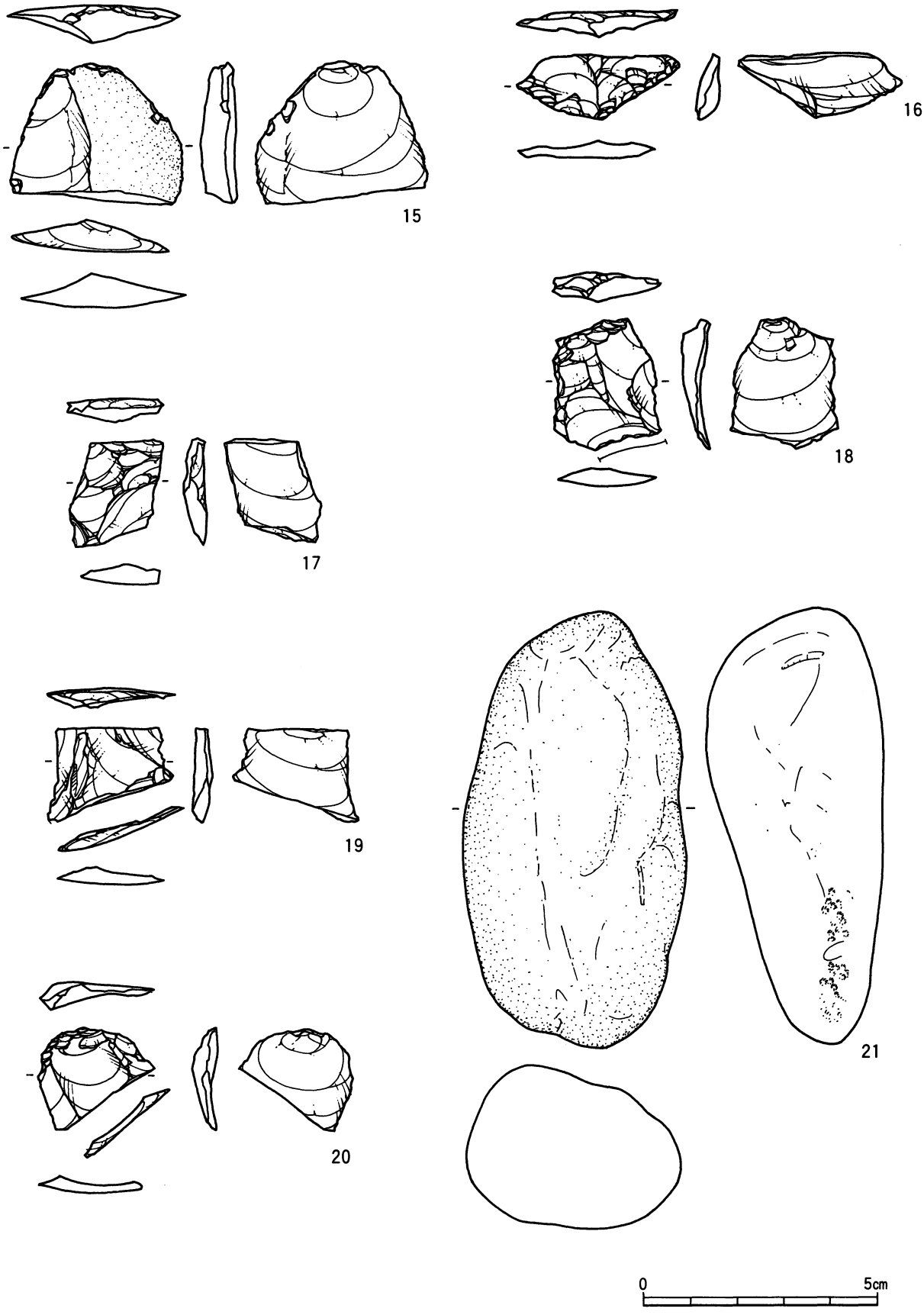

第12図　石器集中３　出土状況と主な石器



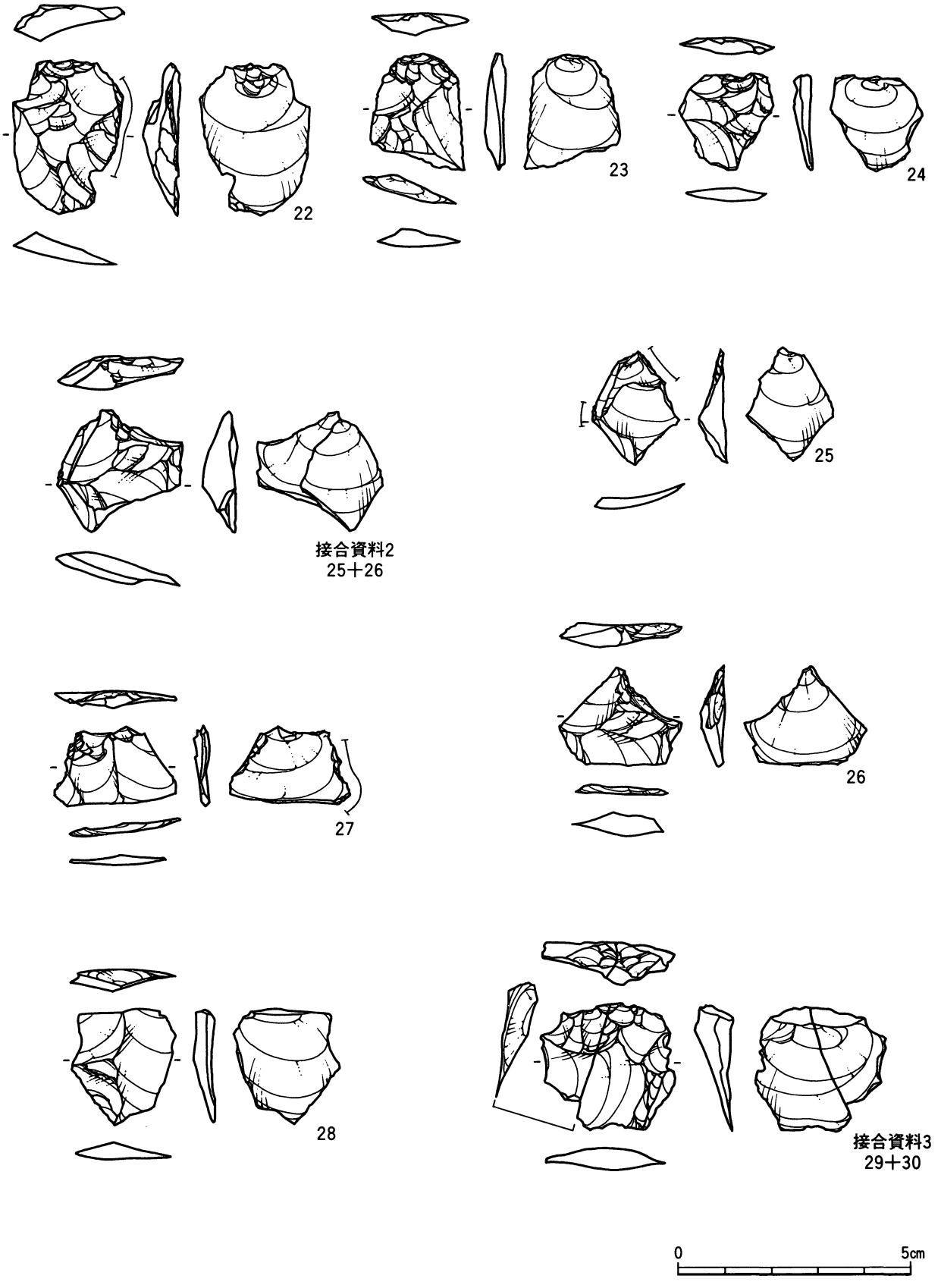

第13図　石器集中３　出土石器（１）



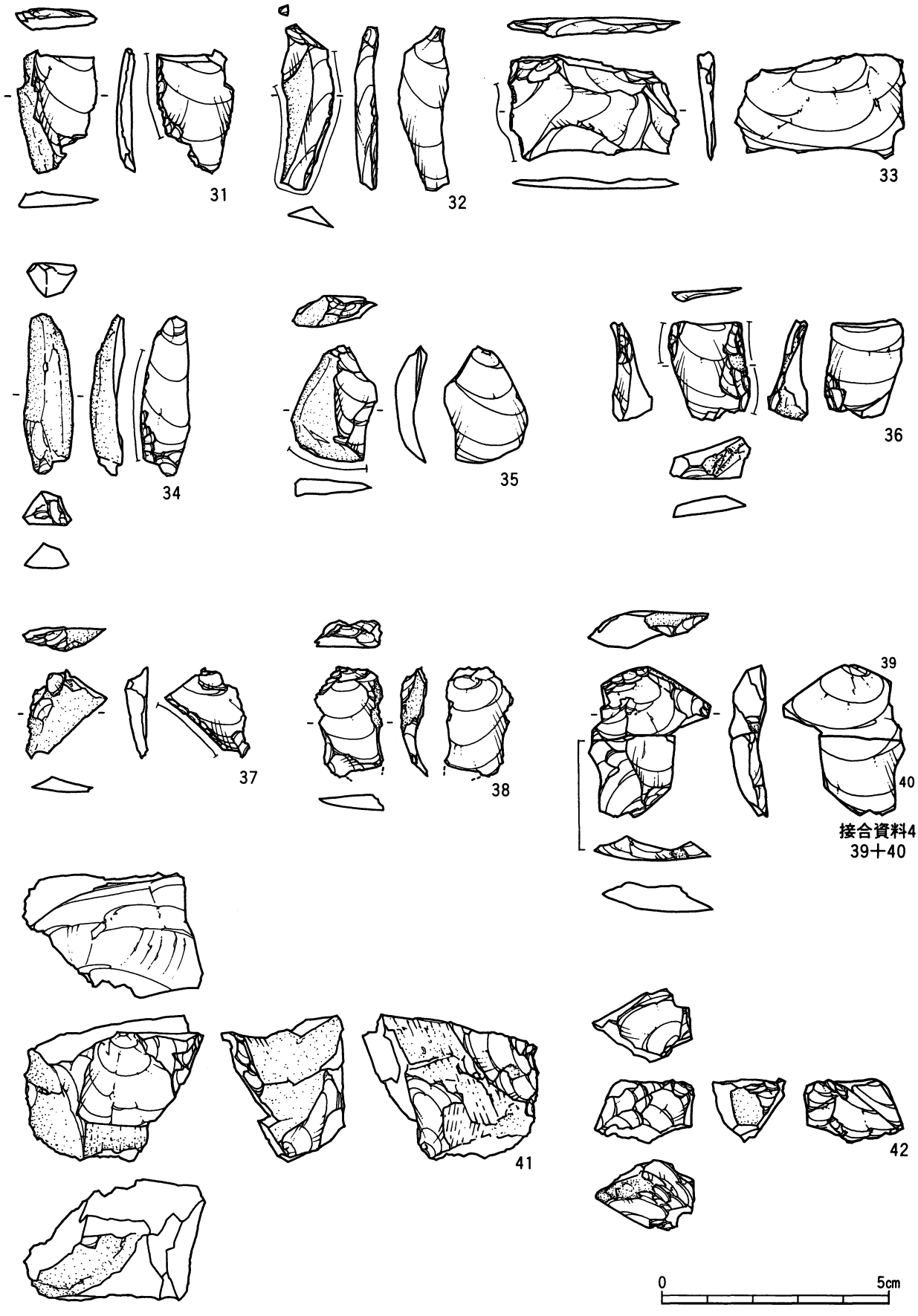

第14図　石器集中３　出土石器（２）




第15図　石器集中３　出土石器（３）




第16図　石器集中３　出土石器（４）




第17図　石器集中３　出土石器（５）

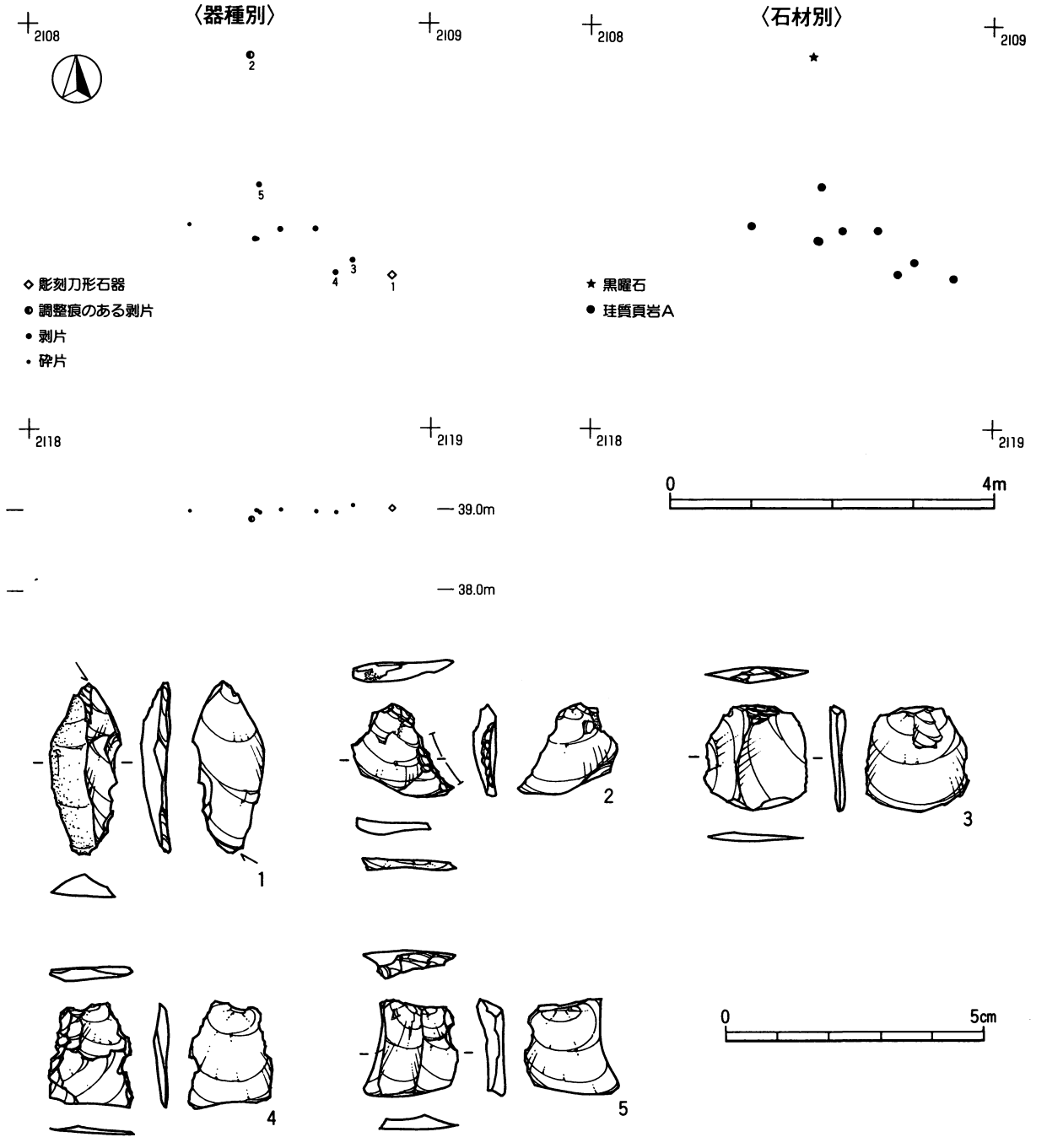
4　石器集中４（第18図、第２・６表、図版３・11）

平面分布は径３ｍの範囲に収まる。調査区の際からの出土であり、調査区外に分布域が延びていた可能性が高いが、道路により削平されているため、不明である。出土層位はⅢ層中である。

出土石器は、彫刻刀形石器１、調整痕のある剥片１、剥片６、砕片２点の合計10点で構成される。

１は彫刻刀形石器である。縦長の剥片を縦位に用い、打面側の右肩に一枚、剥片端部に１枚の樋状剥離痕が観察される。２は黒曜石製の調整痕のある剥片である。右側縁に急角度調整が施されている。

石材は珪質頁岩Ａが大半を占め、黒曜石が１点加わる。




第18図　石器集中４　出土状況と出土石器

5　石器集中５（第19・20図、第２・６表、図版３・11）

石器集中１～４が並ぶ地点から約20ｍ離れた台地平坦部に立地する。分布状況は東西10ｍ、南北5ｍの範囲に散漫に広がる。出土層位はⅢ層上部である。

出土石器はナイフ形石器１、調整痕のある剥片３、剥片16、砕片２、石核１点の合計23点である。

１はチャート製の小型のナイフ形石器である。刃部の一部は欠損しているが切り出し状を呈していたと思われる。基部は急角度調整により尖頭状に仕上げられている。形態的によく似た資料が石器集中地点外で採集されている（第23図６・７）。７は下端部に調整痕が施された剥片である。扁平礫の分割片状の剥片に両極打が施されたような剥離痕をもつ。11も調整痕のある剥片である。安山岩製でノッチ状に粗い調整が施されている。10はチャート製の石核である。扁平な柱状を呈した原石の分割面を作業面に設定している。上下両端から剥離痕が観察される。

石材は安山岩Ａを主体とし、これにチャート・凝灰岩・安山岩Ｂ・流紋岩が加わる。母岩消費の対象は安山岩Ａのみであるが、小規模なものである。

6　石器集中６（第21図、第２・６表、図版３・12）

黒曜石製のナイフ形石器１、安山岩製の剥片１点の合計２点が出土した。２点は約5ｍ離れた位置から検出された。出土層位はⅢ層である。

ナイフ形石器は基部側は欠損している。素材剥片を縦位に用い、先端左側縁に調整を施している。

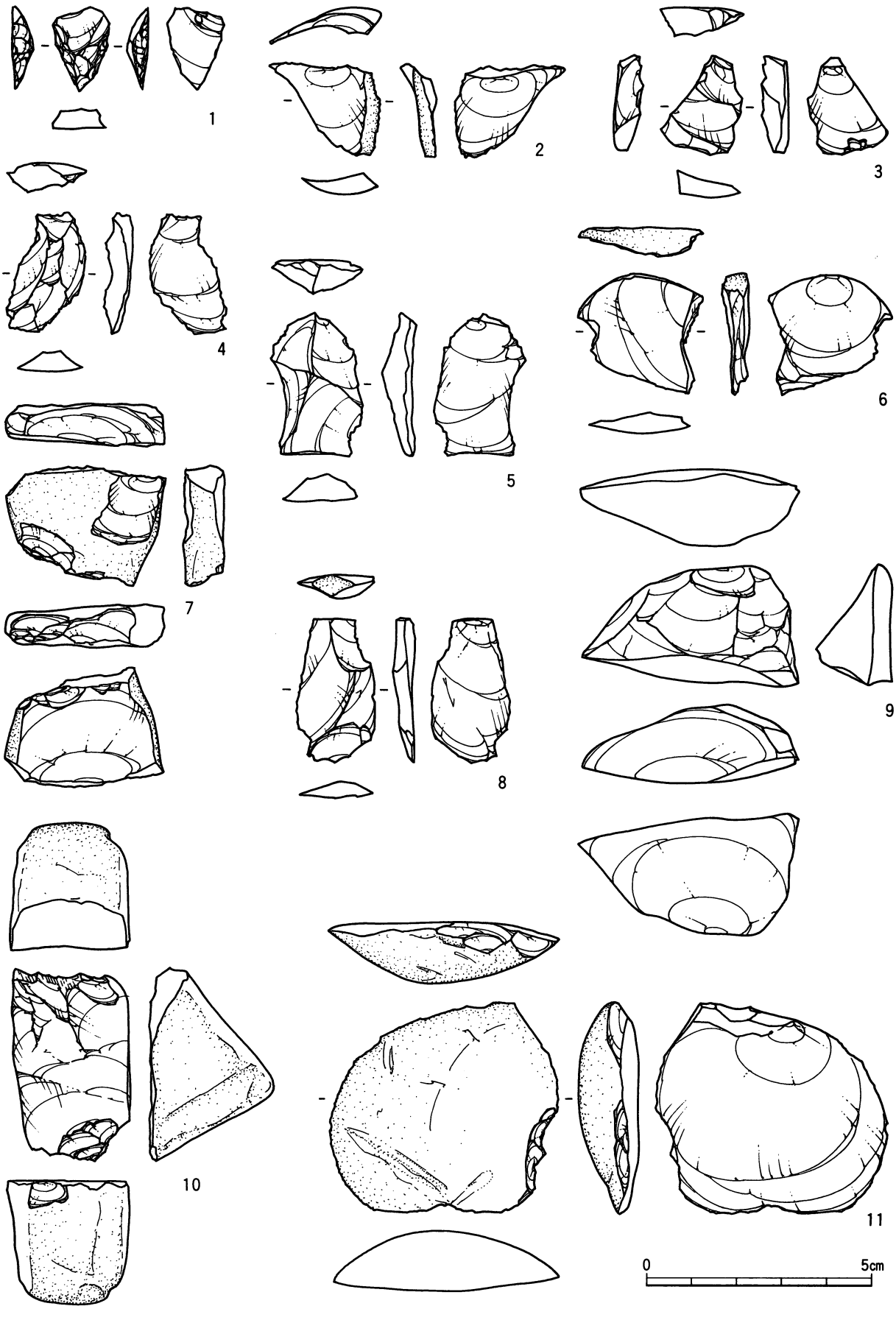
7　石器集中７（第22図、第２・６表、図版３・12）

平面分布は径２ｍの範囲に収まる。Ⅲ層上部から検出された。

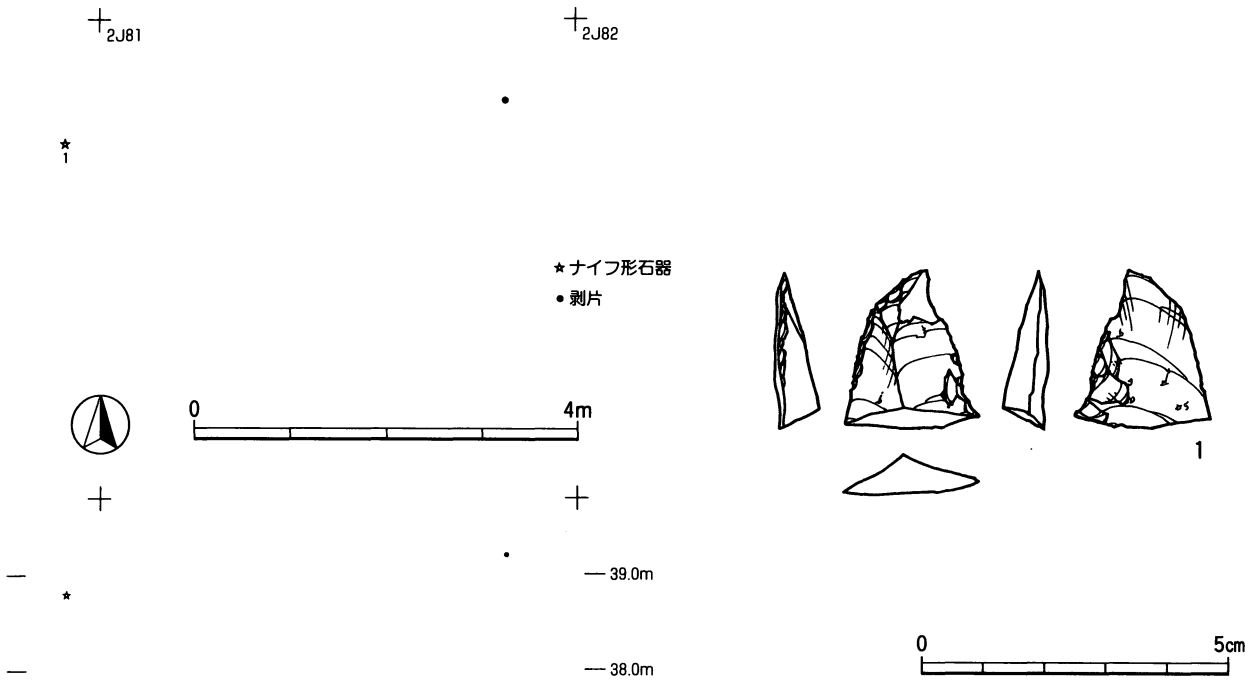
出土石器は細石刃石核２、剥片２点がある。１は焦げ茶色を呈したチャートを用いた細石刃石核である。同一母岩の剥片が１点あるが接合はしない。打面は両設で、上設打面は作業面に対して直角に近い角度を保ち、作業面側からの打面調整が施されている。下設打面は急角度のもので打面調整が施されている。下設打面から上設打面へ転位している。２は淡い薄緑色のチャートを用いた細石刃石核で、作業面が下端から大きく剥取されている。３は右側縁に微細剥離痕をもつ剥片である。

３は石器集中３に特徴的な珪質頁岩Ｂと同一のものであり、本来的には細石刃石核と同一時期のものではないと考える。

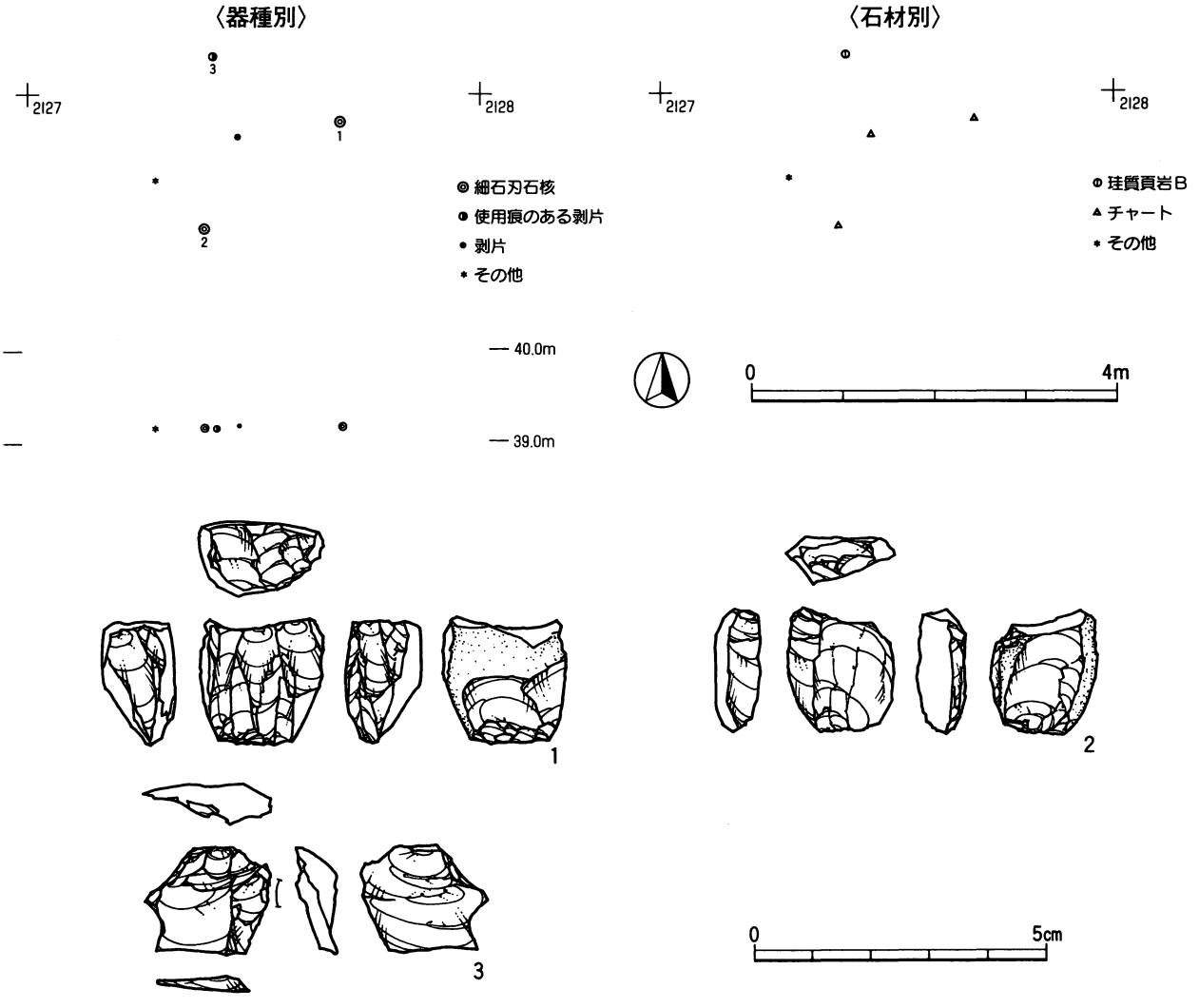
第19図　石器集中５　出土状況



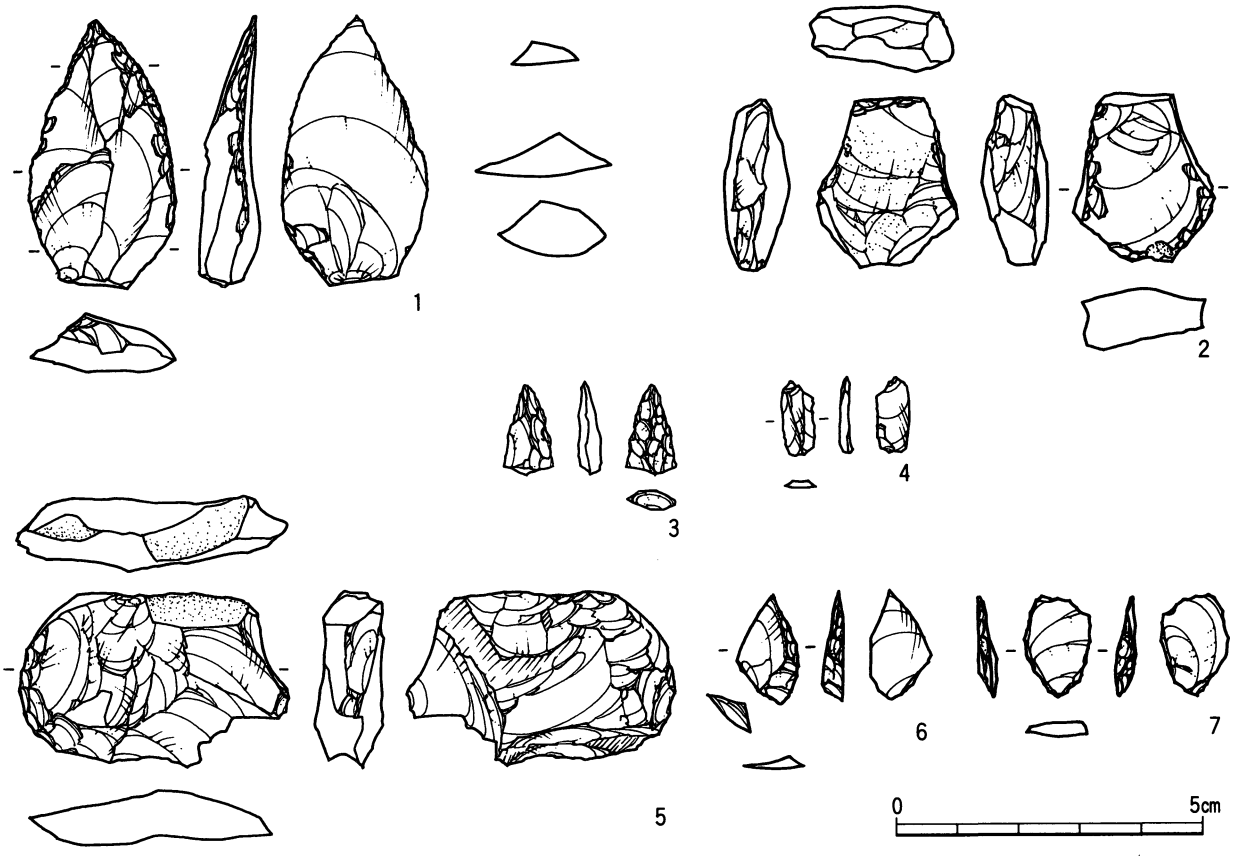

第20図　石器集中５　出土石器




第21図　石器集中６　出土状況と出土石器




第22図　石器集中７　出土状況と出土石器




第23図　石器集中地点外　出土石器

## 第３節　石器集中地点外（第23図、第７表、図版12）

石器集中を形成しない単独出土のものとグリッド一括資料を取り上げる。

１は珪質頁岩Ａを用いた周縁調整の尖頭器である。先端部を中心に調整が施されている。基部側には不揃いな微細剥離痕が観察されるが、尖頭部以外は素材剥片の形状を大きく変えていない。石器集中１～４と同一時期に属する。

２はメノウ製の微細剥離痕のある剥片である。火打ち石の可能性もある。

３は安山岩製の尖頭器先端部である。欠損品であり判断は難しいが、有舌尖頭器の基部端の可能性もある。

４は漆黒に近い黒曜石を用いた細石刃である。端部には反りが見られる。

５はチャート製の楔形石器である。上下・左右２方向から加撃している。所属時期は縄文時代の可能性もある。

６・７は珪質頁岩製の小型のナイフ形石器である。石器集中５と同一時期に属すると思われる。

第２表　石器集中地点　組成表

石器集中１

| | 尖頭器 | 削器 | 使用痕のある剥片 | 剥片 | 合計 | 組成比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 珪質頁岩Ａ | 2<br>7.79 | 1<br>5.65 | 1<br>0.96 | 2<br>2.14 | 6<br>16.54 | 85.71<br>91.33 |
| 珪質頁岩 | 1<br>1.57 | | | | 1<br>1.57 | 14.29<br>8.67 |
| 合計 | 3<br>9.36 | 1<br>5.65 | 1<br>0.96 | 2<br>2.14 | 7<br>18.11 | 100.00<br>100.00 |
| 組成比 | 42.86<br>51.68 | 14.29<br>31.20 | 14.29<br>5.30 | 28.57<br>11.82 | 100.00<br>100.00 | |

## 石器集中 2

| | 尖頭器 | 削器 | 調整痕のある剥片 | 使用痕のある剥片 | 剥片 | 砕片 | 石核 | 礫片 | 合計 | 組成比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 黒曜石 | | 1<br>1.78 | 5<br>8.87 | 3<br>0.88 | 8<br>4.19 | 4<br>0.19 | 1<br>8.63 | | 22<br>24.54 | 61.11<br>36.26 |
| 珪質頁岩A | 1<br>1.25 | | 1<br>0.37 | 2<br>1.27 | 7<br>7.03 | | 1<br>32.10 | | 12<br>42.02 | 33.33<br>62.09 |
| 粘板岩 | | | | | | | | 1<br>0.55 | 1<br>0.55 | 2.78<br>0.81 |
| 泥岩 | | | | | | | | 1<br>0.57 | 1<br>0.57 | 2.78<br>0.84 |
| 合計 | 1<br>1.25 | 1<br>1.78 | 6<br>9.24 | 5<br>2.15 | 15<br>11.22 | 4<br>0.19 | 2<br>40.73 | 2<br>1.12 | 36<br>67.68 | 100.00<br>100.00 |
| 組成比 | 2.78<br>1.85 | 2.78<br>2.63 | 16.67<br>13.65 | 13.89<br>3.18 | 41.67<br>16.58 | 11.11<br>0.28 | 5.56<br>60.18 | 5.56<br>1.65 | 100.00<br>100.00 | |

## 石器集中 3

| | 尖頭器 | 彫刻刀形石器 | 楔形石器剥片 | 調整痕のある剥片 | 使用痕のある剥片 | 剥片 | 砕片 | 石核 | 敲石 | 合計 | 組成比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 黒曜石 | 1<br>0.43 | | | 5<br>7.30 | 7<br>4.86 | 20<br>12.25 | 6<br>0.53 | 2<br>30.66 | | 41<br>56.03 | 41.84<br>13.42 |
| 珪質頁岩A | 3<br>4.38 | 1<br>18.72 | | 1<br>5.52 | 5<br>19.10 | 14<br>39.53 | 2<br>0.10 | 1<br>35.83 | | 27<br>123.18 | 27.55<br>29.50 |
| 珪質頁岩B | 1<br>0.70 | | | 1<br>2.18 | 8<br>12.06 | 15<br>12.89 | 2<br>0.12 | | | 27<br>27.95 | 27.55<br>6.69 |
| チャート | | | 1<br>0.64 | | | 1<br>0.82 | | | | 2<br>1.46 | 2.04<br>0.35 |
| 砂岩 | | | | | | | | | 1<br>209.00 | 1<br>209.00 | 1.02<br>50.05 |
| 合計 | 5<br>5.51 | 1<br>18.72 | 1<br>0.64 | 7<br>15.00 | 20<br>36.02 | 50<br>65.49 | 10<br>0.75 | 3<br>66.49 | 1<br>209.00 | 98<br>417.62 | 100.00<br>100.00 |
| 組成比 | 5.10<br>1.32 | 1.02<br>4.48 | 1.02<br>0.15 | 7.14<br>3.59 | 20.41<br>8.63 | 51.02<br>15.68 | 10.20<br>0.18 | 3.06<br>15.92 | 1.02<br>50.05 | 100.00<br>100.00 | |

## 石器集中 4

| | 彫刻刀形石器 | 調整痕のある剥片 | 剥片 | 砕片 | 合計 | 組成比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 黒曜石 | | 1<br>1.05 | | | 1<br>1.05 | 10.00<br>14.85 |
| 珪質頁岩A | 1<br>1.73 | | 6<br>4.21 | 2<br>0.08 | 9<br>6.02 | 90.00<br>85.15 |
| 合計 | 1<br>1.73 | 1<br>1.05 | 6<br>4.21 | 2<br>0.08 | 10<br>7.07 | 100.00<br>100.00 |
| 組成比 | 10.00<br>24.47 | 10.00<br>14.85 | 60.00<br>59.55 | 20.00<br>1.13 | 100.00<br>100.00 | |

## 石器集中 5

| | ナイフ形石器 | 調整痕のある剥片 | 剥片 | 砕片 | 石核 | 合計 | 組成比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| チャート | 1<br>0.95 | | | | 1<br>40.52 | 2<br>41.47 | 8.70<br>31.47 |
| 安山岩A | | 1<br>35.81 | 14<br>21.21 | 2<br>0.27 | | 17<br>57.29 | 73.91<br>43.48 |
| 安山岩B | | | 1<br>19.32 | | | 1<br>19.32 | 4.35<br>14.66 |
| 凝灰岩 | | 1<br>1.46 | 1<br>0.73 | | | 2<br>2.19 | 8.70<br>1.66 |
| 流紋岩 | | 1<br>11.49 | | | | 1<br>11.49 | 4.35<br>8.72 |
| 合計 | 1<br>0.95 | 3<br>48.76 | 16<br>41.26 | 2<br>0.27 | 1<br>40.52 | 23<br>131.76 | 100.00<br>100.00 |
| 組成比 | 4.35<br>0.72 | 13.04<br>37.01 | 69.57<br>31.31 | 8.70<br>0.20 | 4.35<br>30.75 | 100.00<br>100.00 | |

## 石器集中 6

| | ナイフ形石器 | 剥片 | 合計 | 組成比 |
|---|---|---|---|---|
| 黒曜石 | 1<br>2.07 | | 1<br>2.07 | 50.00<br>71.38 |
| 安山岩A | | 1<br>0.83 | 1<br>0.83 | 50.00<br>28.62 |
| 合計 | 1<br>2.07 | 1<br>0.83 | 2<br>2.90 | 100.00<br>100.00 |
| 組成比 | 50.00<br>71.38 | 50.00<br>28.62 | 100.00<br>100.00 | |

## 石器集中 7

| | 細石刃石核 | 使用痕のある剥片 | 剥片 | 合計 | 組成比 |
|---|---|---|---|---|---|
| チャート | 2<br>10.18 | | 1<br>0.48 | 3<br>10.66 | 75.00<br>84.67 |
| 珪質頁岩B | | 1<br>1.93 | | 1<br>1.93 | 25.00<br>15.33 |
| 合計 | 2<br>10.18 | 1<br>1.93 | 1<br>0.48 | 4<br>12.59 | 100.00<br>100.00 |
| 組成比 | 50.00<br>80.86 | 25.00<br>15.33 | 25.00<br>3.81 | 100.00<br>100.00 | |

［上段：点数、下段：重量（g）］

## 第3表　石器集中地点　石器観察表（1）

| 石器集中 | 挿図No. | グリッド | 遺物No. | 器種 | 最大長mm | 最大幅mm | 最大厚mm | 重量g | 接合No. | 打面形状 | 打角° | 打面調整 | 頭部調整 | 背面構成 C | S | H | T | R | L | D | V | 調整角° | 先端角° | 調整部位 | 折面部位 | 末端 | 石材 | X座標 | Y座標 | 標高m | 層位 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 01 | 1 | 02I14 | 0005 | 尖頭器 | 25.0 | 13.6 | 4.3 | 1.57 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 珪質頁岩 | -22309.355 | 50120.984 | 38.970 | Ⅲ層上部 | |
| 01 | 2 | 02I03 | 0005 | 尖頭器 | 50.2 | 20.2 | 8.0 | 6.61 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 珪質頁岩A | -22303.146 | 50117.061 | 38.545 | Ⅲ層 | |
| 01 | 3 | 02I13 | 0004 | 尖頭器 | 26.8 | 22.3 | 2.9 | 1.18 | | | | | | | | 2 | | 1 | | | | | | | H | H | 珪質頁岩A | -22305.799 | 50116.962 | 38.771 | Ⅲ層 | |
| 01 | 4 | 02I13 | 0005 | 剥片 | 15.2 | 17.9 | 3.6 | 0.93 | | 1 | 130 | | ○ | | | 4 | | 2 | | | | | | | T | | 珪質頁岩A | -22308.138 | 50118.558 | 38.774 | Ⅲ層 | |
| 01 | 5 | 02I03 | 0004 | 使用痕のある剥片 | 21.5 | 18.8 | 2.8 | 0.96 | | 1 | 135 | | ○ | | | 4 | | | | | | | | | | H | 珪質頁岩A | -22303.192 | 50116.951 | 38.600 | Ⅲ層 | |
| 01 | 6 | 02I03 | 0007 | 削器 | 50.4 | 23.1 | 5.8 | 5.65 | | | | | | ○ | | 5 | | | | | | | | | H | H | 珪質頁岩A | -22303.024 | 50118.220 | 38.694 | その他 | |
| 01 | 7 | 02I03 | 0006 | 剥片 | 15.6 | 27.5 | 4.0 | 1.21 | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | H・T | | 珪質頁岩A | -22304.560 | 50115.831 | 38.570 | Ⅲ層 | |
| 02 | 1 | 02I05 | 0032 | 尖頭器 | 29.0 | 14.2 | 3.2 | 1.25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 珪質頁岩A | -22302.474 | 50129.561 | 38.783 | Ⅲ層上部 | 先端欠損 |
| 02 | 2 | 02I04 | 0004 | 石核 | 63.4 | 29.8 | 19.3 | 32.10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 珪質頁岩A | -22303.438 | 50123.521 | 38.855 | Ⅲ層上部 | 掻削器 |
| 02 | 3 | 02I14 | 0008 | 削器 | 20.2 | 23.2 | 6.2 | 1.78 | | | | | | ○ | | 1 | | | 3 | | | | | | | H | 黒曜石 | -22305.534 | 50124.950 | 38.726 | Ⅲ層下部 | |
| 02 | 4 | 02I05 | 0031 | 調整痕のある剥片 | 16.9 | 11.4 | 1.9 | 0.37 | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | H | F | 珪質頁岩A | -22302.957 | 50127.888 | 38.804 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | 5 | 02I15 | 0004 | 調整痕のある剥片 | 17.7 | 21.0 | 6.5 | 2.03 | | P | | | ○ | ○ | | 3 | | | | | | | | | T | | 黒曜石 | -22305.043 | 50126.081 | 39.000 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | 6 | 02I05 | 0007 | 調整痕のある剥片 | 13.5 | 12.3 | 4.2 | 0.66 | | | | | | ○ | | 2 | | | | | | | | | H | | 黒曜石 | -22303.537 | 50127.326 | 38.929 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | 7 | 02I14 | 0007 | 調整痕のある剥片 | 23.6 | 18.2 | 6.6 | 1.93 | | L | | | ○ | | | 3 | | | | | | | | | T | | 黒曜石 | -22305.812 | 50123.903 | 38.998 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | 8 | 02I05 | 0012 | 調整痕のある剥片 | 32.5 | 16.0 | 7.2 | 2.56 | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | H | H | 黒曜石 | -22303.273 | 50126.154 | 38.956 | Ⅲ層上部 | ナイフ破損品？ |
| 02 | 9 | 02I05 | 0021 | 使用痕のある剥片 | 10.0 | 15.4 | 1.8 | 0.29 | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | H・T | | 珪質頁岩A | -22303.519 | 50125.215 | 38.914 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | 10 | 02I05 | 0004 | 使用痕のある剥片 | 25.6 | 19.5 | 2.9 | 0.98 | | 1 | 115 | | | | | 4 | | | | | | | | | | F | 珪質頁岩A | -22304.147 | 50128.310 | 38.950 | Ⅲ層上部 | 被熱による剥落痕あり |
| 02 | 11 | 02I05 | 0005 | 調整痕のある剥片 | 32.6 | 16.3 | 5.1 | 1.69 | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | H | H | 黒曜石 | -22304.788 | 50128.068 | 39.000 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | 12 | 02I05 | 0011 | 使用痕のある剥片 | 20.8 | 11.6 | 3.5 | 0.58 | | P | | | | | | 3 | | | | | | | | | T | | 黒曜石 | -22303.326 | 50126.627 | 38.895 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | 13 | 02I05 | 0026 | 剥片 | 22.6 | 11.4 | 3.1 | 0.59 | | 2(2) | 125 | ○ | ○ | | | 4 | | 1 | | | | | | | | F | 珪質頁岩A | -22304.247 | 50125.712 | 38.883 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | 14 | 02I05 | 0010 | 剥片 | 14.2 | 22.1 | 6.2 | 1.70 | | P | | | | | | | | 2 | | | | | | | | H | 黒曜石 | -22303.677 | 50126.616 | 38.920 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | 15 | 02I14 | 0006 | 剥片 | 41.2 | 29.0 | 5.1 | 5.24 | | 3(2) | 121 | ○ | ○ | | | 6 | | | | | | | | | T | | 珪質頁岩A | -22306.651 | 50124.781 | 38.950 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | 16 | 02I15 | 0005 | 石核 | 23.8 | 29.4 | 12.0 | 8.63 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 黒曜石 | -22305.341 | 50127.420 | 38.975 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I04 | 0006 | 礫片 | 17.2 | 7.8 | 5.2 | 0.57 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 泥岩 | -22303.775 | 50122.991 | 38.856 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0006 | 砕片 | 6.3 | 9.6 | 1.9 | 0.11 | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | H | H | 黒曜石 | -22304.705 | 50127.816 | 38.990 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0008 | 使用痕のある剥片 | 13.3 | 9.6 | 2.5 | 0.18 | | P | | | ○ | | | 4 | 1 | | | | | | | | | F | 黒曜石 | -22303.393 | 50126.985 | 38.899 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0009 | 剥片 | 18.8 | 9.1 | 2.6 | 0.25 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | H・T | | 黒曜石 | -22303.849 | 50126.912 | 38.960 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0013 | 剥片 | 10.8 | 13.5 | 1.4 | 0.22 | | | | | | ○ | | 2 | | | | | | | | | H・T | | 黒曜石 | -22303.152 | 50126.067 | 38.874 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0014 | 砕片 | 5.9 | 8.3 | 1.1 | 0.04 | | P | | | ○ | | | 3 | | | | | | | | | | F | 黒曜石 | -22304.013 | 50126.226 | 38.926 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0015 | 剥片 | 12.1 | 8.7 | 1.6 | 0.12 | | 1 | 117 | | ○ | ○ | | 2 | | | | | | | | | T | | 珪質頁岩A | -22304.473 | 50126.143 | 38.969 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0016 | 剥片 | 12.5 | 10.7 | 2.3 | 0.26 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | H・T | | 珪質頁岩A | -22304.267 | 50125.924 | 38.974 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0017 | 剥片 | 14.2 | 9.2 | 2.3 | 0.20 | 未掲載 | 2(2) | 113 | ○ | ○ | | | 3 | | | | | | | | | T | | 珪質頁岩A | -22304.040 | 50125.954 | 38.954 | Ⅲ層上部 | ガジリ面同士の接合 |
| 02 | | 02I05 | 0018 | 剥片 | 18.7 | 10.9 | 3.3 | 0.34 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | H・T | | 黒曜石 | -22303.895 | 50125.971 | 38.947 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0019 | 砕片 | 3.7 | 6.0 | 1.1 | 0.02 | | P | | | | | | 1 | | | | | | | | | | H | 黒曜石 | -22303.883 | 50125.765 | 38.970 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0020 | 剥片 | 12.4 | 13.3 | 2.2 | 0.36 | 未掲載 | | | | | | | 2 | | | | | | | | | H・T | | 珪質頁岩A | -22304.049 | 50125.570 | 38.975 | Ⅲ層上部 | ガジリ面同士の接合 |
| 02 | | 02I05 | 0022 | 剥片 | 24.6 | 15.8 | 3.1 | 0.88 | | | | | | ○ | | 3 | | | | | | | | | H | F | 黒曜石 | -22304.615 | 50125.204 | 38.967 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0023 | 砕片 | 4.5 | 5.7 | 0.4 | 0.02 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | H・R・L | H | 黒曜石 | -22304.146 | 50126.156 | 38.905 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0024 | 剥片 | 19.3 | 12.5 | 2.1 | 0.47 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | H・T | | 黒曜石 | -22304.035 | 50125.479 | 38.938 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0025 | 礫片 | 7.5 | 16.5 | 3.0 | 0.55 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 粘板岩 | -22304.816 | 50126.612 | 38.910 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0027 | 剥片 | 16.8 | 9.0 | 2.6 | 0.26 | | 2(2) | 129 | ○ | ○ | | | 3 | | 2 | | | | | | | | F | 珪質頁岩A | -22304.795 | 50126.071 | 38.821 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0028 | 剥片 | 13.5 | 8.8 | 2.9 | 0.24 | | | | | | ○ | | 1 | | | | | | | | | | H | 黒曜石 | -22303.063 | 50126.672 | 38.753 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0029 | 使用痕のある剥片 | 11.8 | 8.4 | 1.7 | 0.12 | | P | | | | | | 2 | | | | | | | | | T | | 黒曜石 | -22303.105 | 50126.951 | 38.850 | Ⅲ層上部 | |
| 02 | | 02I05 | 0030 | 剥片 | 8.0 | 9.5 | 1.9 | 0.09 | | | | | | ○ | | 2 | | | | | | | | | H・T | | 黒曜石 | -22302.584 | 50127.370 | 38.814 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 1 | 02I16 | 0017 | 尖頭器 | 33.7 | 13.6 | 4.9 | 2.08 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 珪質頁岩A | -22306.116 | 50130.593 | 39.025 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 2 | 02I06 | 0019 | 尖頭器 | 27.8 | 14.4 | 4.5 | 1.71 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 珪質頁岩A | -22303.904 | 50133.931 | 38.978 | Ⅲ層上部 | |

## 第４表　石器集中地点　石器観察表（２）

| 石器集中 | 挿図No. | グリッド | 遺物No. | 器種 | 最大長 mm | 最大幅 mm | 最大厚 mm | 重量 g | 接合No. | 打面形状 | 打角 ° | 打面調整 | 頭部調整 | 背面構成 C | S | H | T | R | L | D | V | 調整角° | 先端角° | 調整部位 | 折面部位 | 末端 | 石材 | X座標 | Y座標 | 標高 m | 層位 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 03 | 3 | 02I06 | 0021 | 尖頭器 | 25.2 | 14.4 | 2.4 | 0.59 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 珪質頁岩A | -22304.227 | 50130.936 | 38.956 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 4 | 02I16 | 0071 | 尖頭器 | 24.7 | 10.5 | 3.1 | 0.70 | | P | | | ○ | | | 5 | | | | | | | | | T | | 珪質頁岩B | -22305.558 | 50132.188 | 38.897 | Ⅲ層上部 | 先端欠損 |
| 03 | 5 | 02I16 | 0020 | 尖頭器 | 16.2 | 12.0 | 2.1 | 0.43 | | | | | | ○ | | 2 | | | | | | | | | H・T | | 黒曜石 | -22306.678 | 50131.375 | 39.121 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 6 | 02I16 | 0041 | 彫刻刀形石器 | 49.5 | 40.0 | 11.0 | 18.72 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 珪質頁岩A | -22306.659 | 50134.254 | 39.086 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 7 | 02I16 | 0044 | 剥片 | 30.8 | 40.9 | 15.6 | 16.37 | 1 | 4(2) | 119 | ○ | ○ | | | 4 | | 1 | 1 | | 1 | | | | T | | 珪質頁岩A 1 | -22307.464 | 50134.173 | 39.074 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 8 | 02I16 | 0072 | 剥片 | 21.7 | 19.9 | 9.5 | 3.28 | 1 | | | | | | | 2 | 2 | | | | | | | | H・L | O | 珪質頁岩A 1 | -22305.633 | 50133.067 | 38.864 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 9 | 02I16 | 0037 | 剥片 | 21.9 | 39.7 | 11.8 | 9.55 | 1 | | | | | | | 2 | 1 | | 3 | | | | | | H | O | 珪質頁岩A 1 | -22306.872 | 50134.020 | 39.105 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 10 | 02I16 | 0030 | 剥片 | 32.3 | 14.3 | 3.2 | 1.20 | 1 | 1 | 117 | | | | | 4 | | 1 | | | | | | | T | | 珪質頁岩A 1 | -22306.474 | 50132.396 | 39.063 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 11 | 02I16 | 0040 | 石核 | 54.3 | 43.2 | 21.0 | 35.83 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 珪質頁岩A 1 | -22306.745 | 50134.326 | 39.074 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 12 | 02I16 | 0015 | 調整痕のある剥片 | 43.0 | 25.0 | 9.2 | 5.52 | | 1 | 119 | | ○ | | | 3 | 2 | | | | | | | | | F | 珪質頁岩A | -22305.078 | 50131.686 | 39.018 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 13 | 02I16 | 0067 | 使用痕のある剥片 | 27.8 | 33.6 | 3.5 | 3.84 | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | H | H | 珪質頁岩A | -22307.456 | 50134.065 | 38.987 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 14 | 02I16 | 0053 | 使用痕のある剥片 | 39.2 | 33.0 | 5.0 | 6.83 | | | | | | | | 5 | | 1 | | | | | | | H | H | 珪質頁岩A | -22307.839 | 50132.218 | 39.058 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 15 | 02I06 | 0018 | 使用痕のある剥片 | 29.2 | 36.6 | 7.8 | 7.50 | | 1 | 129 | | | ○ | | 1 | | | | | | | | | T | | 珪質頁岩A | -22304.945 | 50134.163 | 39.051 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 16 | 02I16 | 0078 | 剥片 | 13.7 | 34.8 | 5.0 | 1.36 | | | | | | | | | 6 | | | | | | | | H | H | 珪質頁岩A | -22307.143 | 50131.934 | 38.792 | Ⅲ層下部 | |
| 03 | 17 | 02I06 | 0023 | 剥片 | 23.0 | 19.8 | 4.8 | 2.09 | | | | | | | | 3 | 3 | | | | | | | | H・R・T・L | | 珪質頁岩A | -22304.469 | 50131.098 | 38.920 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 18 | 02I16 | 0024 | 使用痕のある剥片 | 27.5 | 24.5 | 5.4 | 2.36 | | 3(1) | 122 | ○ | ○ | | | 4 | 1 | | | | | | | | | F | 珪質頁岩B | -22306.238 | 50131.736 | 39.094 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 19 | 02I16 | 0063 | 剥片 | 19.3 | 27.1 | 4.0 | 1.72 | | | | | | | | 3 | | | 1 | | | | | | H・T | | 珪質頁岩A | -22306.836 | 50134.680 | 39.020 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 20 | 02I06 | 0009 | 剥片 | 21.2 | 24.7 | 3.1 | 1.30 | | P | | | ○ | | | 3 | | | | | | | | | T | | 珪質頁岩A | -22304.746 | 50132.521 | 38.954 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 21 | 02I16 | 0076 | 敲石 | 92.4 | 47.3 | 36.3 | 209.00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 砂岩 | -22306.838 | 50133.297 | 38.945 | Ⅲ層上部 | 敲打痕はあまり顕著ではない |
| 03 | 22 | 02I16 | 0010 | 使用痕のある剥片 | 32.7 | 24.0 | 5.6 | 3.20 | | 1 | 140 | | ○ | | | 4 | 1 | | 1 | | | | | | | F | 珪質頁岩B | -22305.257 | 50133.880 | 39.053 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 23 | 02I06 | 0026 | 剥片 | 23.6 | 20.2 | 4.0 | 1.99 | | 3(2) | 111 | ○ | ○ | | | 4 | | 1 | 1 | | | | | | T | | 珪質頁岩B | -22303.603 | 50132.705 | 38.735 | Ⅲ層下部 | |
| 03 | 24 | 02I06 | 0016 | 使用痕のある剥片 | 20.4 | 20.2 | 3.7 | 1.11 | | 2(2) | 106 | ○ | ○ | | | 4 | | | 2 | | | | | | R T | F | 珪質頁岩B | -22304.814 | 50134.225 | 38.983 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 25 | 02I16 | 0047 | 使用痕のある剥片 | 23.8 | 19.1 | 3.5 | 0.89 | 2 | P | | | ○ | | | 3 | | | 1 | | | | | | R T | | 珪質頁岩B | -22307.794 | 50133.338 | 39.063 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 26 | 02I16 | 0009 | 調整痕のある剥片 | 20.8 | 26.4 | 5.1 | 2.18 | 2 | | | | | | | 3 | | 1 | 2 | | | | | | H・T | | 珪質頁岩B | -22305.019 | 50133.744 | 39.060 | Ⅲ層上部 | 台形様石器？ |
| 03 | 27 | 02I16 | 0060 | 使用痕のある剥片 | 16.4 | 26.2 | 2.8 | 1.28 | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | H・R・T | | 珪質頁岩B | -22308.696 | 50133.126 | 39.045 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 28 | 02I16 | 0042 | 剥片 | 24.6 | 23.1 | 4.5 | 1.78 | | | | | | | | 2 | | | 1 | | | | | | H | F | 珪質頁岩B | -22306.765 | 50134.376 | 39.078 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 29 | 02I16 | 0022 | 剥片 | 28.0 | 20.7 | 8.5 | 2.52 | 3 | 3(1) | 116 | ○ | ○ | | | 3 | | | 1 | | | | | | L | F | 珪質頁岩B | -22306.414 | 50131.845 | 39.141 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 30 | 02I16 | 0028 | 剥片 | 21.8 | 16.6 | 6.5 | 1.22 | 3 | 1 | | | | | | 3 | | | 1 | | | | | | T・L | | 珪質頁岩B | -22306.445 | 50132.162 | 39.020 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 31 | 02I16 | 0012 | 調整痕のある剥片 | 27.1 | 17.7 | 4.7 | 1.71 | | | | | | ○ | | 1 | | | | | | | | | H・T | | 黒曜石 | -22305.465 | 50132.254 | 39.131 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 32 | 02I06 | 0008 | 使用痕のある剥片 | 35.8 | 12.0 | 5.8 | 1.37 | | P | | | | ○ | | 1 | 1 | 1 | | 1 | | | | | L | F | 黒曜石 | -22304.249 | 50132.972 | 38.967 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 33 | 02I16 | 0007 | 使用痕のある剥片 | 24.0 | 38.1 | 4.0 | 2.63 | | | | | | | | 3 | | 2 | 2 | | | | | | H | H | 珪質頁岩B | -22305.487 | 50133.185 | 38.999 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 34 | 02I06 | 0022 | 調整痕のある剥片 | 34.8 | 10.7 | 6.5 | 2.10 | | P | | | | ○ | | | | | | | | | | | | O | 黒曜石 | -22304.439 | 50130.855 | 38.928 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 35 | 02I16 | 0011 | 使用痕のある剥片 | 24.9 | 19.0 | 6.3 | 1.77 | | P | | | ○ | ○ | | 2 | | | | | | | | | | F | 黒曜石 | -22305.967 | 50133.423 | 39.096 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 36 | 02I16 | 0051 | 調整痕のある剥片 | 21.0 | 16.3 | 6.0 | 1.98 | | | | | | ○ | | 1 | | | | | | | | | H | O | 黒曜石 | -22307.388 | 50132.695 | 39.180 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 37 | 02I16 | 0050 | 調整痕のある剥片 | 20.0 | 20.0 | 5.0 | 0.83 | | | | | | ○ | | 1 | | | | | | | | | H | | 黒曜石 | -22306.205 | 50134.728 | 39.126 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 38 | 02I06 | 0011 | 剥片 | 24.2 | 15.0 | 5.2 | 1.56 | | 1 | 120 | | ○ | | | 4 | | | 1 | | | | | | T | | 黒曜石 | -22304.849 | 50131.834 | 38.970 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 39 | 02I16 | 0038 | 剥片 | 16.1 | 26.4 | 6.0 | 2.04 | 4 | P | | | ○ | | | 1 | 1 | | | | | | | | T | | 黒曜石 | -22306.326 | 50134.171 | 39.063 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 40 | 02I16 | 0070 | 剥片 | 18.2 | 18.7 | 5.4 | 1.62 | 4 | | | | | | | 1 | 2 | 1 | | | | | | | H・R・T | | 黒曜石 | -22305.652 | 50132.081 | 38.896 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 41 | 02I16 | 0039 | 石核 | 29.3 | 36.4 | 25.3 | 26.76 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 黒曜石 | -22306.195 | 50134.689 | 39.127 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | 42 | 02I16 | 0014 | 石核 | 14.0 | 15.4 | 21.1 | 3.90 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 黒曜石 | -22305.987 | 50132.653 | 39.096 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I06 | 0004 | 剥片 | 10.2 | 21.6 | 5.8 | 1.78 | | 1 | 109 | | | ○ | | | | | | | | | | | | O | 黒曜石 | -22304.704 | 50133.921 | 39.046 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I06 | 0005 | 砕片 | 8.4 | 4.5 | 1.3 | 0.04 | | P | | | | | | 2 | | | | | | | | | | F | 珪質頁岩A | -22304.712 | 50133.675 | 39.048 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I06 | 0006 | 剥片 | 21.6 | 18.0 | 4.1 | 1.01 | | P | | | ○ | | | 3 | | | 3 | | | | | | | F | 珪質頁岩B | -22304.809 | 50133.367 | 39.008 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I06 | 0007 | 砕片 | 9.3 | 9.2 | 2.5 | 0.23 | | 2(1) | 112 | ○ | | ○ | | 1 | | 2 | | | | | | | | H | 黒曜石 | -22304.719 | 50133.227 | 38.969 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I06 | 0010 | 砕片 | 7.8 | 7.3 | 1.2 | 0.07 | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | H・T | | 黒曜石 | -22304.041 | 50131.947 | 39.001 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I06 | 0012 | 使用痕のある剥片 | 12.2 | 11.2 | 2.2 | 0.22 | | P | | | ○ | | | 2 | 1 | | | | | | | | T | | 黒曜石 | -22303.911 | 50131.801 | 38.980 | Ⅲ層上部 | |

## 第５表　石器集中地点　石器観察表（３）

| 石器集中 | 挿図No. | グリッド | 遺物No. | 器種 | 最大長mm | 最大幅mm | 最大厚mm | 重量g | 接合No. | 打面形状 | 打角° | 打面調整 | 頭部調整 | 背面構成 C | S | H | T | R | L | D | V | 調整角° | 先端角° | 調整部位 | 折面部位 | 末端 | 石材 | X座標 | Y座標 | 標高m | 層位 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 03 | | 02I06 | 0013 | 剥片 | 18.0 | 7.4 | 2.0 | 0.20 | | 1 | 125 | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | T・L | | 珪質頁岩A | -22304.260 | 50133.692 | 38.994 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I06 | 0014 | 剥片 | 15.0 | 12.1 | 3.5 | 0.41 | | P | | | | ○ | | 1 | | 1 | | | | | | | | F | 黒曜石 | -22304.518 | 50130.508 | 39.076 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I06 | 0015 | 剥片 | 14.2 | 7.3 | 1.4 | 0.10 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | H・R・T | | 珪質頁岩B | -22304.377 | 50130.328 | 38.974 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I06 | 0017 | 砕片 | 6.6 | 8.5 | 1.0 | 0.07 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | H・T | | 珪質頁岩B | -22304.834 | 50133.571 | 39.049 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I06 | 0020 | 使用痕のある剥片 | 4.9 | 8.5 | 1.2 | 0.05 | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | H | | 黒曜石 | -22304.782 | 50133.554 | 39.025 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I06 | 0024 | 剥片 | 13.5 | 22.9 | 3.7 | 1.08 | | P | | | ○ | ○ | | 3 | | 1 | | | | | | | | H | 珪質頁岩A | -22303.967 | 50131.206 | 38.870 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I06 | 0025 | 使用痕のある剥片 | 17.7 | 15.9 | 1.0 | 0.29 | | P | | | | | | 3 | | | | | | | | | | F | 珪質頁岩A | -22304.499 | 50133.216 | 38.755 | Ⅲ層下部 | |
| 03 | | 02I16 | 0004 | 剥片 | 9.9 | 12.1 | 2.1 | 0.23 | | 1 | 114 | | ○ | | | 2 | | 1 | | | | | | | | H | 珪質頁岩B | -22305.933 | 50134.801 | 39.057 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0005 | 使用痕のある剥片 | 11.2 | 12.6 | 1.9 | 0.20 | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | H・T | | 黒曜石 | -22305.858 | 50133.862 | 39.119 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0006 | 剥片 | 13.9 | 16.5 | 2.9 | 0.50 | | 3(2) | 126 | | | | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | T | | 珪質頁岩B | -22305.435 | 50133.282 | 39.001 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0008 | 剥片 | 11.1 | 18.6 | 4.5 | 0.82 | | 1 | 108 | | ○ | | | 4 | | | | | | | | | | H | チャート | -22305.252 | 50133.702 | 39.047 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0013 | 剥片 | 6.4 | 13.0 | 1.2 | 0.09 | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | H | F | 珪質頁岩A | -22305.288 | 50131.697 | 39.137 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0016 | 剥片 | 17.2 | 19.1 | 2.2 | 0.59 | | L | | | | | | | 3 | | | | | | | | T | | 珪質頁岩B | -22306.017 | 50131.935 | 38.990 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0018 | 剥片 | 9.5 | 11.4 | 1.7 | 0.13 | | P | | | ○ | | | | 2 | | | | | | | | | F | 黒曜石 | -22305.498 | 50131.076 | 39.108 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0019 | 剥片 | 6.8 | 10.2 | 1.6 | 0.10 | | P | | | | | | 2 | | | | | | | | | | H | 珪質頁岩B | -22306.477 | 50130.685 | 39.087 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0021 | 剥片 | 9.5 | 13.6 | 3.6 | 0.33 | | P | | | ○ | ○ | | 2 | | | | | | | | | T | | 黒曜石 | -22306.816 | 50131.363 | 39.120 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0023 | 使用痕のある剥片 | 10.2 | 16.3 | 2.5 | 0.35 | | 2(1) | 115 | ○ | ○ | | | 3 | | | | | | | | | T | | 珪質頁岩B | -22306.845 | 50131.665 | 38.981 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0025 | 使用痕のある剥片 | 15.6 | 10.8 | 7.2 | 1.09 | | C | 118 | | | ○ | | | | | | | 1 | | | | T | | 黒曜石 | -22306.242 | 50131.856 | 39.101 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0026 | 剥片 | 15.4 | 12.3 | 2.8 | 0.42 | | P | | | | ○ | | 3 | | | | | | | | | T | | 黒曜石 | -22306.908 | 50131.895 | 39.140 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0027 | 砕片 | 6.3 | 7.6 | 1.5 | 0.06 | | P | | | ○ | | | 3 | | | | | | | | | | H | 珪質頁岩A | -22306.846 | 50132.246 | 38.984 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0029 | 砕片 | 6.4 | 7.3 | 1.3 | 0.05 | | P | | | | | | 4 | | | | | | | | | T | | 珪質頁岩B | -22306.663 | 50132.433 | 39.110 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0031 | 剥片 | 17.2 | 16.1 | 3.1 | 0.60 | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | | | H | F | 珪質頁岩A | -22306.879 | 50132.703 | 39.099 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0032 | 剥片 | 15.7 | 6.2 | 3.5 | 0.26 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | L | H | 黒曜石 | -22306.940 | 50132.916 | 39.000 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0033 | 砕片 | 9.1 | 7.6 | 1.9 | 0.08 | | P | | | ○ | | | 3 | | | | | | | | | | F | 黒曜石 | -22306.510 | 50133.151 | 39.098 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0034 | 剥片 | 8.1 | 12.3 | 1.2 | 0.10 | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | H | H | 黒曜石 | -22306.527 | 50133.824 | 39.114 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0035 | 剥片 | 18.7 | 8.5 | 3.1 | 0.27 | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 2 | | | | | | H | H | 黒曜石 | -22306.513 | 50133.574 | 39.155 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0036 | 剥片 | 11.0 | 9.8 | 2.3 | 0.17 | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | H・T | | 黒曜石 | -22306.264 | 50134.384 | 39.046 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0043 | 使用痕のある剥片 | 20.0 | 13.2 | 3.6 | 0.64 | | P | | | | | | 3 | | | | | | | | | T | | 珪質頁岩A | -22306.545 | 50134.363 | 39.096 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0045 | 砕片 | 6.7 | 4.9 | 1.1 | 0.02 | | 1 | 103 | | | | | 3 | | | | | | | | | | F | 黒曜石 | -22307.618 | 50133.965 | 39.058 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0046 | 剥片 | 11.9 | 15.5 | 1.4 | 0.25 | | | | | | | | | 3 | 1 | | | | | | | H | | 黒曜石 | -22306.735 | 50134.602 | 39.019 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0048 | 剥片 | 16.1 | 10.1 | 2.3 | 0.44 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | H・R・T | | 珪質頁岩B | -22307.724 | 50133.805 | 39.039 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0049 | 剥片 | 8.4 | 15.0 | 2.1 | 0.17 | | P | | | | ○ | | 2 | | | | | | | | | | F | 黒曜石 | -22307.540 | 50133.436 | 39.120 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0052 | 剥片 | 7.4 | 13.6 | 3.2 | 0.24 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | H・T | | 珪質頁岩A | -22307.311 | 50132.852 | 39.140 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0054 | 剥片 | 10.0 | 11.1 | 1.5 | 0.13 | | P | | | | | | | 2 | | 1 | | | | | | R | F | 黒曜石 | -22307.084 | 50132.762 | 39.136 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0055 | 剥片 | 21.8 | 11.5 | 2.5 | 0.50 | | P | | | | | | 3 | | | | | | | | | H・T | | 黒曜石 | -22307.669 | 50130.976 | 39.154 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0056 | 楔形石器剥片 | 20.0 | 7.4 | 3.3 | 0.64 | | | | | | | | 3 | 2 | | | 1 | | | | | T | | チャート | -22307.658 | 50131.542 | 39.154 | Ⅲ層上部 | 縄文石器？ |
| 03 | | 02I16 | 0057 | 剥片 | 13.5 | 16.9 | 5.3 | 0.98 | | P | | | | ○ | | | | | | | | | | | T | | 黒曜石 | -22308.298 | 50130.782 | 39.032 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0058 | 剥片 | 11.6 | 8.8 | 2.0 | 0.12 | | P | | | | | | 2 | | | | | | | | | T | | 黒曜石 | -22308.437 | 50132.635 | 39.073 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0059 | 剥片 | 25.3 | 14.6 | 3.5 | 0.96 | | | | | | | | 3 | | | 2 | | | | | | H・R | F | 珪質頁岩B | -22308.267 | 50131.268 | 38.969 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0061 | 砕片 | 9.0 | 5.8 | 2.4 | 0.08 | | 1 | 120 | | | ○ | | 1 | | | | | | | | | | H | 黒曜石 | -22308.365 | 50133.265 | 39.125 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0062 | 剥片 | 13.5 | 12.7 | 2.1 | 0.24 | | P | | | ○ | | | 2 | | | 1 | | | | | | T | | 珪質頁岩B | -22308.278 | 50133.603 | 39.076 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0064 | 剥片 | 11.8 | 13.0 | 3.3 | 0.42 | | P | | | ○ | | | 3 | | | 1 | | | | | | T | | 珪質頁岩B | -22306.213 | 50134.468 | 38.958 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0065 | 使用痕のある剥片 | 12.4 | 11.8 | 1.5 | 0.16 | | P | | | | ○ | | 2 | | | | | | | | | T | | 黒曜石 | -22306.624 | 50134.154 | 38.996 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0066 | 使用痕のある剥片 | 14.5 | 12.9 | 1.3 | 0.24 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | H・R・T | | 珪質頁岩B | -22306.516 | 50134.004 | 38.991 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0068 | 剥片 | 14.9 | 10.0 | 3.4 | 0.42 | | C | 100 | | | ○ | | 2 | | | | | | | | | | H | 黒曜石 | -22307.617 | 50131.482 | 38.967 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0069 | 剥片 | 16.6 | 15.8 | 3.1 | 0.79 | | | | | | | | 2 | | | 1 | | | | | | H・T | | 珪質頁岩B | -22307.508 | 50131.542 | 38.966 | Ⅲ層上部 | |

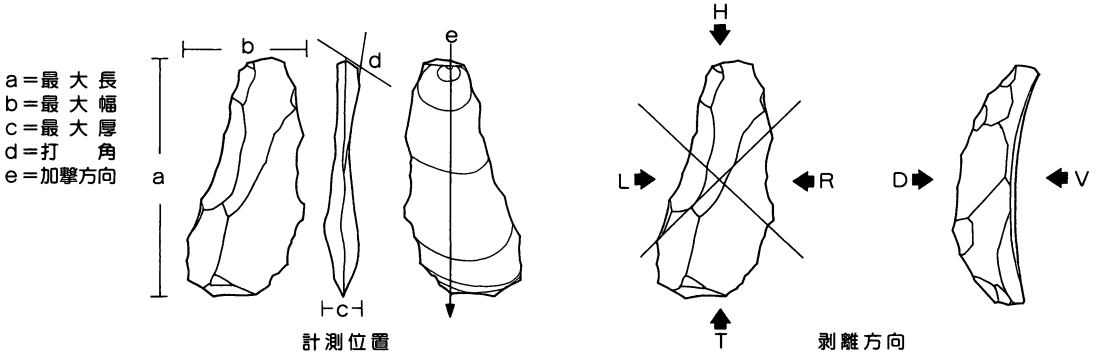
## 第6表　石器集中地点　石器観察表（4）

| 石器集中 | 挿図No. | グリッド | 遺物No. | 器種 | 最大長 mm | 最大幅 mm | 最大厚 mm | 重量 g | 接合No. | 打面形状 | 打角 ° | 打面調整 | 頭部調整 | 背面構成 C | S | H | T | R | L | D | V | 調整角° | 先端角° | 調整部位 | 折面部位 | 末端 | 石材 | X座標 | Y座標 | 標高 m | 層位 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 03 | | 02I16 | 0073 | 砕片 | 9.9 | 6.2 | 0.8 | 0.05 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | H | F | 黒曜石 | -22305.677 | 50133.156 | 38.870 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0074 | 剥片 | 15.0 | 10.9 | 4.4 | 0.45 | | | | | ○ | | | 3 | | | | | | | | | H | F | 珪質頁岩A | -22306.033 | 50133.952 | 38.894 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0075 | 調整痕のある剥片 | 21.4 | 12.1 | 2.8 | 0.68 | | | | | | ○ | | 2 | | | | | | | | | H・T | | 黒曜石 | -22306.873 | 50134.238 | 38.913 | Ⅲ層上部 | |
| 03 | | 02I16 | 0077 | 剥片 | 17.5 | 12.0 | 3.0 | 0.59 | | | | | | ○ | | 2 | | | | | | | | | H・T・L | | 黒曜石 | -22306.580 | 50132.634 | 38.912 | Ⅲ層上部 | |
| 04 | 1 | 02I08 | 0011 | 彫刻刀形石器 | 33.1 | 14.2 | 4.8 | 1.73 | | | | | ○ | ○ | | 3 | 1 | | | | | | | | H・T | | 珪質頁岩A | -22303.128 | 50144.520 | 39.015 | Ⅲ層 | |
| 04 | 2 | 02I08 | 0012 | 調整痕のある剥片 | 16.1 | 19.8 | 3.8 | 1.05 | | P | | | ○ | | | 3 | | | | | | | | | T | | 黒曜石 | -22300.389 | 50142.765 | 38.890 | Ⅲ層 | |
| 04 | 3 | 02I08 | 0010 | 剥片 | 20.1 | 20.3 | 2.8 | 1.02 | | 3(2) | 124 | | ○ | | | 2 | | | 1 | | | | | | | H | 珪質頁岩A | -22302.930 | 50144.028 | 39.057 | Ⅲ層 | |
| 04 | 4 | 02I08 | 0014 | 剥片 | 19.6 | 16.9 | 4.4 | 1.45 | | 3 | 108 | ○ | ○ | | | 4 | | | | | | | | | | H | 珪質頁岩A | -22303.084 | 50143.818 | 38.966 | Ⅲ層 | |
| 04 | 5 | 02I08 | 0006 | 剥片 | 20.9 | 17.2 | 2.5 | 0.79 | | P | | | | | | 3 | | | 2 | | | | | | T | | 珪質頁岩A | -22302.002 | 50142.871 | 38.968 | Ⅲ層 | |
| 04 | | 02I08 | 0004 | 砕片 | 8.7 | 8.2 | 1.2 | 0.07 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | H・T | | 珪質頁岩A | -22302.486 | 50142.001 | 38.990 | Ⅲ層 | |
| 04 | | 02I08 | 0005a | 剥片 | 10.4 | 14.5 | 2.9 | 0.40 | | 1 | 111 | | ○ | | | 3 | | | | | | | | | T | | 珪質頁岩A | -22302.666 | 50142.829 | 38.992 | Ⅲ層 | 遺物No.重複 |
| 04 | | 02I08 | 0005b | 砕片 | 3.8 | 3.9 | 1.0 | 0.01 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 珪質頁岩A | -22302.666 | 50142.829 | 38.992 | Ⅲ層 | 遺物No.重複 |
| 04 | | 02I08 | 0007 | 剥片 | 10.8 | 15.9 | 1.5 | 0.29 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | H・T | | 珪質頁岩A | -22302.544 | 50143.133 | 39.005 | Ⅲ層 | |
| 04 | | 02I08 | 0008 | 剥片 | 13.6 | 12.4 | 1.9 | 0.26 | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | H | F | 珪質頁岩A | -22302.540 | 50143.570 | 38.981 | Ⅲ層 | |
| 04 | | 02I08 | 0013 | 遺物不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 不明 | -22302.262 | 50143.908 | 38.930 | Ⅲ層 | 遺物不明 |
| 05 | 1 | 02I53 | 0019 | ナイフ形石器 | 17.9 | 12.5 | 4.7 | 0.95 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | チャート | -22329.149 | 50116.502 | 39.211 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | 2 | 02I53 | 0004 | 剥片 | 20.3 | 25.5 | 5.9 | 1.82 | | 1 | 127 | | | ○ | | 1 | | | | | | | | | | H | 安山岩A | -22329.133 | 50119.969 | 39.306 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | 3 | 02I54 | 0005 | 調整痕のある剥片 | 21.5 | 18.2 | 5.9 | 1.46 | | 1 | 113 | | | | | 2 | | | 1 | 1 | | | | | | H | 凝灰岩 | -22327.517 | 50122.107 | 39.369 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | 4 | 02I64 | 0004 | 剥片 | 27.8 | 14.9 | 5.8 | 2.07 | | | | | | | | 3 | | | 2 | | | | | | H | F | 安山岩A | -22330.927 | 50122.475 | 39.496 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | 5 | 02I54 | 0006 | 剥片 | 31.4 | 20.2 | 7.1 | 3.78 | | 1 | 121 | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | H | 安山岩A | -22328.523 | 50123.393 | 39.256 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | 6 | 02I63 | 0004 | 剥片 | 26.1 | 27.7 | 6.6 | 4.25 | | C | 90 | | | | | | | 2 | | | | | | | | H | 安山岩A | -22330.297 | 50118.565 | 39.297 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | 7 | 02I53 | 0018 | 調整痕のある剥片 | 24.9 | 35.5 | 8.4 | 11.49 | | | | | | ○ | | 1 | 1 | | | | | | | | H・T | | 流紋岩 | -22326.955 | 50116.174 | 39.292 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | 8 | 02I53 | 0007 | 剥片 | 32.0 | 17.5 | 4.6 | 2.31 | | C | 99 | | | | | 2 | 1 | | 1 | | | | | | | F | 安山岩A | -22328.660 | 50119.480 | 39.296 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | 9 | 02I53 | 0014 | 剥片 | 27.7 | 47.5 | 16.7 | 19.32 | | L | | | | | | 5 | | | | 1 | | | | | T | | 安山岩B | -22327.137 | 50118.982 | 39.462 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | 10 | 02I53 | 0005 | 石核 | 43.5 | 26.3 | 28.0 | 40.52 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | チャート | -22329.072 | 50119.921 | 39.315 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | 11 | 02I54 | 0004 | 調整痕のある剥片 | 47.0 | 53.5 | 13.5 | 35.81 | | 1 | 130 | | | ○ | | | | | | | | | | | | H | 安山岩A | -22328.896 | 50122.267 | 39.351 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | | 02I53 | 0006 | 砕片 | 9.0 | 8.7 | 2.8 | 0.22 | | 1 | 110 | | | | | 1 | | | | | | | | | L・T | | 安山岩A | -22328.868 | 50119.605 | 39.182 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | | 02I53 | 0008 | 剥片 | 16.1 | 12.2 | 4.2 | 0.77 | | C | 113 | | | | | 2 | 1 | | | | | | | | | H | 安山岩A | -22328.483 | 50119.101 | 39.353 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | | 02I53 | 0009 | 剥片 | 10.1 | 20.3 | 2.9 | 0.59 | | P？ | | | | | | 2 | | | | | | | | | RT | | 安山岩A | -22328.151 | 50119.603 | 39.337 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | | 02I53 | 0010 | 剥片 | 11.3 | 20.5 | 3.2 | 0.63 | | 1 | 112 | | ○ | | | 3 | | | | | | | | | | H | 安山岩A | -22327.962 | 50119.552 | 39.343 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | | 02I53 | 0011 | 剥片 | 12.5 | 9.2 | 4.8 | 0.57 | | | | | | | | 2 | | 1 | | | | | | | | H | 安山岩A | -22328.776 | 50118.807 | 39.420 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | | 02I53 | 0012 | 剥片 | 15.7 | 17.9 | 4.8 | 1.16 | | 1 | 113 | | ○ | ○ | | 3 | | | | | | | | | | H | 安山岩A | -22328.896 | 50118.823 | 39.331 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | | 02I53 | 0013 | 剥片 | 14.3 | 29.5 | 5.9 | 1.28 | | 1 | 103 | | | | | 1 | | | 2 | | | | | | | F | 安山岩A | -22328.592 | 50118.232 | 39.278 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | | 02I53 | 0015 | 剥片 | 17.8 | 14.1 | 3.7 | 0.73 | | 1 | 117 | | | | | 4 | | | | | | | | | | F | 凝灰岩 | -22326.626 | 50117.905 | 39.432 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | | 02I53 | 0017a | 剥片 | 15.7 | 11.1 | 3.4 | 0.57 | | C | 117 | | | | | 2 | | | | | | | | | R | F | 安山岩A | -22327.741 | 50117.354 | 39.290 | Ⅲ層上部 | 遺物No.重複 |
| 05 | | 02I53 | 0017b | 砕片 | 8.9 | 3.9 | 2.0 | 0.05 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 安山岩A | -22327.741 | 50117.354 | 39.290 | Ⅲ層上部 | 遺物No.重複 |
| 05 | | 02I54 | 0007 | 剥片 | 10.6 | 27.3 | 3.9 | 1.02 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | H・T | | 安山岩A | -22328.522 | 50124.612 | 39.202 | Ⅲ層上部 | |
| 05 | | 02I54 | 0008 | 剥片 | 13.0 | 16.7 | 2.9 | 0.39 | | 2 | 104 | | | | | 2 | | | | | | | | | | F | 安山岩A | -22328.937 | 50120.107 | 39.284 | Ⅲ層上部 | |
| 06 | 1 | 02J80 | 0004 | ナイフ形石器 | 25.9 | 21.5 | 6.3 | 2.07 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | H | | 黒曜石 | -22341.294 | 50154.626 | 38.798 | Ⅲ層 | |
| 06 | | 02J81 | 0005 | 剥片 | 15.6 | 13.9 | 3.9 | 0.83 | | 1 | 115 | | | ○ | | | | | 1 | | | | | | | F | 安山岩A | -22340.846 | 50159.254 | 39.204 | Ⅲ層 | |
| 07 | 1 | 02I27 | 0001 | 細石刃石核 | 21.1 | 20.9 | 12.1 | 6.98 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | チャート1 | -22310.288 | 50138.467 | 39.194 | Ⅲ層上部 | |
| 07 | 2 | 02I27 | 0003 | 細石刃石核 | 20.6 | 18.5 | 8.3 | 3.20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | チャート | -22311.449 | 50136.956 | 39.169 | Ⅲ層上部 | |
| 07 | 3 | 02I17 | 0001 | 使用痕のある剥片 | 19.6 | 22.1 | 6.6 | 1.93 | | 2(1) | 117 | ○ | ○ | | | 5 | | | | | | | | | T | | 珪質頁岩B | -22309.579 | 50137.062 | 39.156 | Ⅲ層上部 | |
| 07 | | 02I27 | 0002 | 剥片 | 9.8 | 12.0 | 5.0 | 0.48 | | 3(1) | 133 | ○ | | | | 1 | | | | | | | | | | | チャート1 | -22310.452 | 50137.329 | 39.180 | Ⅲ層上部 | 背面はポジ面？ |

## 第７表　石器集中地点外　石器観察表

| 石器集中 | 挿図No. | グリッド | 遺物No. | 器種 | 最大長 mm | 最大幅 mm | 最大厚 mm | 重量 g | 接合No. | 打面形状 | 打角 ° | 打面調整 | 頭部調整 | 背面構成 C | S | H | T | R | L | D | V | 調整角° | 先端角° | 調整部位 | 折面部位 | 末端 | 石材 | X座標 | Y座標 | 標高 m | 層位 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 外 | 1 | 04G13 | 溝2 | 尖頭器 | 43.9 | 23.7 | 9.0 | 7.48 | | 3(2) | 94 | ○ | | | | 5 | | | | | | | 65 | | | | 珪質頁岩A | | | | | |
| 外 | 2 | 03G97 | 溝2 | 調整痕のある剥片 | 27.6 | 23.1 | 9.1 | 7.38 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | メノウ | | | | | 火打ち石？ |
| 外 | 3 | 03H05 | 0002 | 尖頭器 | 14.4 | 8.1 | 3.5 | 0.34 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 安山岩A | | | | | 有舌尖頭器基部？ |
| 外 | 4 | 02I88 | 0002 | 細石刃 | 12.0 | 5.2 | 2.0 | 0.10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 黒曜石 | | | | | |
| 外 | 5 | 02I36 | 0001 | 楔形石器 | 27.8 | 44.4 | 11.6 | 14.12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | チャート | | | | | |
| 外 | 6 | 02J20 | 0004 | ナイフ形石器 | 17.5 | 9.9 | 3.4 | 0.43 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 珪質頁岩 | -22314.763 | 50150.373 | 39.256 | Ⅲ層上部 | 単独出土 |
| 外 | 7 | 02I38 | 溝2 | ナイフ形石器 | 16.4 | 10.8 | 3.5 | 0.61 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 珪質頁岩 | | | | | |

### 観察表について




**1．挿図No**　実測図を掲載した遺物の通し番号。平面分布図に付した番号、写真図版の番号と一致する。実測図を掲載しなかったものについてはグリッド、遺物No.順に続けて並べた。

**2．器種**　砕片については、最大長・最大幅の両者が10㎜以下のものとした。

**3．最大長・最大幅・最大厚・打角**　計測方法については右図に示した。

**4．打面形状**　Cは自然面、Pは点状打面、Lは線状打面、１は平坦打面、２以上は複剥離打面を示し、括弧内はそのうちネガティブバブルの残る剥離面の数を示している。空欄は欠損等による打面なし、計測不可を示す。

**5．打面調整・頭部調整**　観察されるものについて「○」で示した。

**6．背面構成**　主要剥離面の剥離方向を基準とし、背面を構成する剥離面の加撃方向と剥離面の数を記した。ただし、変形度の高いもの（楔形石器等）は記さなかった。砕片はわかる範囲で記した。H＝頭部側、T＝ 尾部側、R＝背面を正面にして右側、L＝左側、D＝背面側、V＝腹面側からの加撃方向を示す。自然面（C）、節理面（S）を有する資料については「○」で示した。

**7．折面部位**　主要剥離面の剥離方向を基準とした折れ面の部位。H＝頭部側、T＝ 尾部側、R＝背面を正面にして右側、L＝左側を示す。

**8．末端**　F＝フェザーエンド、H＝ヒンジフラクチャー、O＝ウートラパッセを示す。

**9．石材**　石材名とその母岩番号を記した。母岩の大別をアルファベットで、細別を数字で記した。細別は基本的に複数の石器が帰属する母岩のみを分類したものである。したがたって、単独個体のものや細別困難なものについては石材名のみ、もしくは大別のみを行っている。石材の大別については本文中に記載した。

**10．X座標・Y座標**　測量原点からの位置関係を示す公共座標。

**11．層位**　調査時の「旧層名」を記した。

# 第3章　縄文時代

## 第1節　遺構と遺物

### 1　炉穴

**1号炉穴（2J1001）**（第24図、図版4）

2J52グリッドに位置する。平面形は0.52m×0.32mの小型楕円形をなす。0.2mほどのすり鉢状のくぼみに、焼土を含んだ土が入っていた。炉ないし、炉穴の残りであろう。遺物は出土していない。

### 2　陥穴

**1号陥穴（1I1001）**（第24図、図版4）

1I95グリッドに位置する。検出面で平面形は2.21m×1.19mの楕円形を呈する。底部は0.79m×0.57mの楕円形で、深さ2.41mである。上部はゆるい漏斗状をなし、1.2mの深さの位置にテラス状に段があり、そこからさらに円筒状に深く落ちている。底面は白色粘土中にあり、平坦である。最下層は黒褐色土、中位以下はロームの崩れの黄褐色土、上位は暗褐色から黒褐色の土が主体である。遺物の出土はない。

**2号陥穴（2I1004）**（第24図、図版4）

2I06グリッドに位置する。検出面で平面形は1.58m×1.26mの楕円形を呈する。底面は0.94m×0.46mの楕円に近い形をなす。深さは1.85mである。下位は垂直に近く、上位はラッパ状の立ち上がりになる。底面は平坦である。最下層黒褐色土、下位ローム崩落土、中位黒褐色土があり、さらに上位は黄褐色土堆積上に黒褐色土がある。遺物は出土していない。

**3号陥穴（2I1005）**（第24図、図版4）

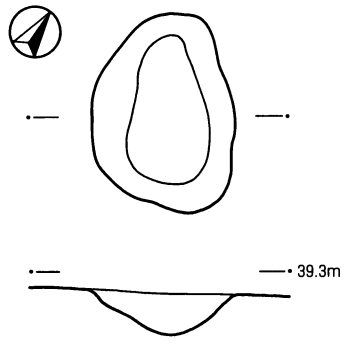
2I08グリッドに位置する。検出面で平面形は1.79m×0.88mの長楕円形、底部で1.44m×0.51mの長方形を呈する。深さは0.66mである。底面は平坦で、長軸上に0.30m間隔で並んだ4個の小ピットを持つ。ピット径は0.10m～0.15m、深さは0.3m～0.4mである。壁は急傾斜で立ち上がる。暗褐色、黒褐色土が堆積している。遺物は出土していない。

**4号陥穴（3I1001）**（第25図、図版4）

3I38グリッドに位置する。検出面で平面形は2.47m×1.23mの長楕円形、底部で2.21m×0.11mの葉巻形を呈する。深さは2.22mである。短軸断面はV字形、長軸断面は巾着形をなす。長軸方向の底面は水平に近い。下半部はローム崩落による黄褐色土があり、上部は黒褐～暗褐色土が主になる。遺物は出土していない。

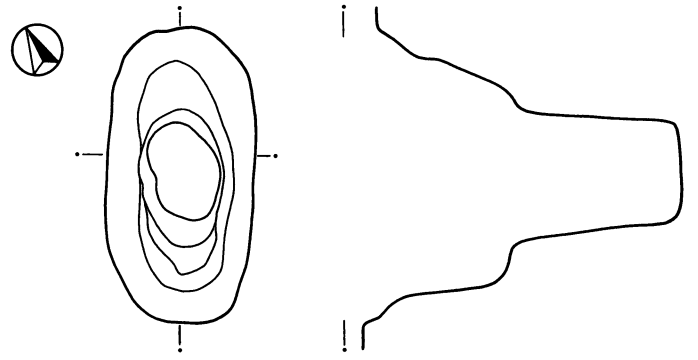
**5号陥穴（3I1002）**（第25図、図版4）

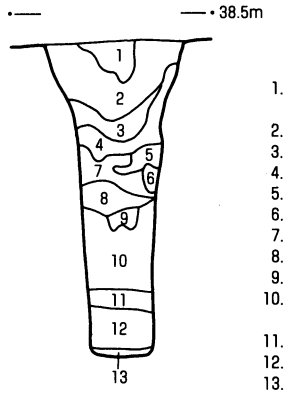
3I18・28グリッドに位置する。検出面で平面形は2.26m×1.25mの長楕円形、底部で1.71m×0.53mの長方形を呈する。深さは1.03mと浅い。底面は平坦で、中心軸上に0.25mの間隔に並んだ小ピットを持つ。ピットは径が0.27m～0.30m、深さは0.24m～0.40mの範囲にある。壁は急激に傾斜して立ち上がる。上部は少し、崩れているようでラッパ状を呈しており、覆土は暗褐～黒褐色土中心であるが、上部壁際や底部付近に黄褐色土もみられる。遺物は出土していない。




## 1号炉穴（2Jイ001）

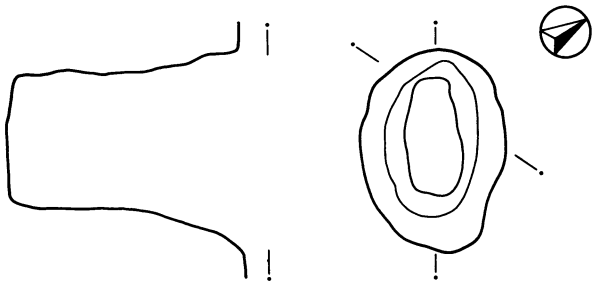
1. 暗黄色粘質土　少量の焼土が含まれる。Ⅱc 層の土が主体。

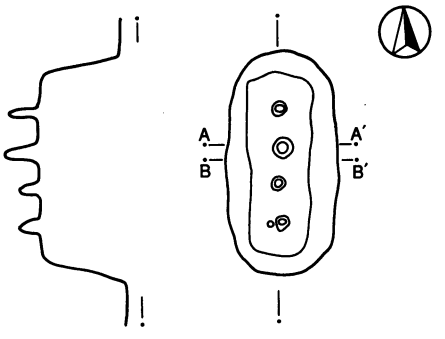





## 1号陥穴（1Iイ001）

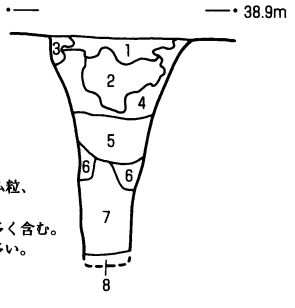
1. 暗褐色土層　ロームブロック（1cm大）を少し含む。粒子やや細かい。
2. 暗褐色土層　ローム粒子を多く含む。
3. 暗黄褐色土層　ロームブロック（2～3cm大）を少し含む。
4. 暗褐色土層　ローム粒（2～3mm大）を少し含む。
5. 暗黄褐色土層　ローム粒子主体。黒色土粒子を含む。
6. 黄褐色ロームブロック　粘質ややあり。上部より崩壊落下したもの。
7. 黒褐色土層　黒色土粒子を多く含む。ロームブロックを含む。
8. 暗黄褐色土層　ロームブロック（5mm～1cm大）を多く含む。
9. 黒褐色土層　黒色土粒主体。ローム粒子を含む。
10. 暗黄褐色土層　ローム粒子主体2～3cm大のロームブロック主体。黒色土粒を少し含む。
11. 暗褐色土層　黒色土粒を含む。
12. 暗黄褐色土層　白色粘土粒子を多く含む。粘性強い。
13. 黒褐色土層　黒色土粒主体。白色粘土粒、ローム粒子を含む。





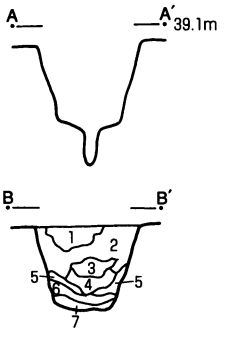

## 2号陥穴（2Iイ004）

1. 黒色粘質土　腐食著しい。ソフトローム粒がやや混じる。
2. 黒褐色粘質土　ハードローム粒が多く混ざる。
3. 暗黄色粘質土　ソフトローム、ハードローム粒、Ⅱc層の土が混ざり合う。
4. 黄褐色粘質土　Ⅱc層の土が主体でソフトローム粒、ロームブロックが混ざる。
5. 黒褐色粘質土　2層よりハードローム粒を多く含む。
6. 暗褐色粘質土　5層よりロームブロックが多い。
7. 暗黄色粘質土　ロームブロックの堆積層。
8. 黒褐色粘質土　細かいⅡc～Ⅲ層の土。



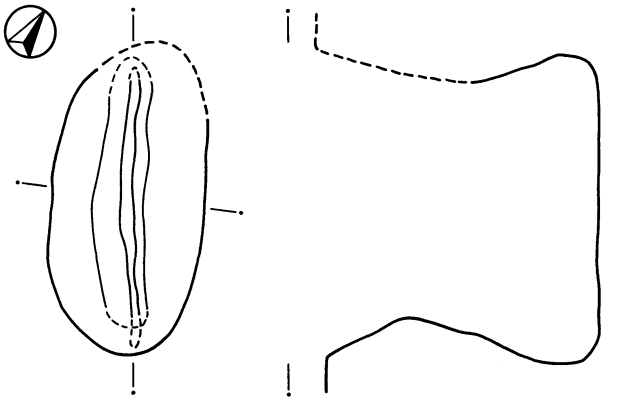

## 3号陥穴（2Iイ005）

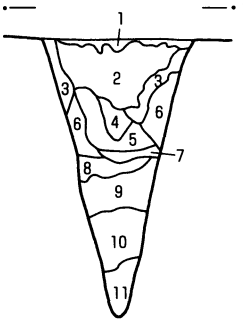
1. 黒褐色土層　ローム粒子含む。
2. 暗褐色土層　ローム粒子主体。壁寄りに若干黒色粒子を含む。
3. 黒褐色土層　2mm大のローム粒を含む。
4. 黒褐色土層　1cm大のロームブロックを含む。
5. 暗褐色土層　ロームブロックを含む。
6. 黒褐色土層　5mm大のロームブロックを含む。
7. 暗褐色土層　ローム粒子を多く含む。粘性ややあり。




0　2m

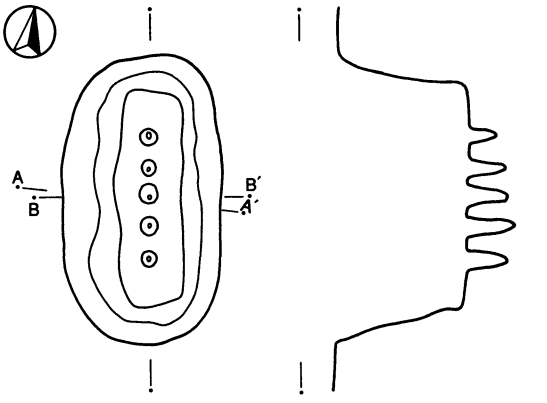
第24図　炉穴・陥穴（1）

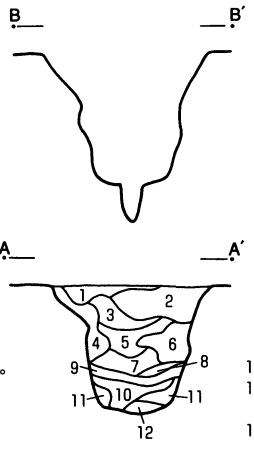





### 4号陥穴（3Iイ001）

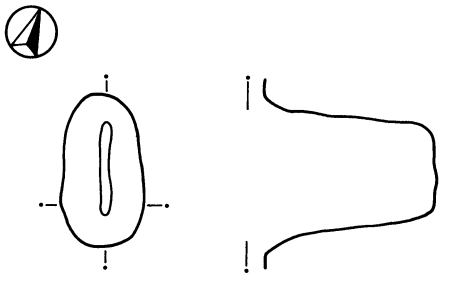
1. 褐色粘質土　Ⅱc層の土主体。
2. 黒褐色粘質土　Ⅱc層の土主体。
3. 褐色粘質土　Ⅱc層の土主体。
4. 暗褐色粘質土　6層と比べてやや黒味があり。
5. 褐色粘質土　4層と比べて、黄味があり少量のハードロームを含む。
6. 黄褐色粘質土　ソフトロームが主体。ロームブロックが少量含まれる。
7. 黄褐色粘質土　ロームブロックが大量に含まれる。
8. 暗褐色粘質土　5層と同じ様な色調だが、粒が大きい。
9. 黄褐色粘質土　ローム粒・ロームブロックを多く含む。
10. 暗褐色粘質土　ソフトロームが主体で、ハードロームを含む。
11. 黄褐色粘質土　ロームブロックが主体であるが、黒色土粒がかなり多く含まれる。

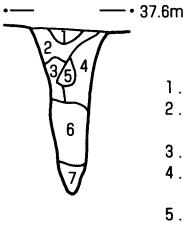



### 5号陥穴（3Iイ002）

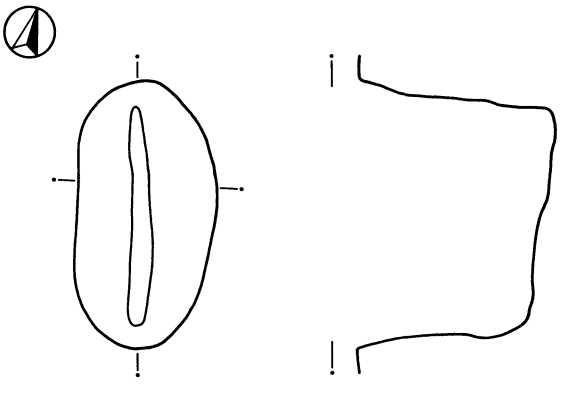
1. 黄褐色粘質土　Ⅱb+Ⅲ層の土。
2. 褐色粘質土　Ⅱb層の土とⅡc層の土が半々。下半部はやや黒み強し。
3. 暗褐色粘質土　Ⅱc層の黒味みの強い土が中心。
4. 黄褐色粘質土　Ⅲ層の土が多く含まれる。
5. 黒褐色粘質土　Ⅱc層がほとんどで黒味強し。
6. 褐色粘質土　Ⅲ層を含む。
7. 暗褐色粘質土　若干のハードローム粒が見られる。
8. 黒褐色粘質土　5層と同じ様な色調。
9. 暗黒色粘質土　ハードローム粒、ソフトローム粒とⅡc層の土が混ざり合う。
10. 暗褐色粘質土　黒色土粒とハードロームが混ざる。
11. 暗黄色粘質土　ロームブロック主体で、黒色粒子が若干混じる。
12. 暗褐色粘質土　粘性はややあり。

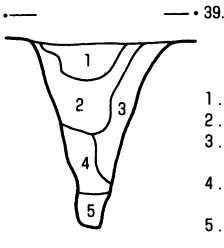





### 6号陥穴（3Iイ003）

1. 黒色粘質土　腐食が著しい。
2. 暗黄褐色粘質土　ソフトローム、ハードローム粒が少量混ざる。
3. 褐色粘質土　若干のソフトローム粒含まれる。
4. 褐色粘質土　ソフトローム粒が多く含まれる。上部はやや黒みがかる。
5. 黒褐色粘質土　若干のソフトローム粒含まれる
6. 黒褐色粘質土　上部から下部にいくに従い、ハードローム粒が大きく多くなる。
7. 黄褐色粘質土　ソフトローム粒とハードローム粒が主体。






### 7号陥穴（3Jイ001）

1. 黒褐色粘質土　ソフトローム微量含。
2. 暗褐色粘質土　ハードローム粒含む。
3. 黄褐色粘質土　ソフトロームが多い。ハードロームは下部の方が多く含む。
4. 黄褐色粘質土　3層よりソフトローム粒が少なく黒味が強い。
5. 黒褐色粘質土　ソフトローム粒、ハード小ブロックとⅡc層の黒色土が混ざる。全体に黒味がある。

0　2m

第25図　陥穴（2）

**6号陥穴（3I1003）**（第25図、図版4）

3I35グリッドに位置する。検出面で平面形は1.21ｍ×0.66ｍの楕円形を呈する。底部は0.75ｍ×0.09ｍの短葉巻形で、深さは1.36ｍである。短軸断面はＶ字形、長軸断面は上部がややラッパ状に開いた筒状を呈し、床はほぼ水平である。覆土は暗褐色から褐色土主体で、底面付近に壁の崩れの黄褐色土がある。遺物は出土していない。

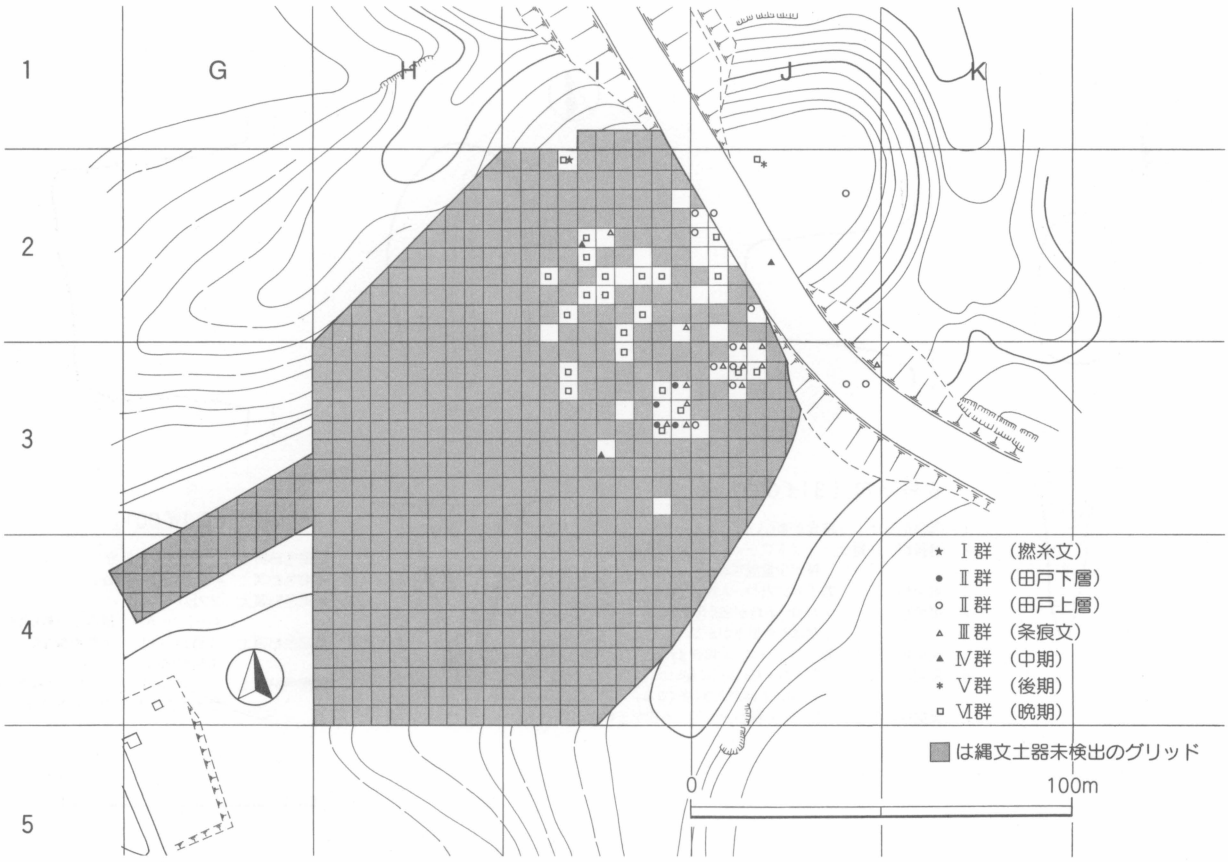
**7号陥穴（3J1001）**（第25図、図版4）

3J01グリッドに位置する。検出面で平面形は2.11ｍ×1.10ｍの長楕円形、底面で1.74ｍ×0.18ｍの葉巻形を呈する。深さは1.52ｍである。短軸断面はＶ字形、長軸断面は垂直に近い立ち上がりをしている。上部が崩れているとみられるが、部分的に袋状となっている。長軸方向で、床が北に向かって傾斜し下がっている。底面に黒褐色土をのせ、下半に壁の崩れの黄褐色土があり、上半部は暗褐色から黒褐色土になる。遺物は出土していない。

## 3　グリッド出土遺物

### （1）土器（第27図、図版13）

縄文時代に属する土器は、調査区北東側の舌状台地先端側に集中する（第26図）。包含層からは約180点の土器片が出土した。それらは、Ⅰ群～Ⅵ群に大別され、Ⅱ群（沈線文系）・Ⅲ群（条痕文系）・Ⅵ群（晩期）のものがそれぞれ約2割強を占め、さらに無文のものが3割近くある。台地中央の平坦部にⅥ群（晩期）の土器分布が目立ち、台地縁辺の傾斜地には晩期以外のものがまとまる傾向が指摘できる。




第26図　縄文土器グリッド別出土状況

**Ⅰ群　撚糸文系土器**（1）

1はRの縦位撚糸文が浅く施文された胴部片で、内面はあれて調整が判らない。

**Ⅱ群　沈線文系土器**（2～7）

A．田戸下層式土器（2・3）

2は太沈線が施文された土器で、横位区切り線間に斜行短沈線が連続して充填される文様とみられる。微細砂を含む胎土で、固く締まっている。内面は縦ナデが入る。3は斜行細沈線の施文された土器で、胴部下半部の底部に近い部位である。2と同一地点から検出されたものであり、同じ個体の可能性がある。

B．田戸上層式土器（4～7）

4はキャリパー形を呈する波状口縁土器である。横位沈線間に斜沈線が配されているが、破片のため文様のパターンは不明である。屈曲部に狭い二本組沈線で隆起線を表出している。胎土に繊維を含まない。口唇に刻み目、内面にミガキ調整が入る。5は横位・斜位・横位波状の沈線文が施文されている。胎土に繊維を含んでいる。6は内外面に削り痕を残す。一部に沈線が施文されている。胎土に繊維を含んでいる。7は胴下半部の個体で、細い沈線文がみられる。外面はていねいな縦ナデ痕（ミガキ的）が観察され、内面もナデられている。胎土はきめが細かく、繊維を少量含んでいる。

**Ⅲ群　条痕文系土器**（8～14）

A．鵜ヶ島台式土器（8～12）

8は底端部で、少し突出する鈍角な尖底を呈する。端部は少し摩滅している。外面はケズリ痕がある。胎土に繊維を少量含む。9～11は沈線区画内に押し引き線が充填されたもので、円形刺突文が区画沈線上に施文される。内面に条痕文がみられる。胎土に繊維は確認できない。12も同様に、沈線区画内に押し引き線が充填されたもので、円形刺突文が区画沈線上に施文される。本資料は胎土に特徴があり、金雲母が多量に含まれている。白色礫も多い。口唇は内削ぎで、屈曲部を持つ。

B．条痕文施文の土器（13・14）

13は外面に斜条痕文、内面に横条痕文が施文された土器である。口唇角頭で、上面にも条痕文が施文されている。14は内外面に斜条痕文が施文された土器である。外面に斜沈線文を併せ持つ。口唇角頭である。

**Ⅳ群　中期土器**（15・16）

15は縦位隆帯を持つ胴下半部の個体である。隆帯は4単位と思われる。外面に粗い縦ナデ痕が残され、内面は軽く磨かれている。胎土は微細砂を含むものである。阿玉台式の頃のものとみられる。底部は底裏にミガキが入っている。16は底径は9.5cmほどで、垂直に近く立ち上がる。底裏にケズリ痕を残す。

**Ⅴ群　後期土器**（17）

17は縦長の貼り瘤を持ち、沈線で区切られた低い隆起帯上に斜縄文が施文されている。後期安行1式の頃のものとみられる。

**Ⅵ群　晩期土器**（18～25）

18は薄手の土器で、沈線で区画した内に磨消縄文を施文している。18dは刻みのついた貼り瘤をもち、18eの胴下半では斜条線文がみられる。安行3a式であろう。

19は浮線文のみられるもので、「日」の字が連なった文様が配されている。胎土に小礫が多く含まれており、内面はよく磨かれているが、外面は調整がぞんざいで、砂粒が浮いている。内外灰褐色をしている。20は浅い網目状の浮線文がみられる。内面は磨かれている。21は太い沈線を施文し、工字文を描いている。

22は口縁部破片で、沈線により曲線文が配されている。23は二本組沈線を内外面の口縁上端に巡らしている。浅鉢的な器形で、内面は磨かれている。これらは千網式併行のものであろう。

24は横位撚糸文施文土器で、24aは肥厚し、内面に横ナデがみられる。24bは内湾し、内面が磨かれている。撚糸は細い腱状の糸をRに撚っている。

25はLの撚糸文が縦位施文された土器である。内面はよくナデられている。

（2）石器（第28図、第8表、図版14）

縄文時代に属する石器の多くは、縄文土器包含層のグリッド一括資料として取り上げられている。縄文土器と同様に出土石器は少なく、石器製作の痕跡は皆無であった。

石鏃12、礫斧1、礫器3、石核1点を掲載した（第28図）。その他には、剥片・礫片・礫等が数点検出されたのみである。

石鏃は完形のものは3点だけで（4・10・11）、他は先端もしくは基部を欠損している。欠損は後世のいわゆる「ガジリ」によるものを含み、風化の度合いで明らかにガジリによるものと分かるのは1・5・12である。それ以外では、基部（脚部）に欠損面をもつ資料が目立つ（3・6～9）。そのうち4点は黒曜石製のもので占められる。検出グリッドの分布は台地縁辺よりも台地中央平坦部に散在する傾向が見られる。それらは縄文土器の分布では、晩期の土器分布の中に包含される。

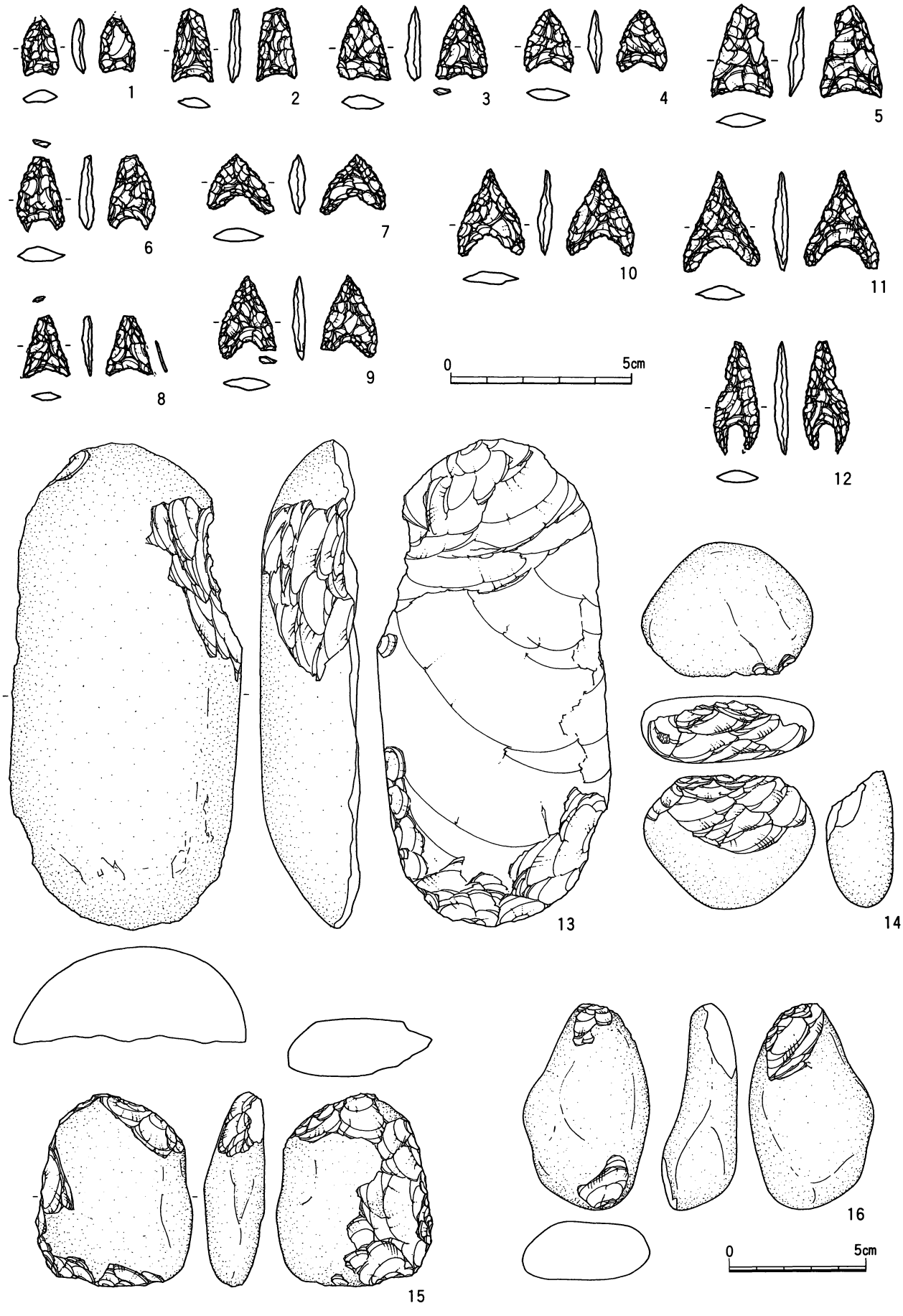
13～16はいわゆる礫素材の石器である。13は楕円礫を半割したものを素材とした片刃の礫器である。14は扁平礫を素材に用いた片刃の礫器である。15は扁平礫の周縁に両面から調整を加えた礫斧である。16は両極加撃により上下両端に剥離痕が観察される。14～16は同一グリッド（3H65）からの検出であるが、土器の分布域からは離れている。

第8表　縄文石器観察表

| 挿図No. | グリッド | 遺物No. | 器種 | 最大長mm | 最大幅mm | 最大厚mm | 重量g | 母岩番号 | X座標 | Y座標 | 標高m | 層位 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 02I14 | 0004 | 石鏃 | 15.0 | 9.7 | 3.5 | 0.47 | 黒曜石 | -22306.044 | 50124.550 | 39.174 | Ⅲ層上部 | |
| 2 | 04G22 | | 石鏃 | 19.6 | 11.2 | 3.2 | 0.69 | メノウ | | | | 覆土中 | 溝2 |
| 3 | 02I53 | 0016 | 石鏃 | 20.7 | 14.9 | 4.1 | 1.01 | 黒曜石 | -22326.761 | 50117.172 | 39.200 | Ⅲ層上部 | |
| 4 | 02H88 | 0002 | 石鏃 | 16.9 | 13.3 | 3.4 | 0.67 | チャート | | | | グリッド一括 | |
| 5 | 02I08 | 0009 | 石鏃 | 25.1 | 16.8 | 4.5 | 1.52 | チャート | -22302.996 | 50143.572 | 39.042 | Ⅲ層 | |
| 6 | 02I37 | 0002 | 石鏃 | 20.0 | 12.8 | 4.4 | 1.02 | 黒曜石 | | | | グリッド一括 | |
| 7 | 02I98 | 0002 | 石鏃 | 15.3 | 18.0 | 4.7 | 0.74 | 黒曜石 | | | | グリッド一括 | |
| 8 | 02I65 | 0004 | 石鏃 | 16.3 | 12.7 | 2.8 | 0.48 | チャート | -22333.239 | 50126.942 | 39.512 | Ⅲ層上部 | |
| 9 | 03H45 | | 石鏃 | 21.4 | 15.4 | 3.6 | 0.89 | 黒曜石 | | | | グリッド一括 | |
| 10 | 03I88 | | 石鏃 | 23.0 | 18.0 | 4.0 | 1.16 | チャート | | | | グリッド一括 | |
| 11 | 03I15 | 0002 | 石鏃 | 25.9 | 21.1 | 3.8 | 1.17 | チャート | | | | グリッド一括 | |
| 12 | 04G12 | | 石鏃 | 30.5 | 12.6 | 3.9 | 1.08 | 頁岩 | | | | 覆土中 | 溝2 |
| 13 | 03I03 | | 礫器 | 176.0 | 83.5 | 33.5 | 695.00 | 砂岩 | | | | グリッド一括 | |
| 14 | 03H65 | | 礫器 | 49.5 | 61.3 | 24.5 | 96.25 | チャート | | | | グリッド一括 | 礫器？ |
| 15 | 03H65 | | 礫斧 | 71.6 | 57.5 | 22.0 | 112.97 | 流紋岩 | | | | グリッド一括 | |
| 16 | 03H65 | | 礫器 | 76.5 | 46.5 | 26.2 | 107.45 | 安山岩 | | | | グリッド一括 | 両極？ |

1
2a
2b
2c
2d
2e
2f
3
4a
4b
5a
5b
5c
6
7
8
9
10
11
12a
12b
12c
12d
13
14
15a
15b
16
17
18a
18b
18c
18d
18e
19a
19b
20
21
22a
22b
23a
23b
24a
24b
25a
25b
25c
25d
0
10cm

第27図　出土土器




第28図　出土石器

# 第4章 中・近世

## 第1節　遺構と遺物

### 1　炭窯

**1号炭窯（2Ⅰ001）**（第29図、図版5）

燃焼部が円形で、煙道部が小型円形に突出する、全体的には瓢箪形の平面形態の炭窯である。燃焼部長径3.50m、短径2.55m、煙道部直径0.35mを測る。煙道部と反対側に1.4m×1.6mの灰原がある。

### 2　土坑

**1号土坑（2Ⅰ002）**（第29図、図版5）

長軸3.45m、短軸1.25m、深さ最大0.35mの長円形土坑である。黒色土が堆積している。覆土中に焼土・炭化物ブロックを多量に含む。切り合う溝2より新しい。

**2号土坑（2Ⅰ003）**（第29図、図版5）

一辺6.3m×7.1mの範囲に、複数の方形土坑が重複している。おそらく炭焼遺構といくつかの土坑が重複したものであろう。焼土・炭を多量に含む層がある。

### 3　溝状遺構

3条の溝を検出した。いずれも十余三稲荷峰遺跡（空港№67遺跡）へと連続している。

**溝1**（第30図～32図、第9表、図版5・15・16）

溝は南西－北東方向にほぼ直線的に延びるが、北東側途中で次第に浅くなり消滅する。溝幅は0.9m～2.2mで、一定していない。銭貨が出土した南西側では、掘り込みが浅く、幅広になっている。幅が狭くなっている地点では、2条の溝がさらに掘り下げられ、その掘方面が、段状に残っている。逆に幅広くなる地点には見られない。

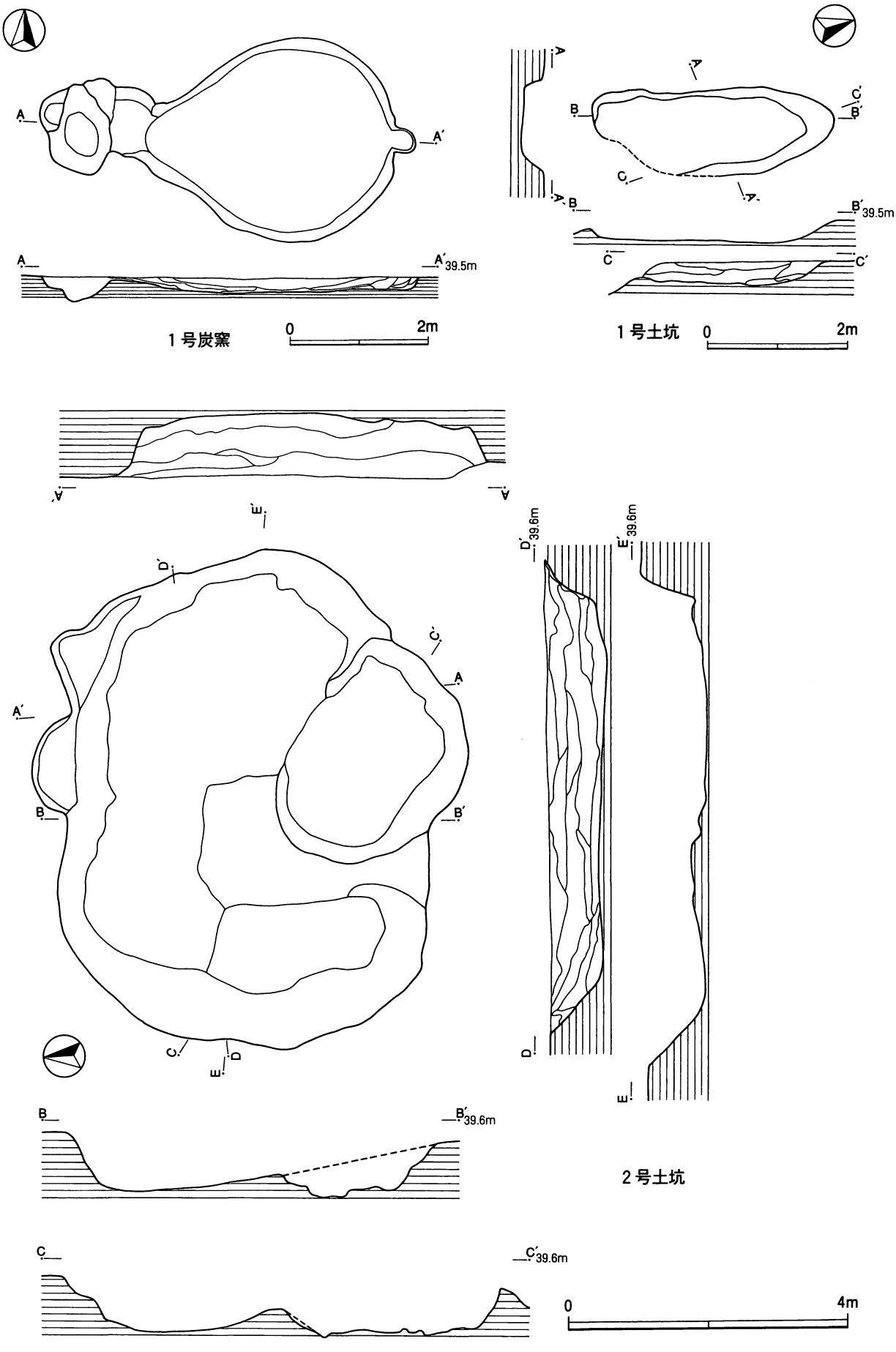
4G20グリッドに位置する溝覆土最下層から、銭貨が30枚一括して出土した（第31・32図、第9表）。最も古いものは開元通寶2点、最も新しいものは開禧通寶1点で、明銭を含まない。溝の時期を明確にするのは難しいが、近世以降の遺物及び明銭を含まないので、中世後期（15世紀前半頃）になる可能性がある。

**溝2**（第33図、図版6）

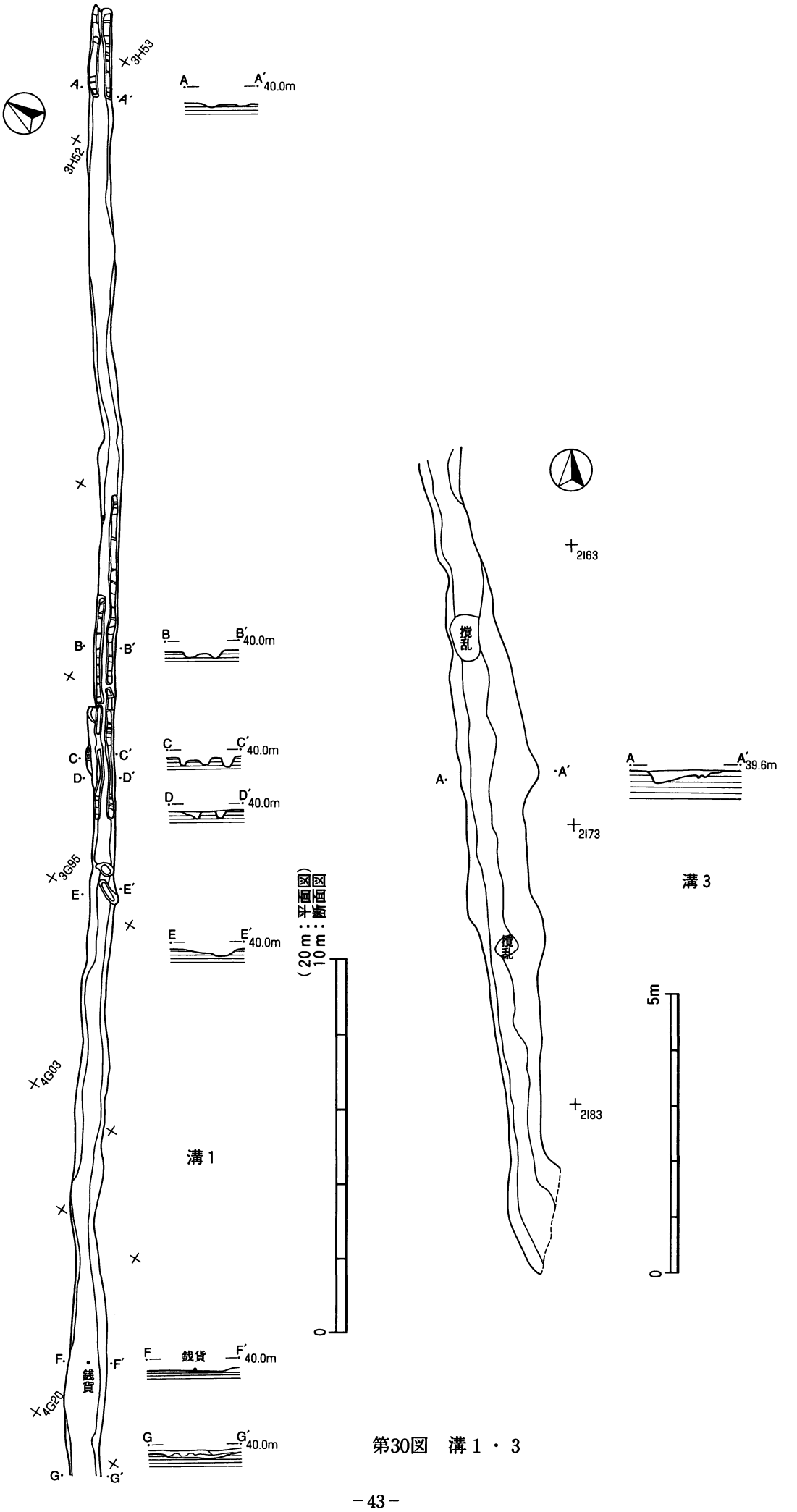
溝2は溝1のすぐ南側に、1.5m～2.0mの間隔を置いて、平行して延びる大型の溝である。上端幅は完全に掘り上げた状態で4.0m～5.4mである。いずれの断面を見てもわかるように、複数の溝の集合である。最も掘り込みの深い溝が古く、その後溝が埋没するたびに、その南側に拡幅するように一段浅い溝が造られており、少なくとも2回以上の掘り替えを行っている。断面からは硬化面は確認できない。また、耕作により表土が削られているため、土塁状の構造物が平行して造られていたかどうか、不明である。

**溝3**（第30図、図版6）

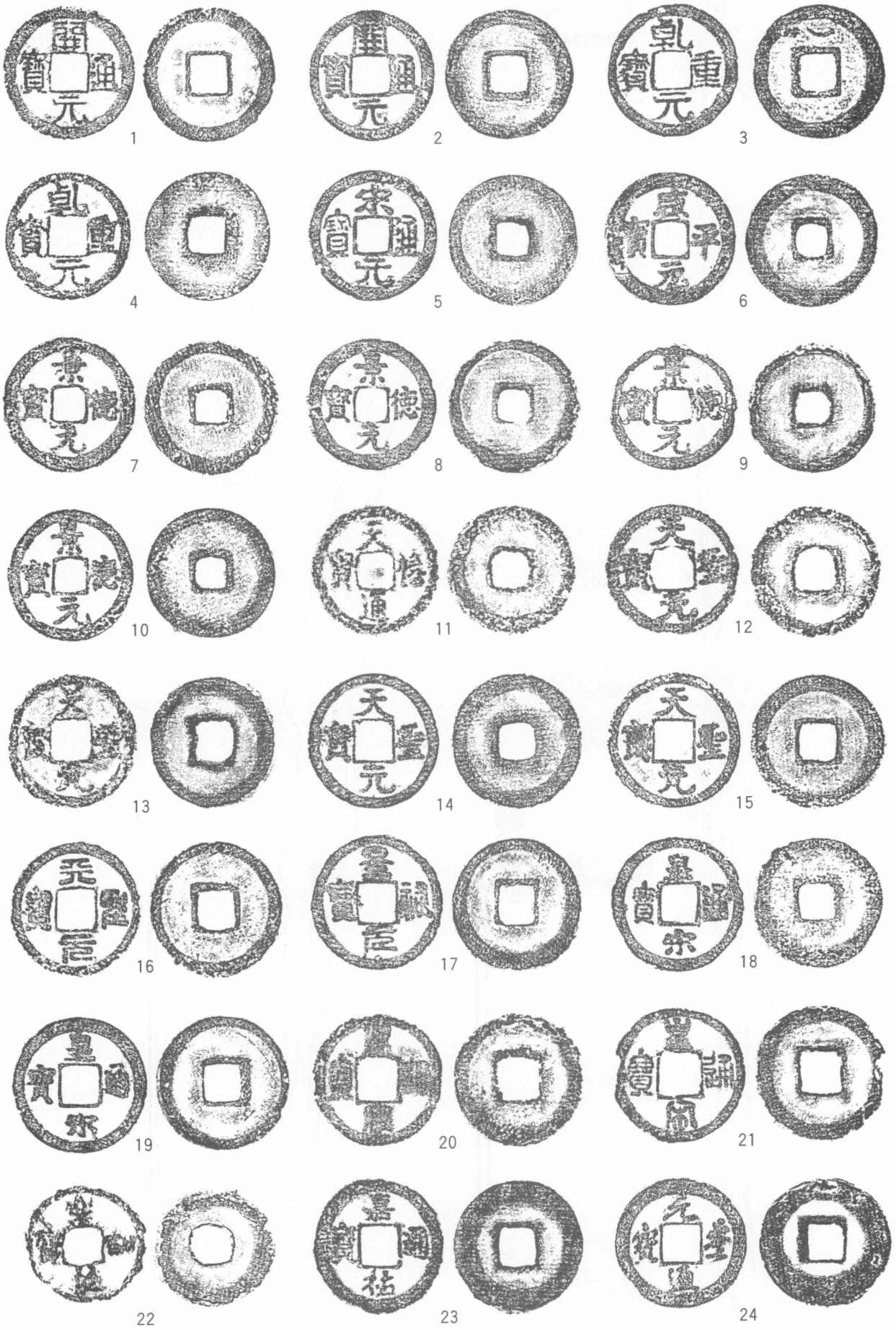
溝3としているものは、複合して溝2を構成している溝の内の1本が分岐したものと判断される。断面の形態と底面のレベルから見て、溝2の内の最も新しい溝になるものと考えられる。上端幅0.6m～1.4mを測り、一定ではない。断面図からわかるように、掘方最下面が著しく西側に寄っている。このことから、削平された表土上の遺構を想定すると、おそらく、溝の西側に掘方と連続するように、土塁状の高まりがあったのではないだろうか。


A
A′
A
A′ 39.5m
1号炭窯
0
2m
A
A
B
C′
B′
C
A
B
B′ 39.5m
C
C′
1号土坑
0
2m
A′
A
E
D′
C′
A
A′
B
B′
C
D
E
D′ 39.6m
E′ 39.6m
D
E
B
B′ 39.6m
2号土坑
C
C′ 39.6m
0
4m

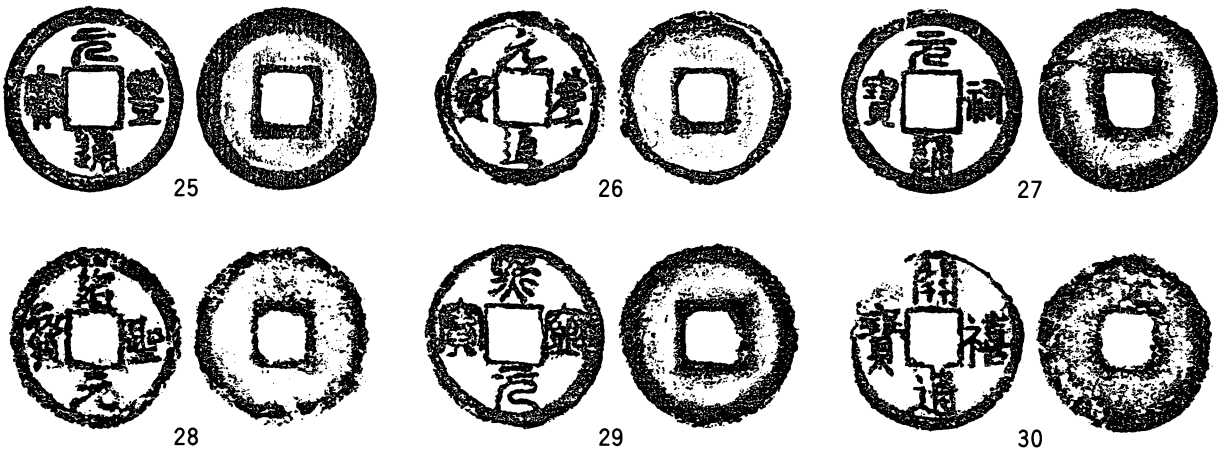
第29図　炭窯・土坑


3H53
3H52
A
A′
40.0m
B
B′
40.0m
C
C′
40.0m
D
D′
40.0m
3G95
E
E′
40.0m
4G03
溝1
F
F′
40.0m
銭貨
4G20
G
G′
40.0m
(20m：平面図)
10m：断面図
0
2163
撹乱
2173
2183
39.6m
溝3
5m
0

第30図　溝1・3



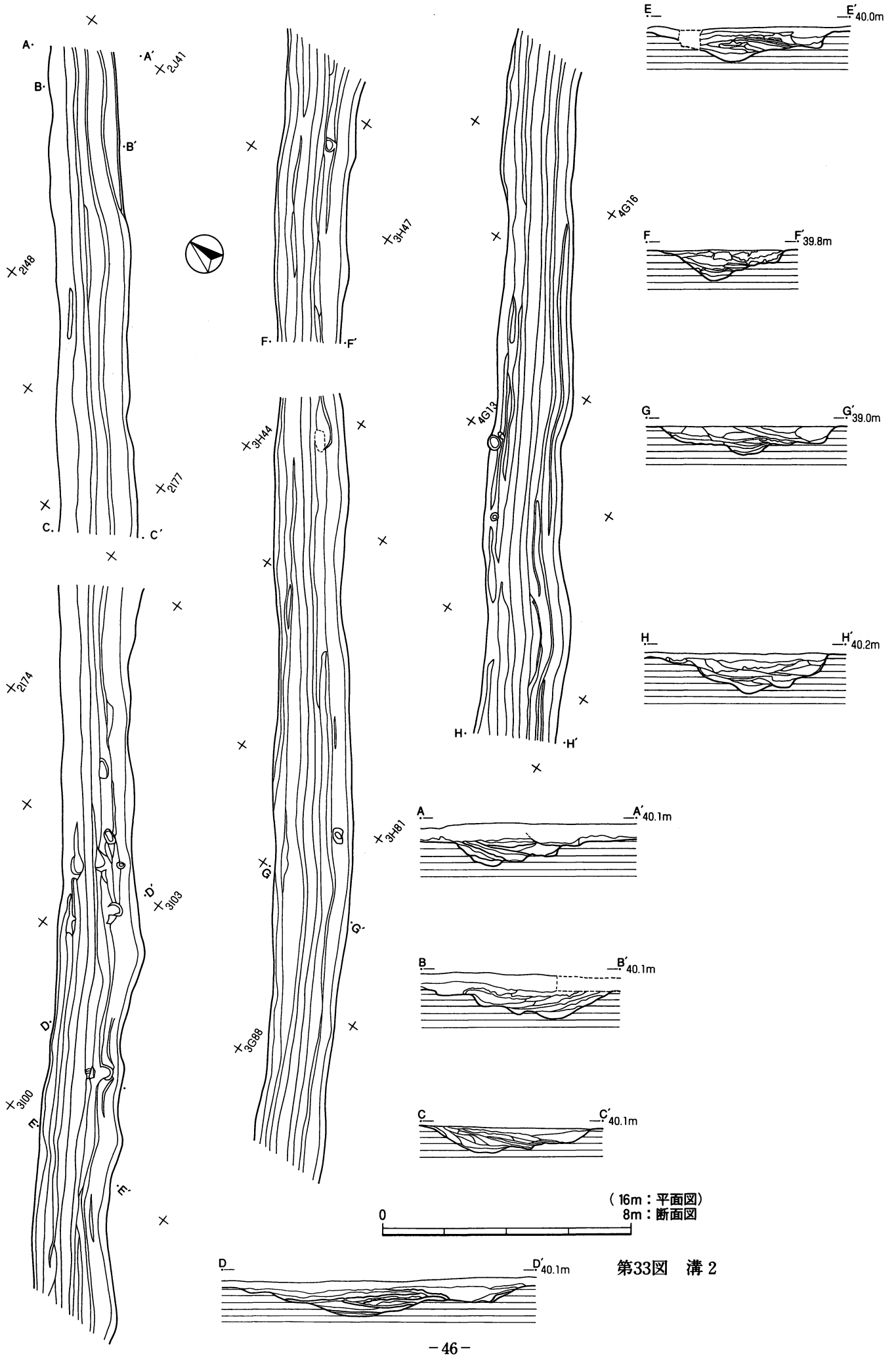

第31図　銭貨（1）




第32図　銭貨（2）

第9表　銭貨一覧

| 挿図 No. | 銭貨名 | 王朝名 | 初鋳年 | 計測値（単位：mm） | | | | | 重量(g) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 縁外径 | 縁内径 | 郭外径 | 郭内径 | 縁厚 | |
| 1 | 開元通寶 | 唐 | 621 | 24.7 | 20.0 | 7.5 | 6.8 | 1.3 | 3.3 |
| 2 | 開元通寶 | 唐 | 621 | 24.1 | 19.6 | 8.5 | 6.5 | 1.0 | 3.1 |
| 3 | 乾元重寶 | 唐 | 758 | 24.7 | 19.9 | 8.3 | 6.6 | 1.3 | 3.5 |
| 4 | 乾元重寶 | 唐 | 758 | 23.8 | 20.3 | 9.0 | 6.8 | 1.0 | 2.3 |
| 5 | 宋通元寶 | 北宋 | 960 | 24.3 | 19.8 | 7.6 | 5.8 | 1.0 | 3.2 |
| 6 | 咸平元寶 | 北宋 | 998 | 24.4 | 19.1 | 7.9 | 5.9 | 1.1 | 3.6 |
| 7 | 景德元寶 | 北宋 | 1004 | 25.1 | 19.5 | 7.8 | 5.8 | 1.5 | 3.8 |
| 8 | 景德元寶 | 北宋 | 1004 | 24.7 | 18.6 | 7.4 | 6.0 | 1.1 | 2.6 |
| 9 | 景德元寶 | 北宋 | 1004 | 24.0 | 19.7 | 7.9 | 5.8 | 1.0 | 2.4 |
| 10 | 景德元寶 | 北宋 | 1004 | 24.0 | 20.0 | 7.6 | 6.0 | 1.2 | 3.4 |
| 11 | 天禧通寶 | 北宋 | 1017 | 23.7 | 19.3 | 8.7 | 7.0 | 1.1 | 2.3 |
| 12 | 天聖通寶 | 北宋 | 1023 | 24.4 | 20.7 | 10.0 | 8.0 | 1.0 | 2.7 |
| 13 | 天聖通寶 | 北宋 | 1023 | 24.5 | 10.0 | 9.8 | 7.2 | 1.1 | 2.8 |
| 14 | 天聖通寶 | 北宋 | 1023 | 24.9 | 21.0 | 8.8 | 6.9 | 1.0 | 3.2 |
| 15 | 天聖通寶 | 北宋 | 1023 | 24.8 | 21.2 | 9.0 | 7.1 | 1.1 | 3.3 |
| 16 | 天聖通寶 | 北宋 | 1023 | 24.9 | 20.5 | 9.0 | 7.2 | 1.3 | 3.2 |
| 17 | 景祐元寶 | 北宋 | 1034 | 24.6 | 20.5 | 8.4 | 7.1 | 1.2 | 3.5 |
| 18 | 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 24.5 | 20.0 | 8.4 | 6.4 | 1.1 | 3.2 |
| 19 | 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 24.8 | 20.2 | 8.9 | 6.9 | 1.0 | 2.9 |
| 20 | 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 24.5 | 20.0 | 9.5 | 7.5 | 1.0 | 2.9 |
| 21 | 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 24.5 | 20.7 | 9.0 | 7.5 | 1.0 | 2.6 |
| 22 | 至和通寶 | 北宋 | 1054 | 22.8 | 19.5 | 8.2 | 7.0 | 1.0 | 1.6 |
| 23 | 嘉祐通寶 | 北宋 | 1056 | 25.2 | 20.0 | 9.0 | 7.3 | 1.0 | 3.0 |
| 24 | 元豊通寶 | 北宋 | 1078 | 24.5 | 19.5 | 8.5 | 6.9 | 1.0 | 3.0 |
| 25 | 元豊通寶 | 北宋 | 1078 | 24.2 | 20.0 | 8.8 | 5.9 | 1.1 | 3.4 |
| 26 | 元豊通寶 | 北宋 | 1078 | 23.2 | 18.7 | 8.0 | 6.2 | 1.5 | 2.7 |
| 27 | 元祐通寶 | 北宋 | 1086 | 24.2 | 19.4 | 8.7 | 7.1 | 1.1 | 3.3 |
| 28 | 紹聖元寶 | 北宋 | 1094 | 24.0 | 20.0 | 8.9 | 7.0 | 1.2 | 2.4 |
| 29 | 聖宋元寶 | 北宋 | 1101 | 24.2 | 20.5 | 8.3 | 7.0 | 1.6 | 3.9 |
| 30 | 開禧通寶 | 南宋 | 1205 | 23.8 | 21.3 | 8.3 | 6.9 | 1.1 | 2.2 |


A
A′
2J41
B
B′
2I48
2I77
C
C′
2I74
D
D′
3I03
3I00
E
E′
40.0m
F
F′
39.8m
3H47
4G16
4G13
G
G′
39.0m
3H44
H
H′
40.2m
3H81
3G88
A
A′
40.1m
B
B′
40.1m
C
C′
40.1m
0
（16m：平面図）
8m：断面図
D
D′
40.1m

第33図　溝 2

# 第5章 ま と め

**旧石器時代**　ソフトローム層（Ⅲ層）中から7か所の石器集中地点を検出した。

調査時の出土層位の所見や図面上での土層セクションへの投影から、各地点を層位的に分離する確たるデータを得ることはできなかった。

器種組成・石材構成によって大きく3つのグループに分離される。

石器集中1～4　舌状台地縁辺に平行して石器群が隣接する。周縁調整の尖頭器を主体とする。珪質頁岩54%、黒曜石42%の割合で、両石材が石器群の大半を占める。黒曜石の占める割合は各集中地点で異なり、石器集中2が約6割近くで高い割合を示す。次は石器集中3で約4割を占める。石器集中1と石器集中4は小規模な集中地点であり、黒曜石は1点しか含まれない。尖頭器には黒曜石製の1点を除き、すべて珪質頁岩が用いられている。

尖頭器はすべて剥片素材で周縁調整を施したものである。以下に、その形態的特徴を挙げる。

・最大幅は器体中央から下半部を中心とする。

・基部端は尖るものとそうでないもの2者がある。

・素材剥片は縦長のものに限らず、横長幅広のものを横位・斜位に設定するものもある。

・調整は主要剥離面側から背面に向かって、周縁に急角度調整が連続的に施されるが、必ず全周に施されるというわけではなく、必要がなければ未調整のまま残される縁辺も存在する。また、素材剥片の打瘤部が残置する場合は、ほぼ例外なく、主要剥離面側に平坦剥離が施される。

・縦長の素材剥片の場合、不要な部分、特に打瘤部は折断によって除去した後に周縁調整が施される。

このような周縁調整を特徴とする尖頭器は他の形態的特徴を有する尖頭器と一緒に、客体的な存在として検出されることが多く、これを主体とする石器群は下総台地では比較的少ない。千葉市南河原坂第3遺跡のD地点やE地点第Ⅰ文化層は、珪質頁岩を用いた周縁調整加工の尖頭器が主体を占める数少ない石器群で、一緒に両面調整が施された中型の尖頭器が客体的に検出されている[1)]。

また、佐原市伊地山石塔前遺跡第1文化層[2)]では、本遺跡と同様のクリーム色から褐色を呈した珪質頁岩を主体とした石器群が検出されている。尖頭器は周縁加工のもので、片面に限らず両面に調整が施されるのが特徴的である。彫刻刀形石器も組成し、石器組成の点でも本遺跡に近い。調整痕のある剥片は連続した急角度調整によるもので、本遺跡における尖頭器製作の調整技術を彷彿とさせる。石器集中は径約15mの狭い範囲に3地点が点在し、遺物量は第1ブロックに偏り、第2・3ブロックは小点数で構成される。このようなブロック構成も本遺跡に類似する。

ところで、本遺跡で行われた珪質頁岩の剥片剥離には、分厚い石刃や剥片を素材とした石核（石器集中2・3）が用いられているが、最終的に掻器状に縁辺が整えられている。このような例はあまり見あたらない。そして遺跡内の剥片剥離全体については、珪質頁岩によるこのような尖頭器の素材剥片生産と周縁調整による仕上げ作業の他に、黒曜石を用いたブロック状の石核による剥片剥離が一部に見られる。また、珪質頁岩には他に、比較的大きなポイントフレイクが伴出していることから、遺跡内で小型の周縁調整尖頭器以外に片面・両面調整の中～大型の尖頭器が作られていた蓋然性が高い。

空港予定地内では、いくつかの遺跡で尖頭器石器群が検出されている。有樋尖頭器を主体とする石器群として取香和田戸（空港№60）遺跡[3]・香山新田中横堀（空港№７）遺跡[4]があり、有樋尖頭器を伴わない石器群が東峰西笠峰（空港№63）遺跡[5]・一鍬田甚兵衛山北（空港№11）遺跡[6]等で検出されている。いずれの遺跡においてもソフトローム中の検出であり、層位的には細かな編年的な位置づけを与えることは難しいが、東峰西笠峰（空港№63）遺跡の黒曜石を主体とする片面加工の尖頭器石器群（旧）と安山岩製の中型木葉形尖頭器石器群（新）、一鍬田甚兵衛山北（空港№11）遺跡の幾何形ナイフ形石器群（旧）と尖頭器石器群（新）などで相対的な層位的出土事例が確認されつつある。

また各遺跡で石材構成が偏っていることも注目され、編年的な位置づけと共に石材獲得と尖頭器形態の関連性についても今後の課題として残された。

石器集中５　小型のナイフ形石器を伴う石器群である。チャート製のナイフ形石器は基部を急角度調整により尖頭状に仕上げている。刃部は欠損によりはっきりしないが切出状を呈していたと思われる。いわゆる「終末期」のナイフ形石器に位置づけられる資料である。グリッド一括資料にも、形態的に類似した小型ナイフ形石器が検出されている。ナイフ形石器は搬入品で、集中地点内では安山岩による小規模な母岩消費がなされているに過ぎない。

石器集中７　細石刃石核を伴う石器群である。石材はチャートを用いている。細石刃石核２点と剥片２点があるが、剥片のうち１点は石器集中３の珪質頁岩Ｂと同一母岩であり、細石刃石核に伴う資料ではない。つまり細石刃石核は、単独検出に近い形で出土したものである。

細石刃石核はいわゆる「野辺山型（野岳・休場型）」と呼ばれるものの範疇に入る。

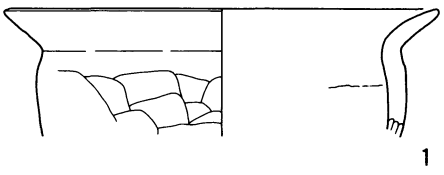
１点は両設打面をもつ資料で、もう１点は作業面を大きく剥取されている。後者には両極加撃による剥離が施された可能性がある。

以上、周縁加工の尖頭器を主体とする石器群、幾何形のナイフ形石器を伴う石器群、細石刃石核を伴う石器群の大きく３つのグループが本遺跡で検出されたことが明らかとなった。編年的な関係については、各石器群とも出土層位がⅢ層上部を主体としていることが調査時の所見で明らかとなっているが、細かな上下差をそれらに対して与えることができないために、層位的な根拠を示すことが出来ない。一般的には、ナイフ形石器を伴わない尖頭器石器群より、古く幾何形のナイフ形石器を伴う石器群を、新しく細石刃石核を伴う石器群を位置づけるのが妥当なのであろう。現段階で異論を唱える具体的な根拠を提示することができないが、いまだ流動的である。

**縄文時代**　検出された遺構は炉穴１基、陥穴７基と少ない。炉穴は舌状台地の先端に近い位置にある。陥穴は北端部で谷沿いに３基、中央部東側で尾根南側に４基とわかれる。谷沿いの３基は地形に規制されているようで、長軸が等高線に平行か直角であるのに対して、南側の４基は現方位の南北を向いている。底面が細くなるものは中央部東側に３基、底面が小さく深いものは北端部に２基、長方形で浅く、底面にピットをもつものは両地点に１基の２基がある。遺物は出土しておらず、時期の決め手はない。周辺遺跡での調査でも多数陥穴が検出されているので、陥穴猟の対象地として利用されたものであろう。

土器の出土は少なく、約180点が出土した。大半は周辺遺跡と同様、早期のものであるが、当遺跡では晩期末の時期が少量存在していることが注目される。晩期安行式のものは、遺跡のある支谷の末端部にあたる東峰西笠峰（空港№63）遺跡[7]で出土している。この谷沿いに晩期の遺物を出土する２遺跡が存在することとなるが、その解釈については今後の課題として残された。

**奈良・平安時代**　遺構は検出されていないため、ここでグリッド一括で取り上げられた土師器について紹介する（第34図）。2I25グリッドから出土したもので、口縁が極端に屈曲する小型の甕形土器である。口径は17.0cmである。口縁内外面ヨコナデ、胴部には縦方向のケズリが施されている。




第34図　出土遺物（1/3）

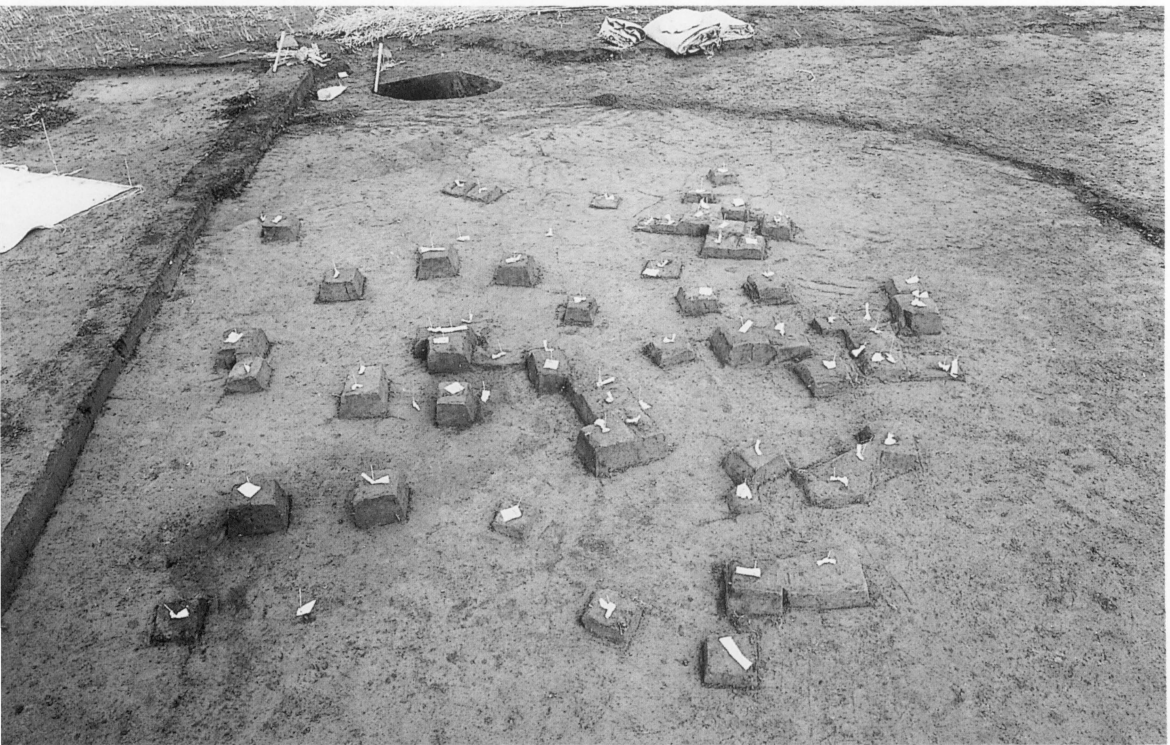
注1　島田和高他　1996『土気南遺跡群Ⅴ　南河原坂第3遺跡』（財）千葉市文化財調査協会
2　新田浩三他　1990『大栄栗源干潟線埋蔵文化財調査報告書』（財）千葉県文化財センター
3　新田浩三他　1994『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅷ　取香和田戸遺跡（空港No.60遺跡）』（財）千葉県文化財センター
4　西川博孝他　1984『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ－No.7遺跡－』（財）千葉県文化財センター
5　平野雅一・永塚俊司　1999『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅺ－東峰西笠峰遺跡（空港No.63遺跡）－』（財）千葉県文化財センター
6　新田浩三　1995『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅸ－一鍬田甚兵衛山北遺跡（空港No.11遺跡）－』（財）千葉県文化財センター
7　注5文献

# 写　真　図　版

航空写真（1：10,000）
昭和42年撮影

石器集中1
（南より）

石器集中2
（南西より）

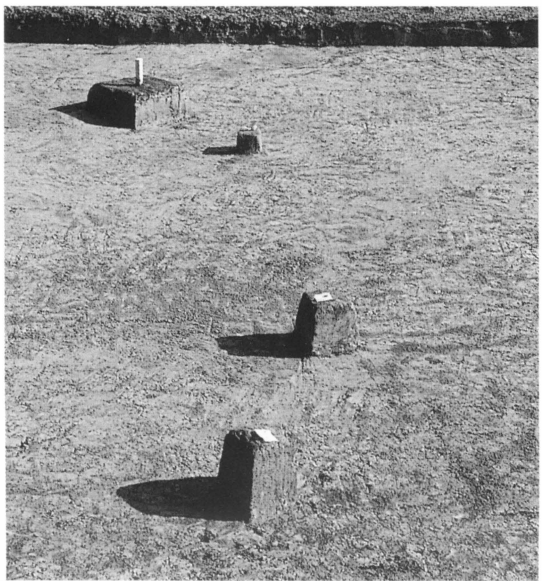


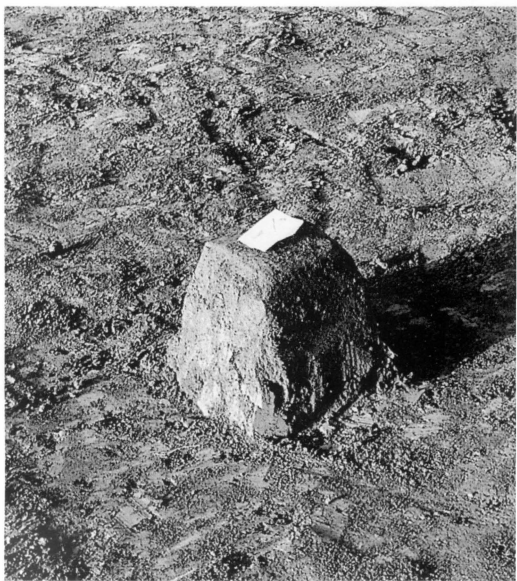
石器集中3
（南より）

石器集中 4
（西より）

石器集中 5
（東より）

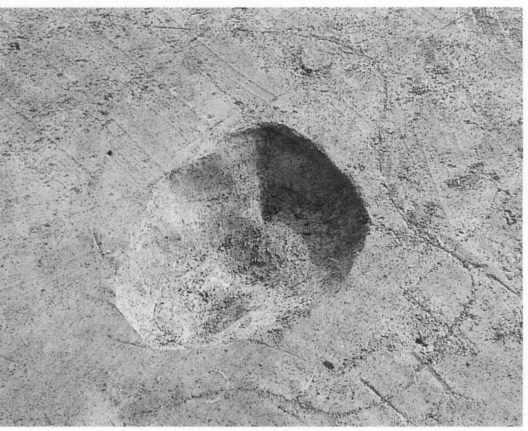
石器集中 7
（南より）



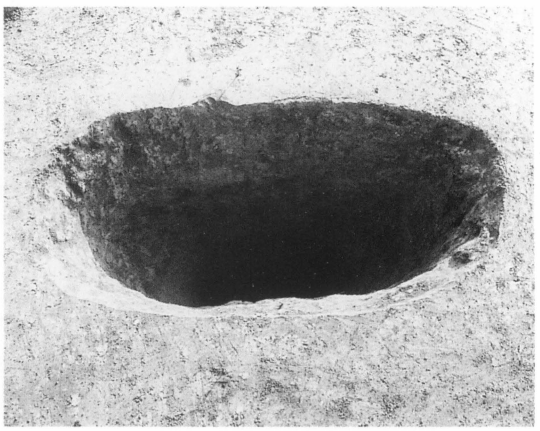


左：石器集中 6
（西より）

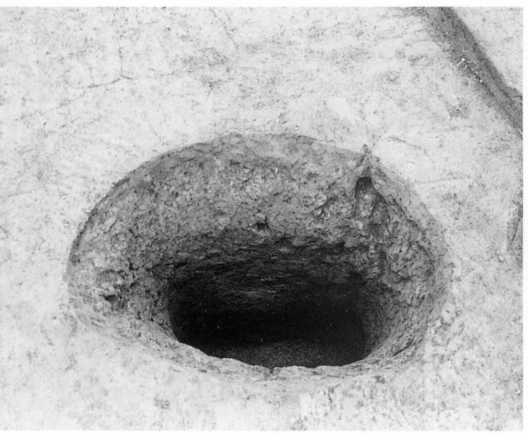
右：石器集中地点外
（23図 6 ）



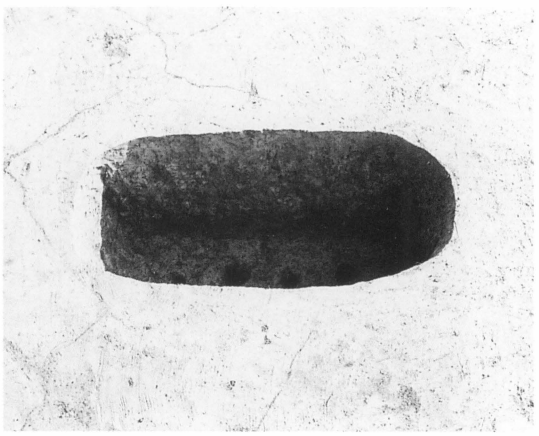
1 号炉穴



1 号陥穴

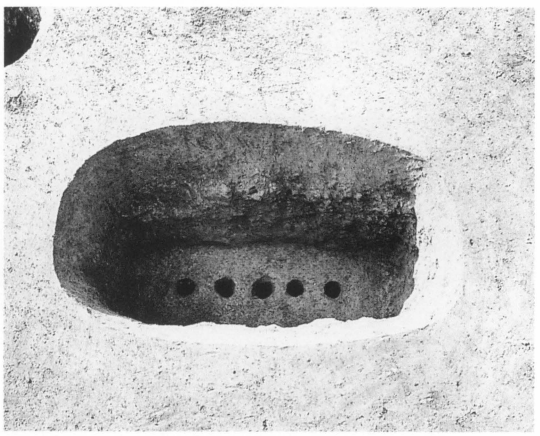


2 号陥穴

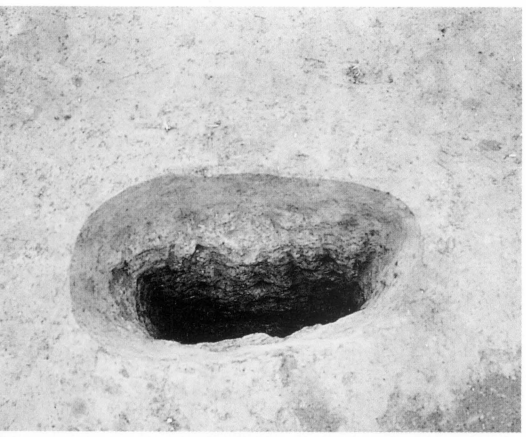


3 号陥穴

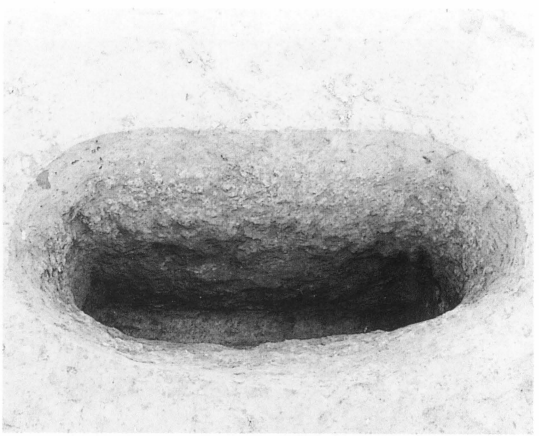
4 号陥穴



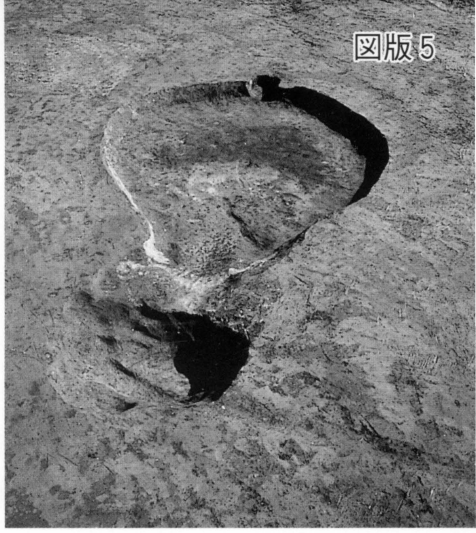
5 号陥穴



6 号陥穴



7 号陥穴



左：1号土坑
右：1号炭窯

2号土坑

銭貨　出土状況

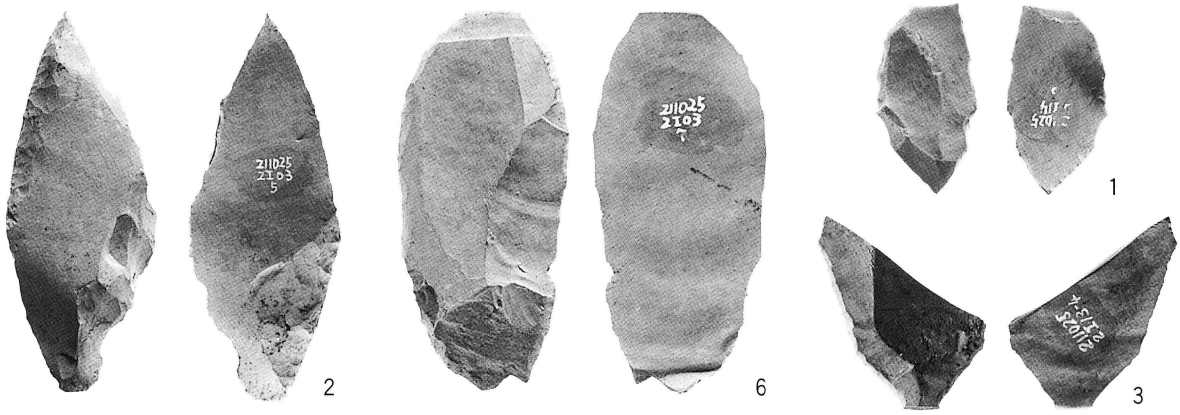
溝1

図版 6

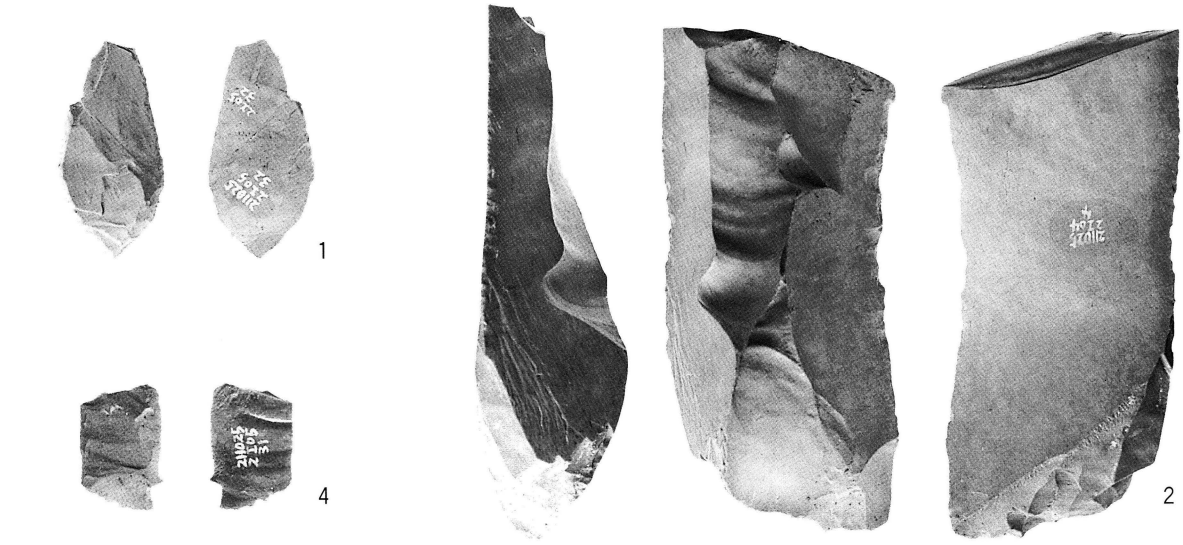
溝 2

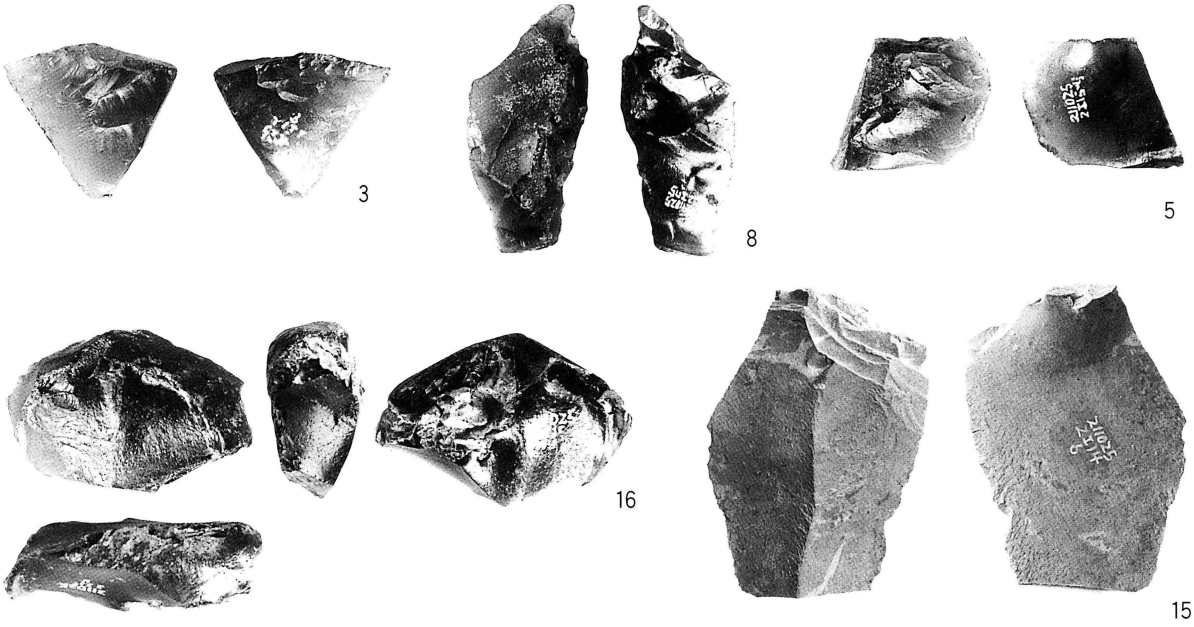
溝 2　セクション

溝 3

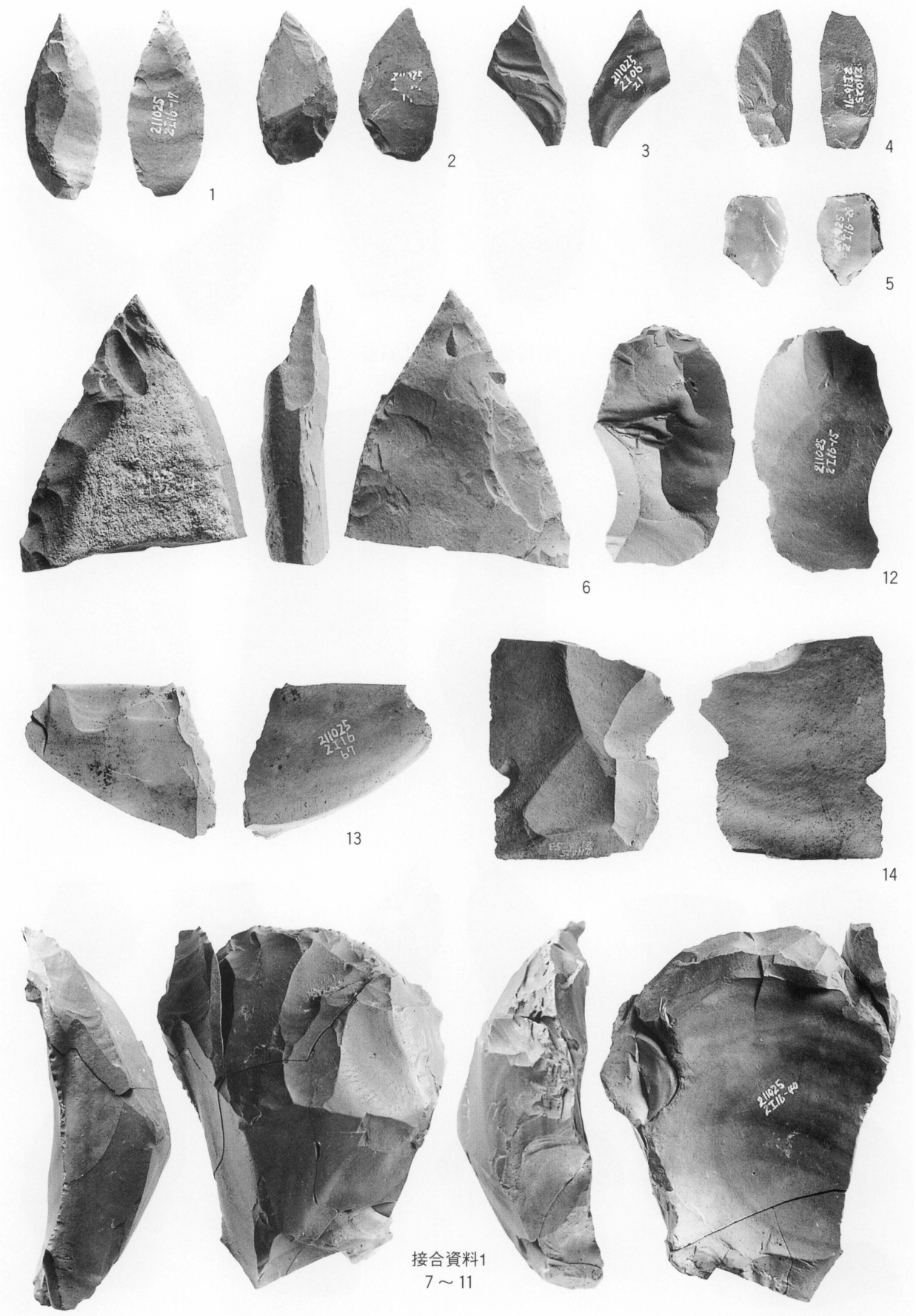



石器集中 1　出土石器

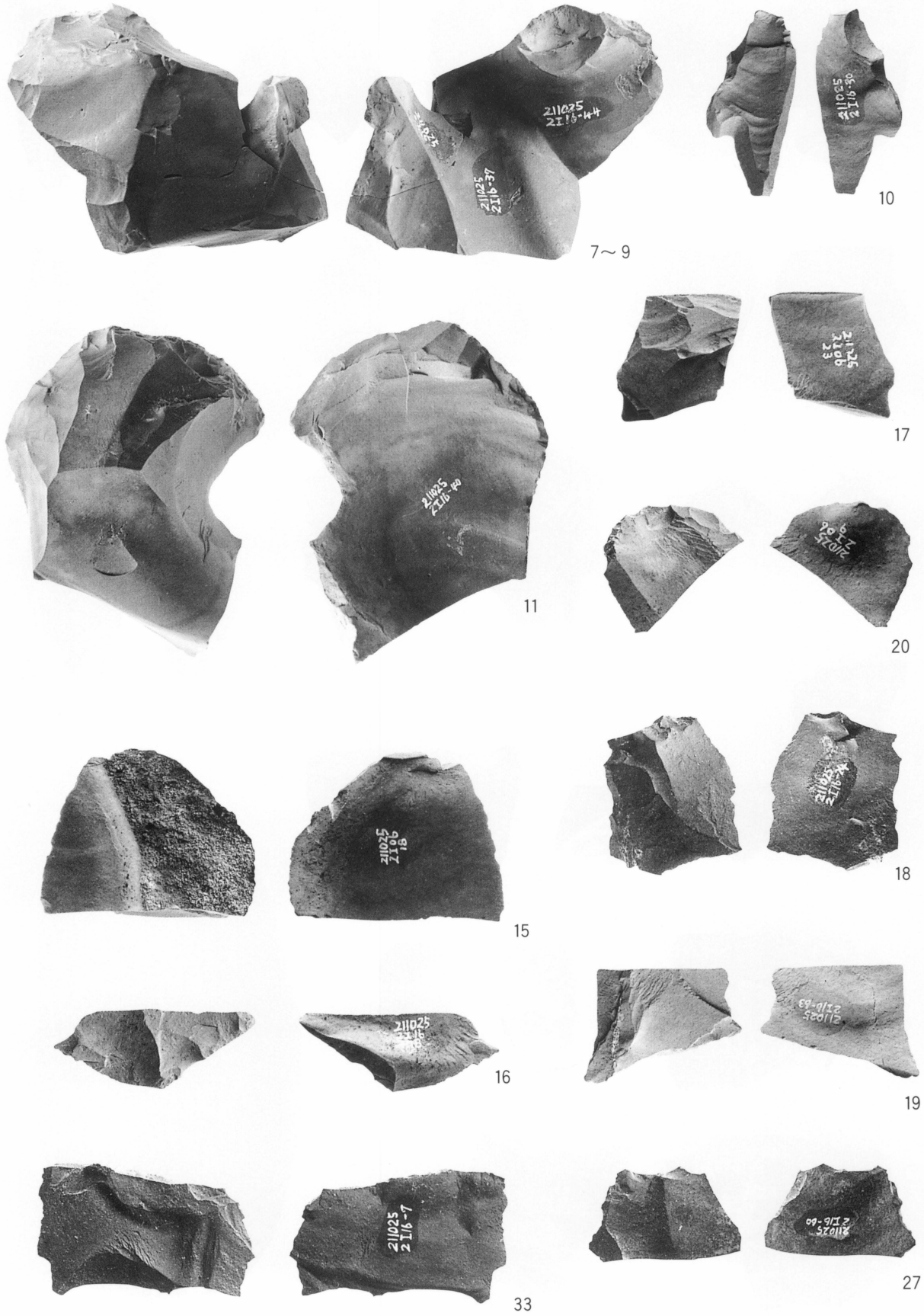


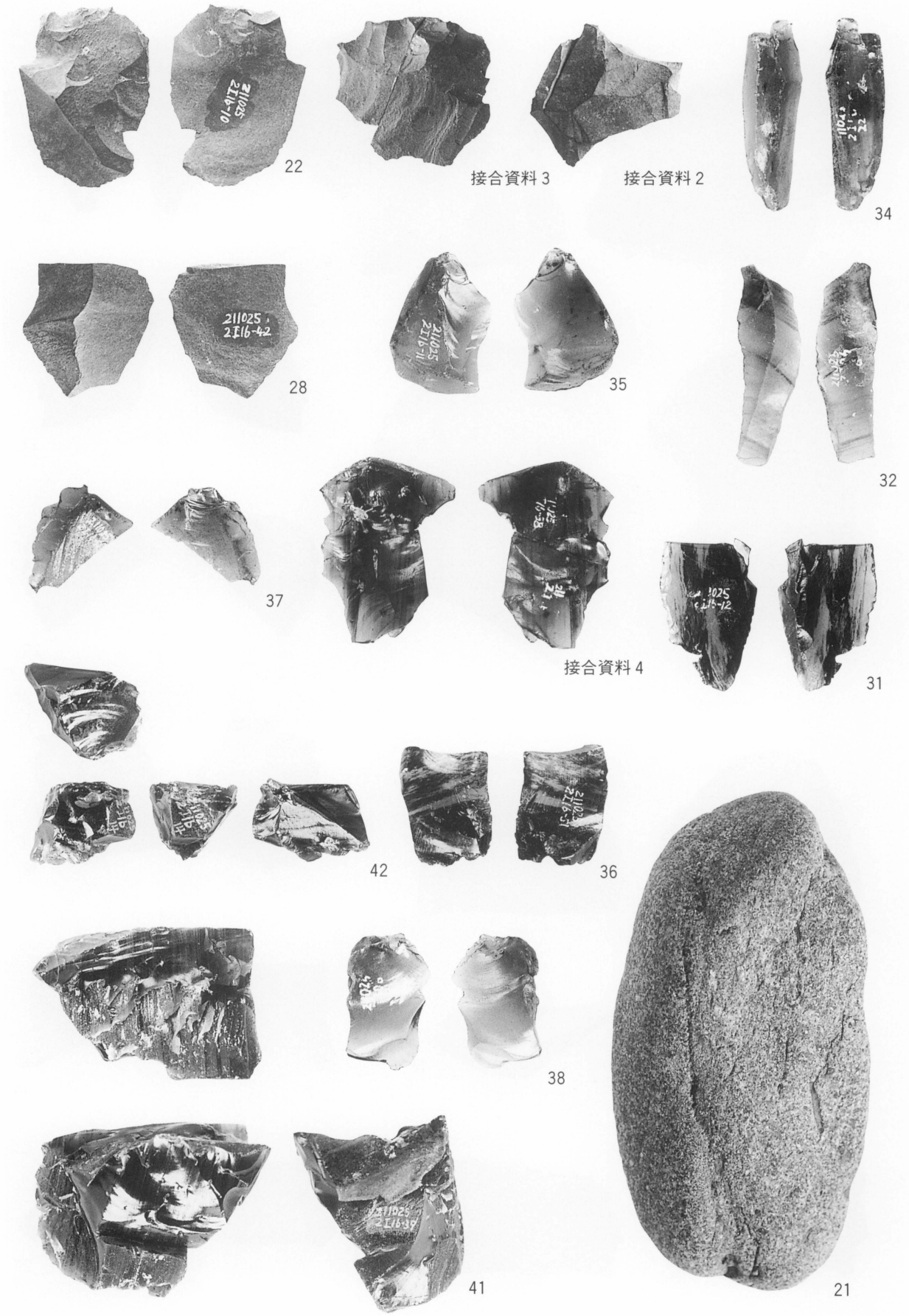

石器集中 2　出土石器



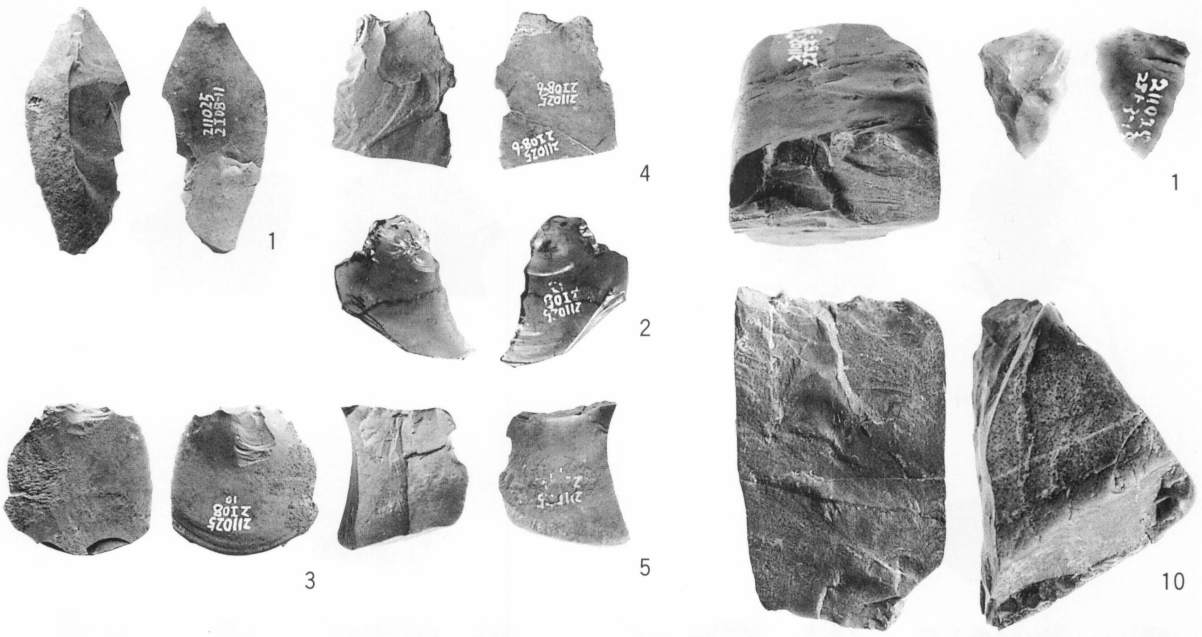

石器集中 3　出土石器（1）



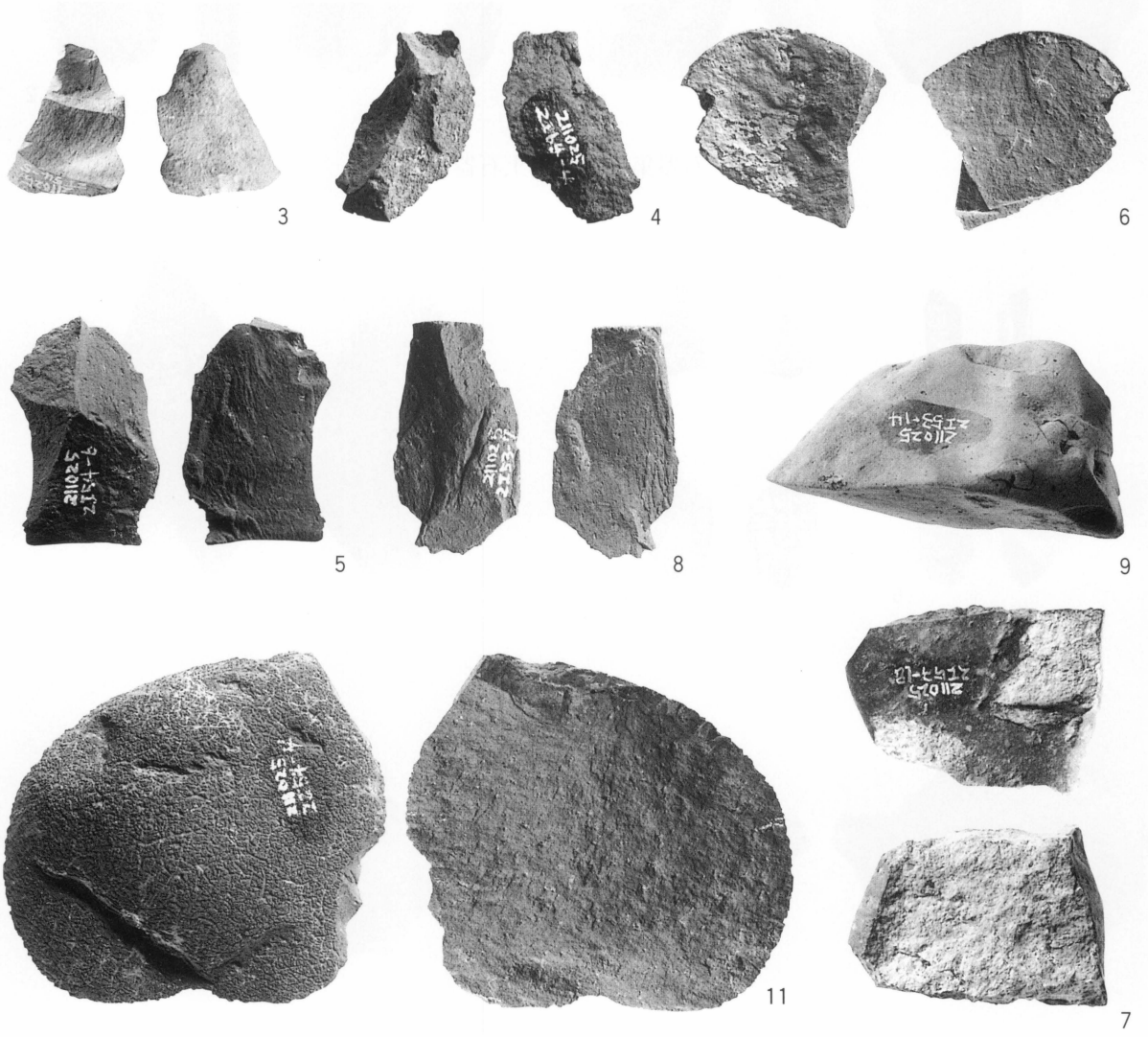

石器集中 3　出土石器（2）



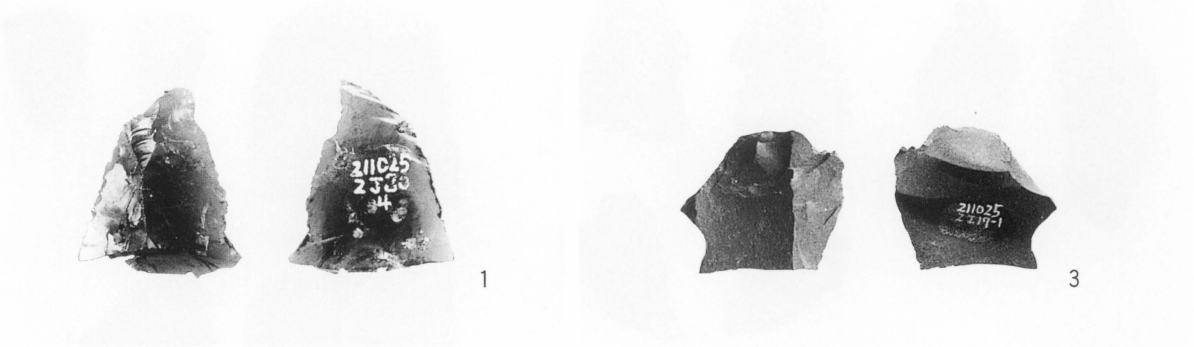

石器集中 3　出土石器（3）




石器集中４　出土石器

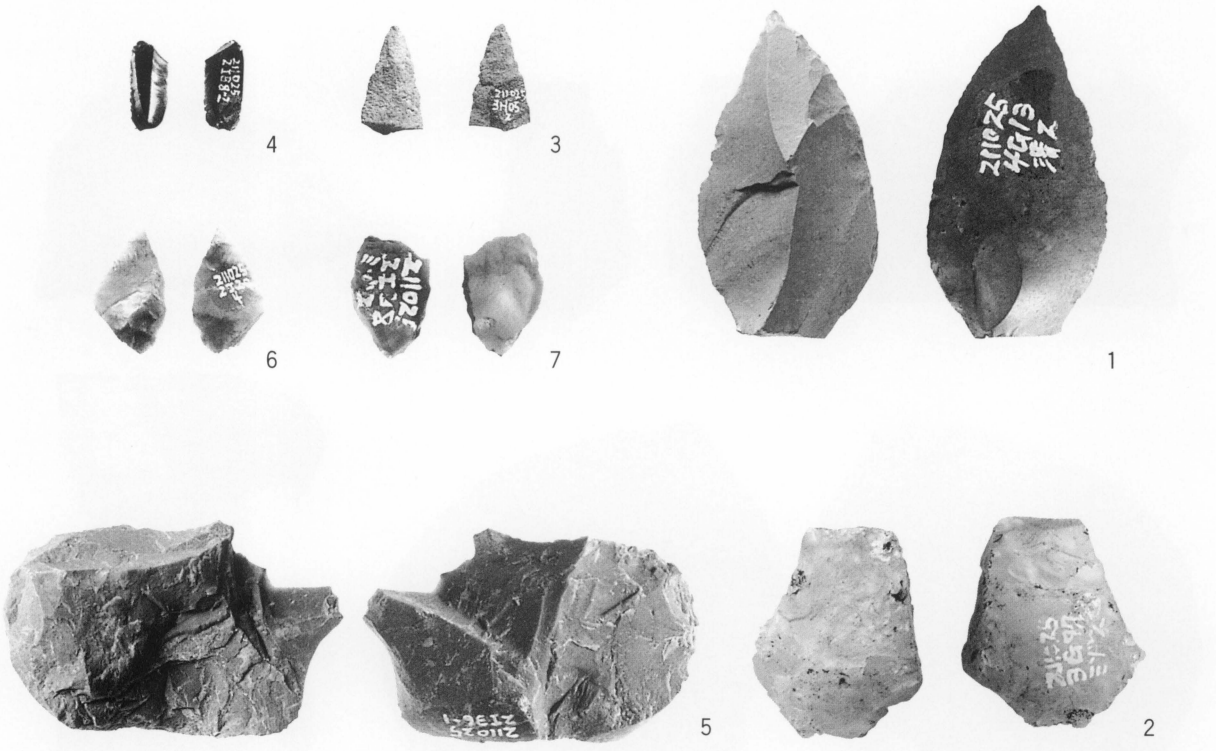



石器集中５　出土石器

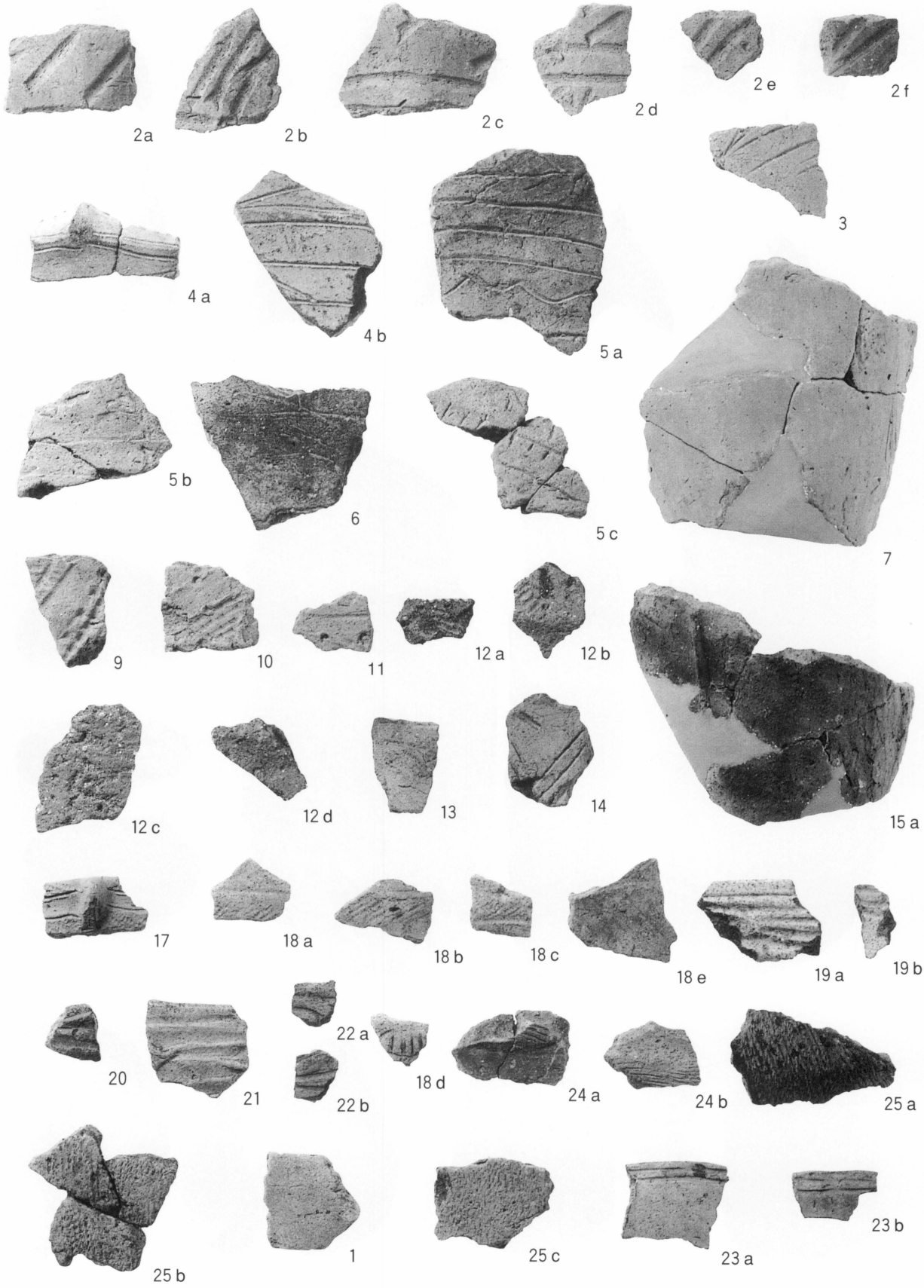



石器集中 6　出土石器

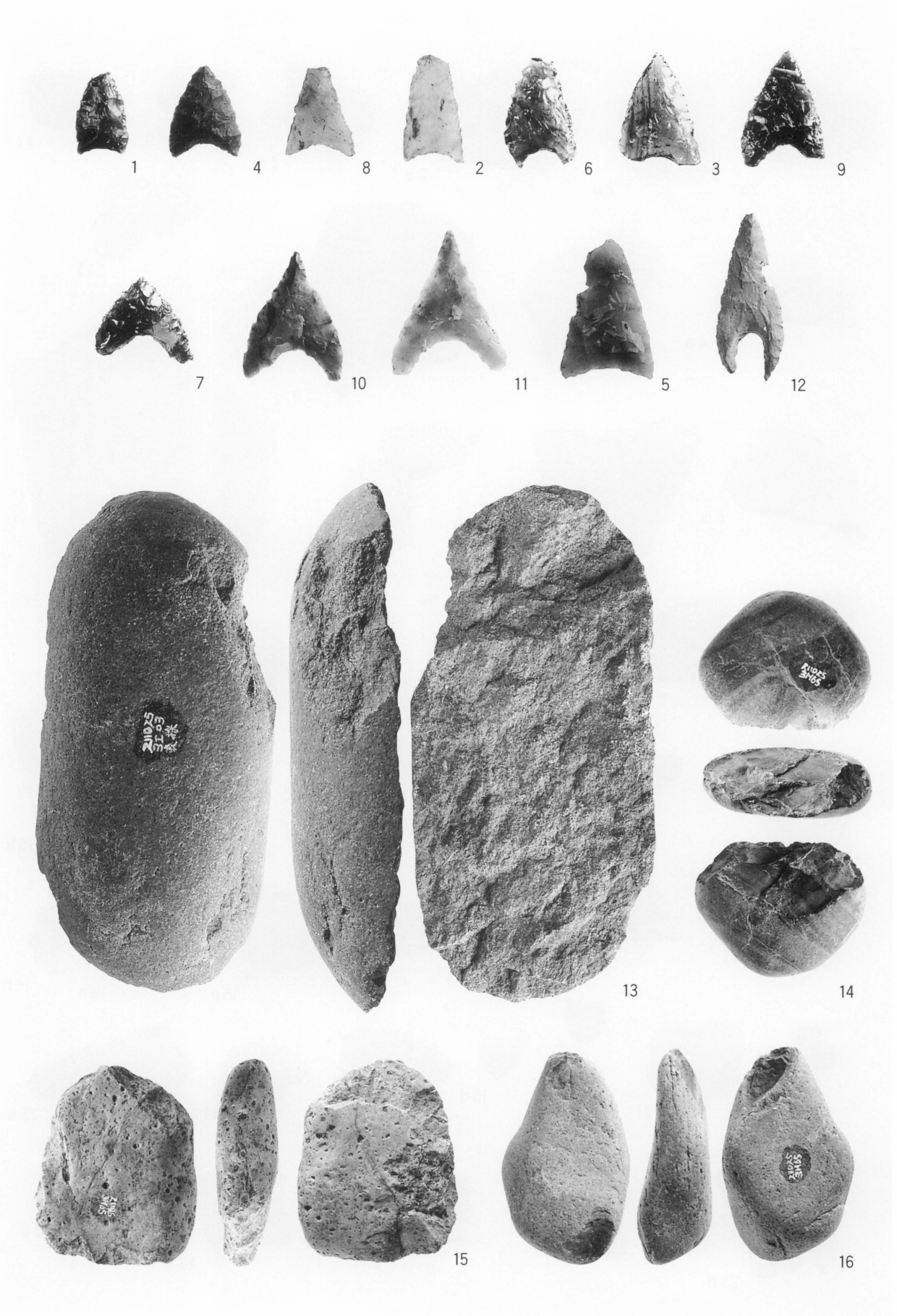
石器集中 7　出土石器



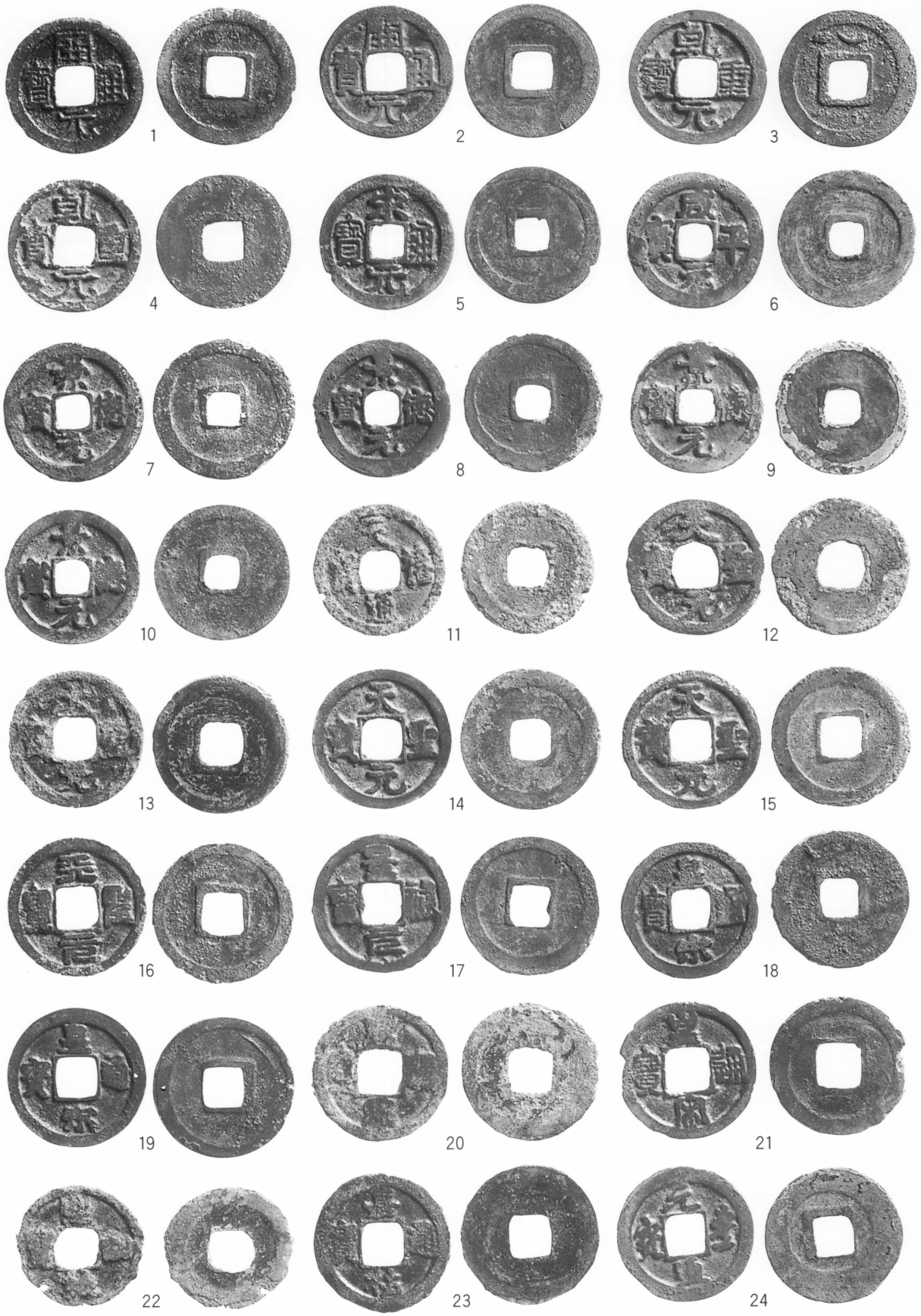

石器集中地点外　出土石器


2a
2b
2c
2d
2e
2f
3
4a
4b
5a
5b
6
5c
7
9
10
11
12a
12b
12c
12d
13
14
15a
17
18a
18b
18c
18e
19a
19b
20
21
22a
22b
18d
24a
24b
25a
25b
1
25c
23a
23b

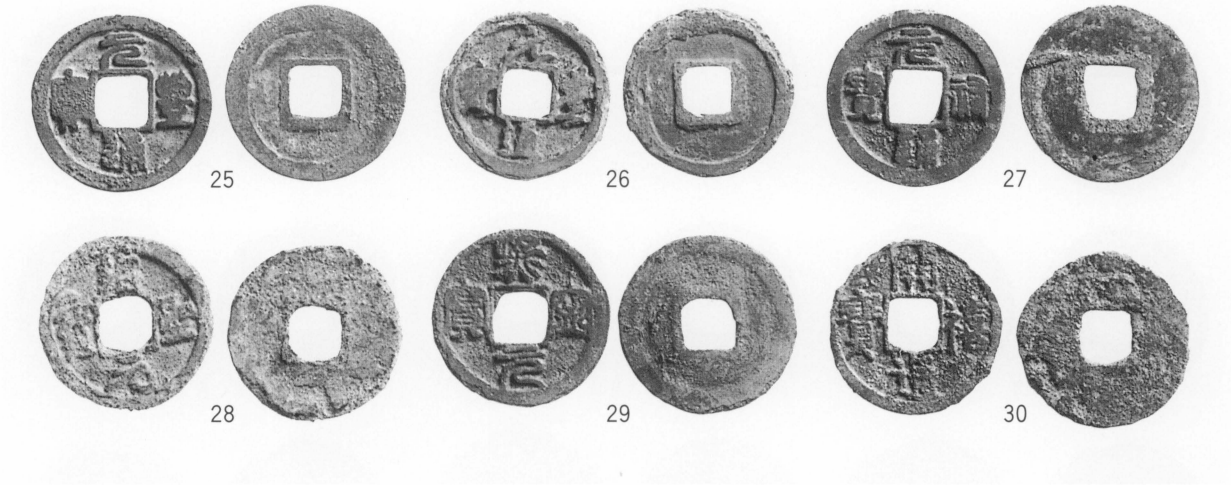
縄文時代　出土土器




縄文時代　出土石器




銭　貨（1）




銭　貨（2）

# 報告書抄録

| | |
|---|---|
| ふりがな | しんとうきょうこくさいくうこうまいぞうぶんかざいはっくつちょうさほうこくしょ16 |
| 書名 | 新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書XVI |
| 副書名 | 十余三稲荷峰東遺跡（空港No.66遺跡） |
| 巻次 | XVI |
| シリーズ名 | 千葉県文化財センター調査報告 |
| シリーズ番号 | 第４０６集 |
| 編著者名 | 宮　重行　鳴田浩司　大槻一実　永塚俊司 |
| 編集機関 | 財団法人　千葉県文化財センター |
| 所在地 | 〒284-0003　千葉県四街道市鹿渡809番地２　TEL043-422-8811 |
| 発行 | 西暦2001年３月31日 |

| ふりがな<br>所収遺跡名 | ふりがな<br>所在地 | コード<br>市町村 | コード<br>遺跡番号 | 北緯<br>°′″ | 東経<br>°′″ | 調査期間 | 調査面積<br>㎡ | 調査原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 十余三稲荷峰東（とよみいなりみねひがし）<br>（空港No.66） | 成田市十余三字稲荷峰（なりたしとよみあざいなりみね）151-29他 | 12211 | 025 | 35度<br>47分<br>51秒 | 140度<br>23分<br>17秒 | 19820419<br>～ 0527<br>19821004<br>～ 1223 | 15,165㎡ | 新東京国際空港建設に伴う事前調査 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 十余三稲荷峰東<br>（空港No.66） | 包蔵地 | 旧石器 | 石器集中地点　７地点 | 細石刃石核、ナイフ形石器、尖頭器、彫刻刀形石器、削器、石核、剥片他 | 周縁調整の尖頭器石器群を検出 |
| | | 縄文 | 陥穴　７基<br>炉穴　１基 | 田戸下層式、田戸上層式、鵜ヶ島台式、安行１式－他<br>石鏃－他 | |
| | | 中・近世 | 溝状遺構　３条<br>炭窯　１基<br>土坑　２基 | 古銭 | 溝覆土内から銭貨30枚を検出 |

千葉県文化財センター調査報告第406集

新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書XVI

―― 十余三稲荷峰東遺跡（空港No.66遺跡）――

平成13年３月31日発行

編　集　財団法人　千葉県文化財センター
新東京国際空港公団
成田市新東京国際空港内
（成田市木の根字神台24）

発　行　財団法人　千葉県文化財センター
四街道市鹿渡809－2

印　刷　株式会社　ライフ
成田市東和田595